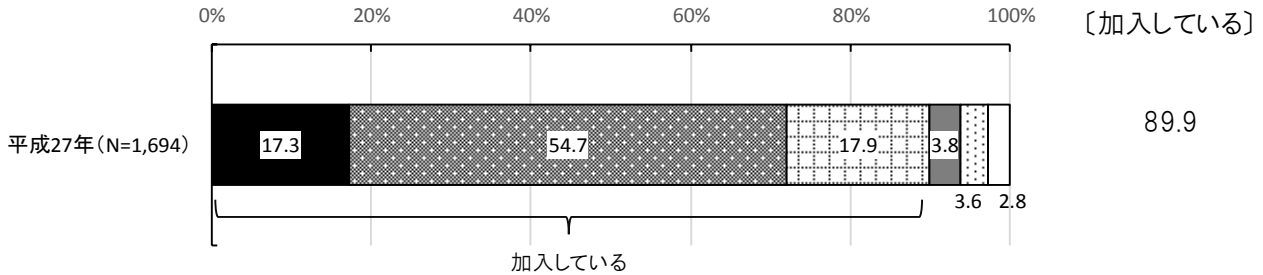
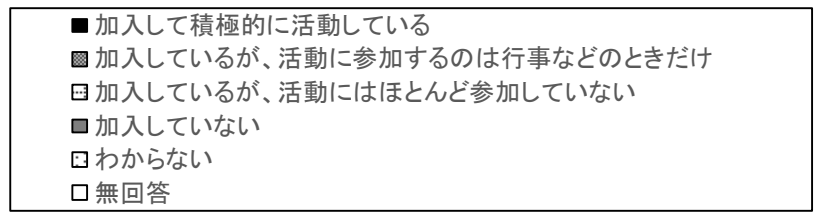


「住民主体のまちづくり」について

町内会・区（自治会）活動について

（１）町内会（自治会）への加入・活動状況

問 17 あなたの世帯は、町内会・区（自治会）に加入していますか。また、どのように活動していますか。次の中から1つだけ選んでください

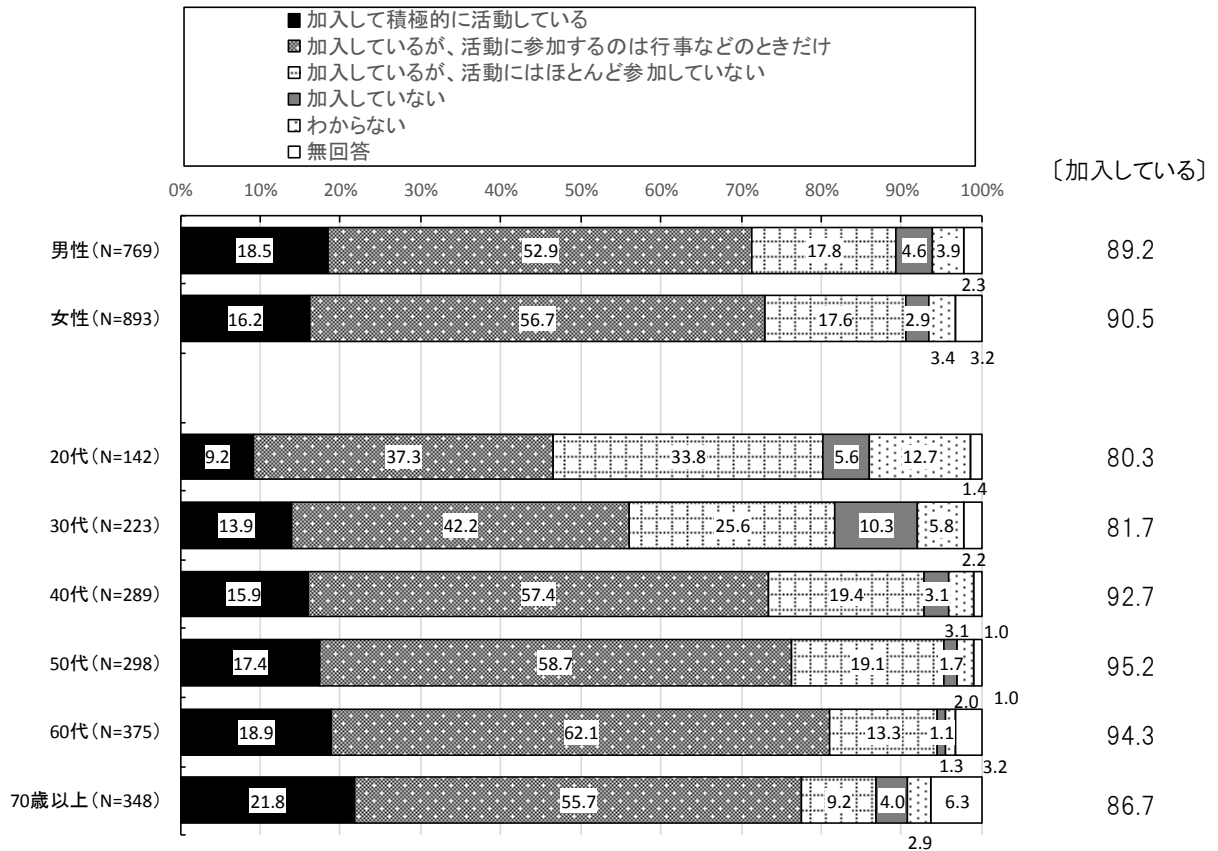


町内会・区（自治会）に加入し、活動に参加しているか尋ねたところ、「加入しているが活動に参加するのは行事などのときだけ」と答えた人が最も多く、54.7%と半数を超えている。「加入して積極的に活動している」、「加入しているが活動に参加するのは行事などのときだけ」、「加入しているが活動にはほとんど参加していない」を合わせた、「加入している」は、89.9%と約9割に達する。

男女別に見ると、男女間で大きな差は見られない。

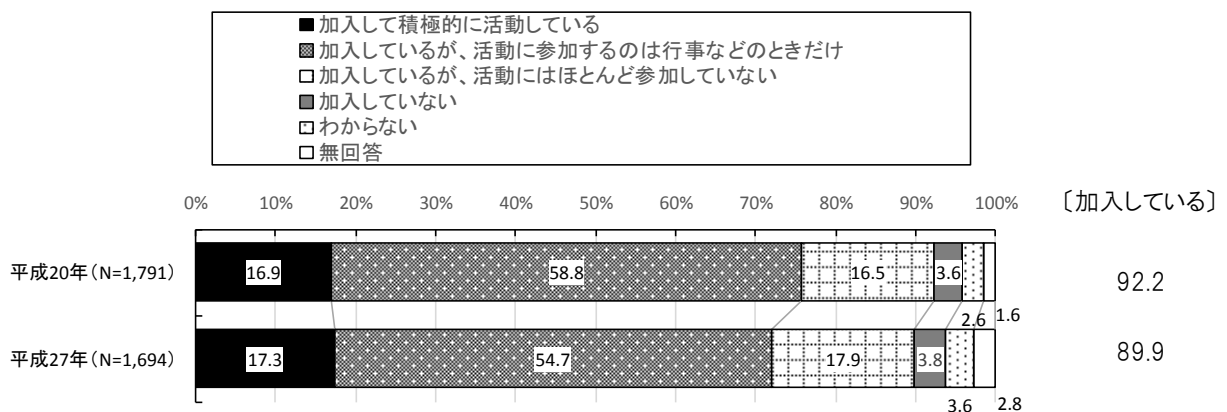
年代別に見ると、「加入して積極的に活動している」は年齢が上がるに連れて高くなる傾向があり、70歳以上では2割に達している。“加入している”割合は20代・30代・70歳以上で8割、40代・50代・60代では9割以上となっている。

【性別・年代別】



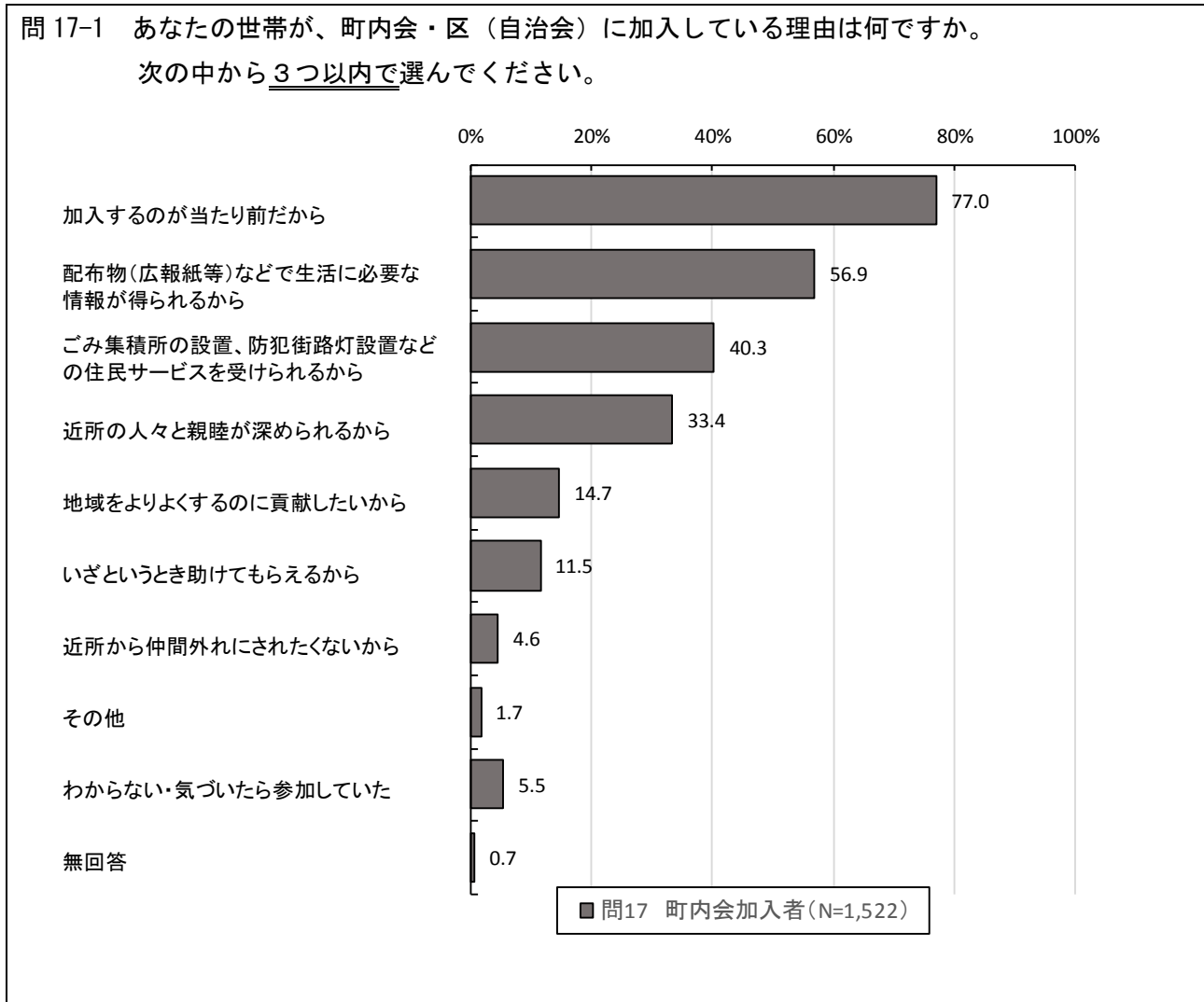
平成20年度の調査結果と比較すると、大きな差は見られなかった。

【経年変化】



<問 17 で 1～3 と答えた人に伺います>

(2) 町内会に加入している理由

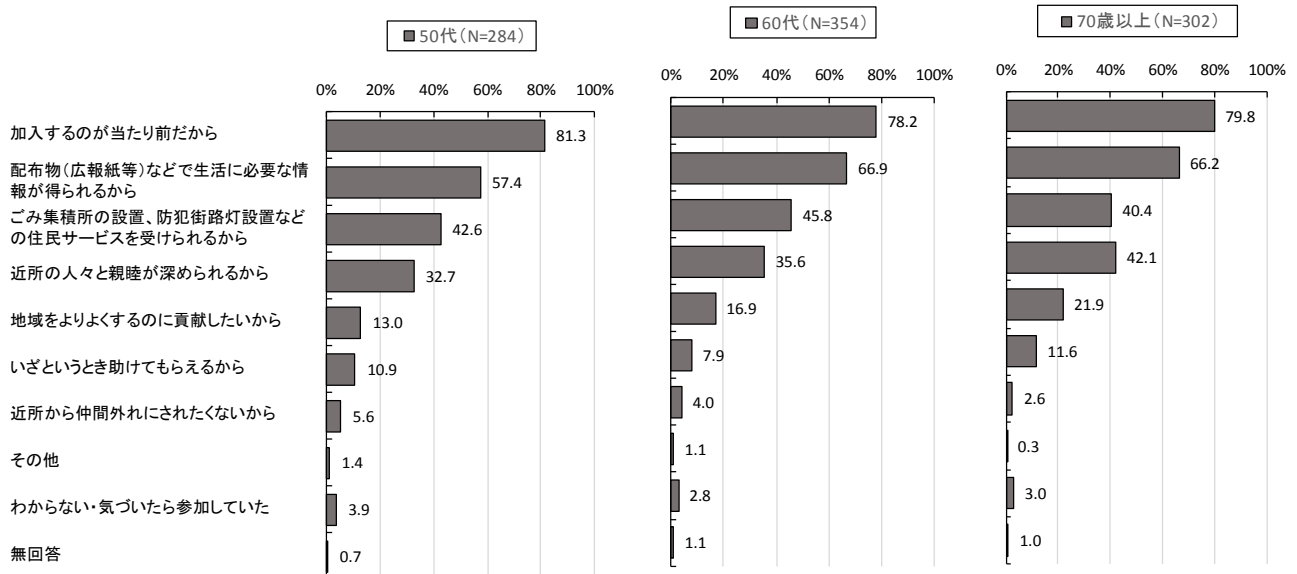
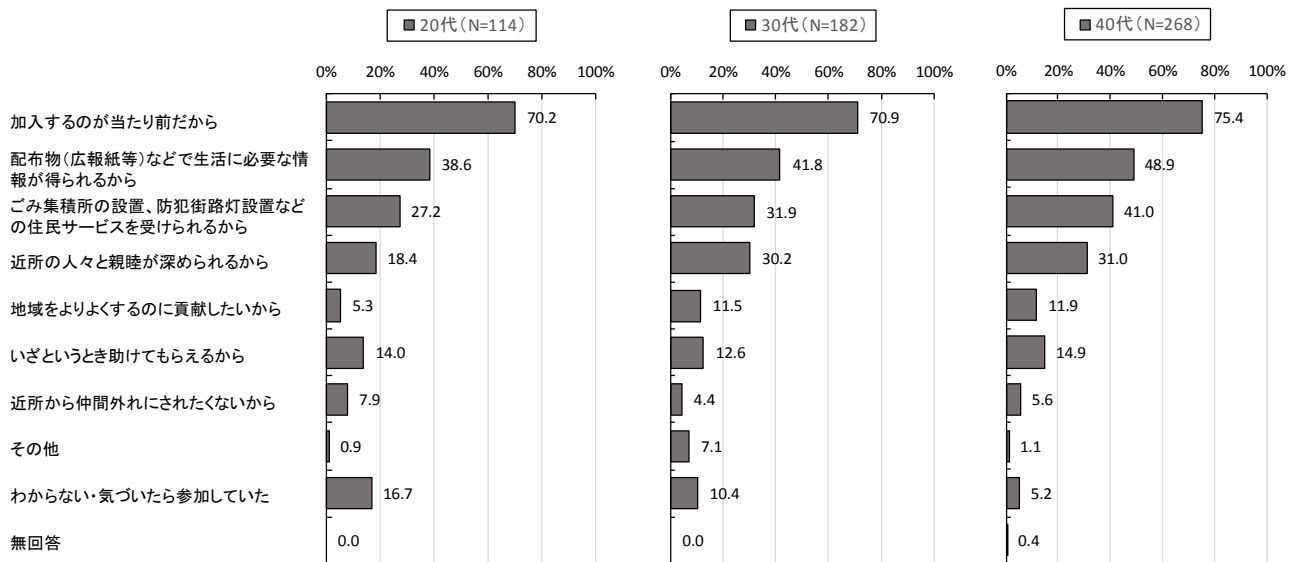
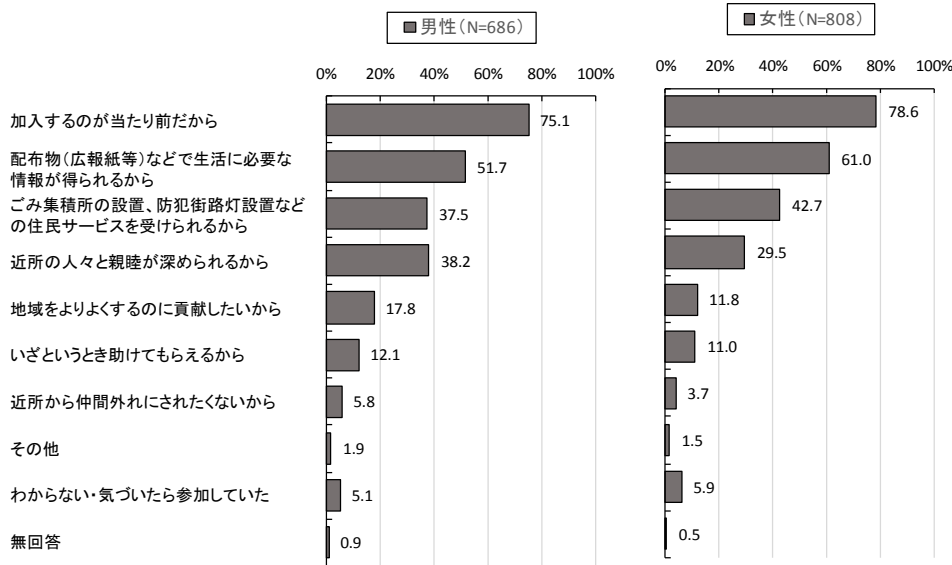


問 17 の質問で「加入している」と答えた人に、町内会・区（自治会）に加入している理由を尋ねたところ、「加入するのが当たり前だから」が最も高く 77.0%となった。これは 4 人中 3 人の割合となっている。次いで「配布物（広報紙等）などで、生活に必要な情報が得られるから」が 56.9%、「ごみ集積所の設置、防犯街路灯設置などの住民サービスを受けられるから」が 40.3%、「近所の人々と親睦を深められるから」が 33.4%となっている。

男女別に見ると、「加入するのが当たり前だから」は男女共に最も高く、男性では 75.1%、女性では 78.6%となっている。「配布物（広報紙等）などで、生活に必要な情報が得られるから」は男性が 51.7%、女性が 61.0%と女性が高くなっている。また、「近所の人々と親睦を深められるから」は男性が 38.2%、女性が 29.5%と男性が高くなっている。

年代別に見ると、全ての年代において「加入するのが当たり前だから」が最も高くなっている。「配布物（広報紙等）などで、生活に必要な情報が得られるから」は年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、20代では 38.6%だが 60代では 66.9%に達する。

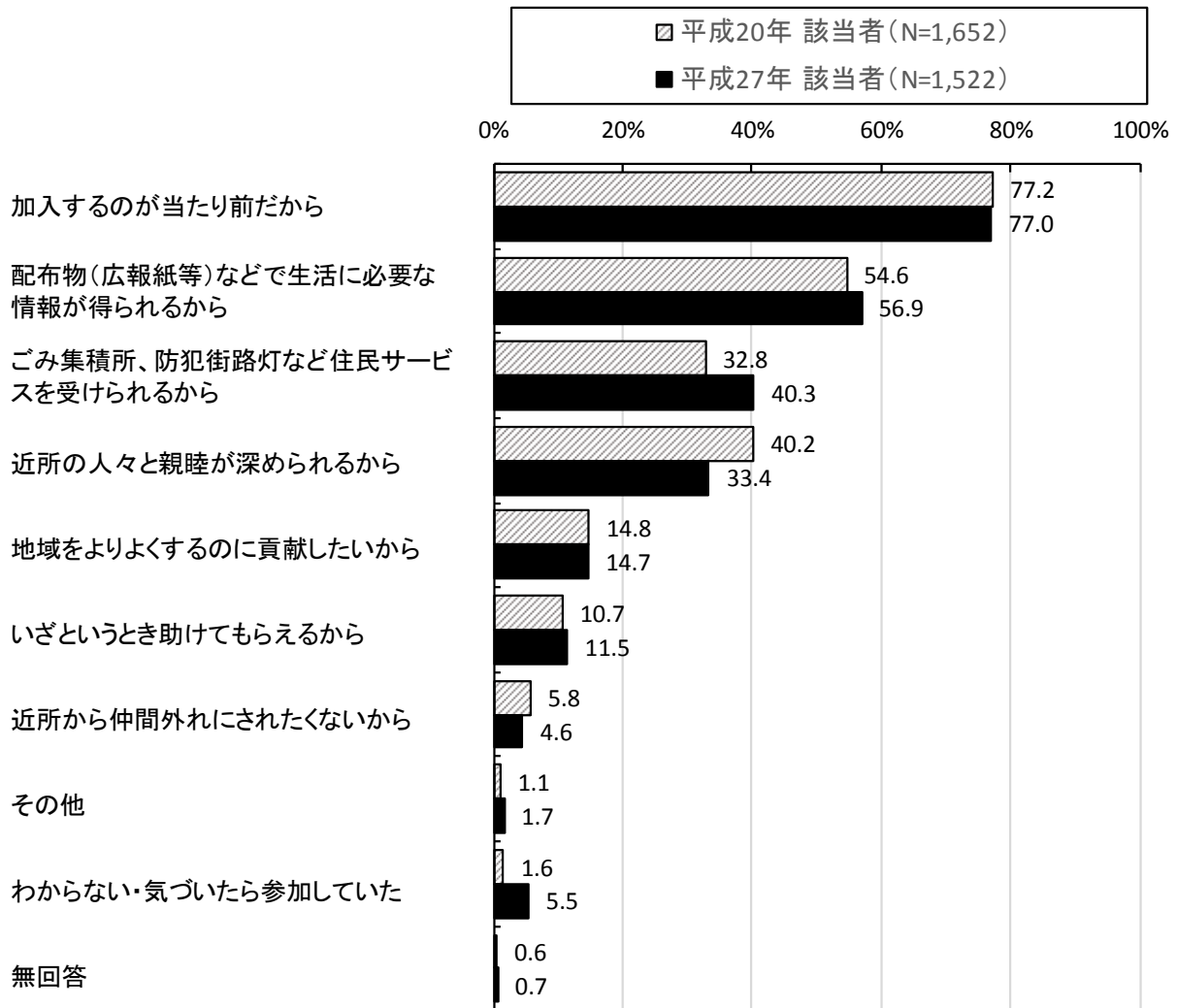
【性別・年代別】



IV 調査結果

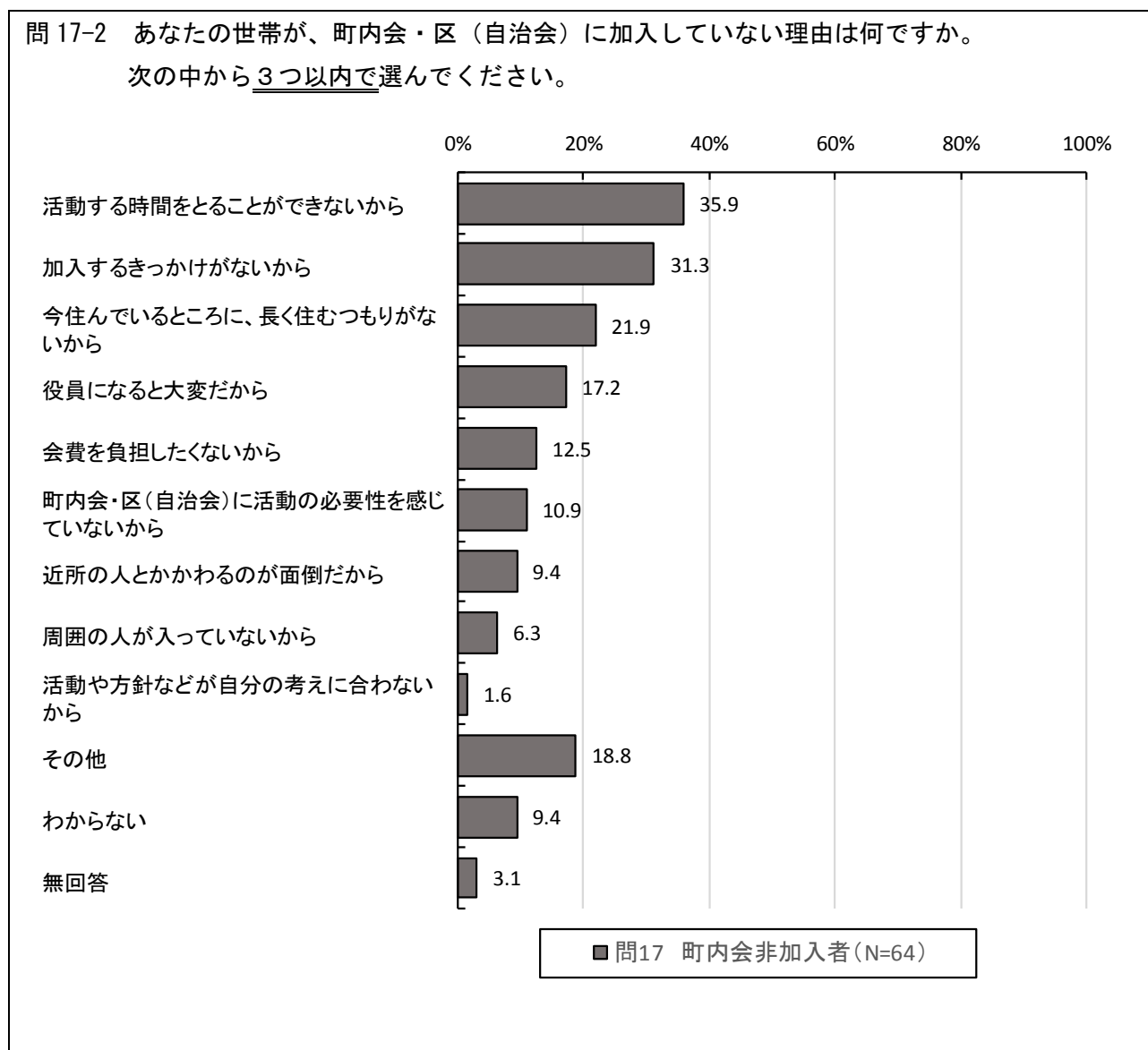
平成20年度の調査結果と比較すると、「加入するのが当たり前だから」がともに最も高くなっている。「ごみ集積所の設置、防犯街路灯設置などの住民サービスを受けられるから」は32.8%から40.3%に増加し、「近所の人々と親睦を深められるから」は40.2%から33.4%に減少し、順位が逆転している。

【経年変化】



＜問17で4と答えた人に伺います＞

(3) 町内会に加入していない理由



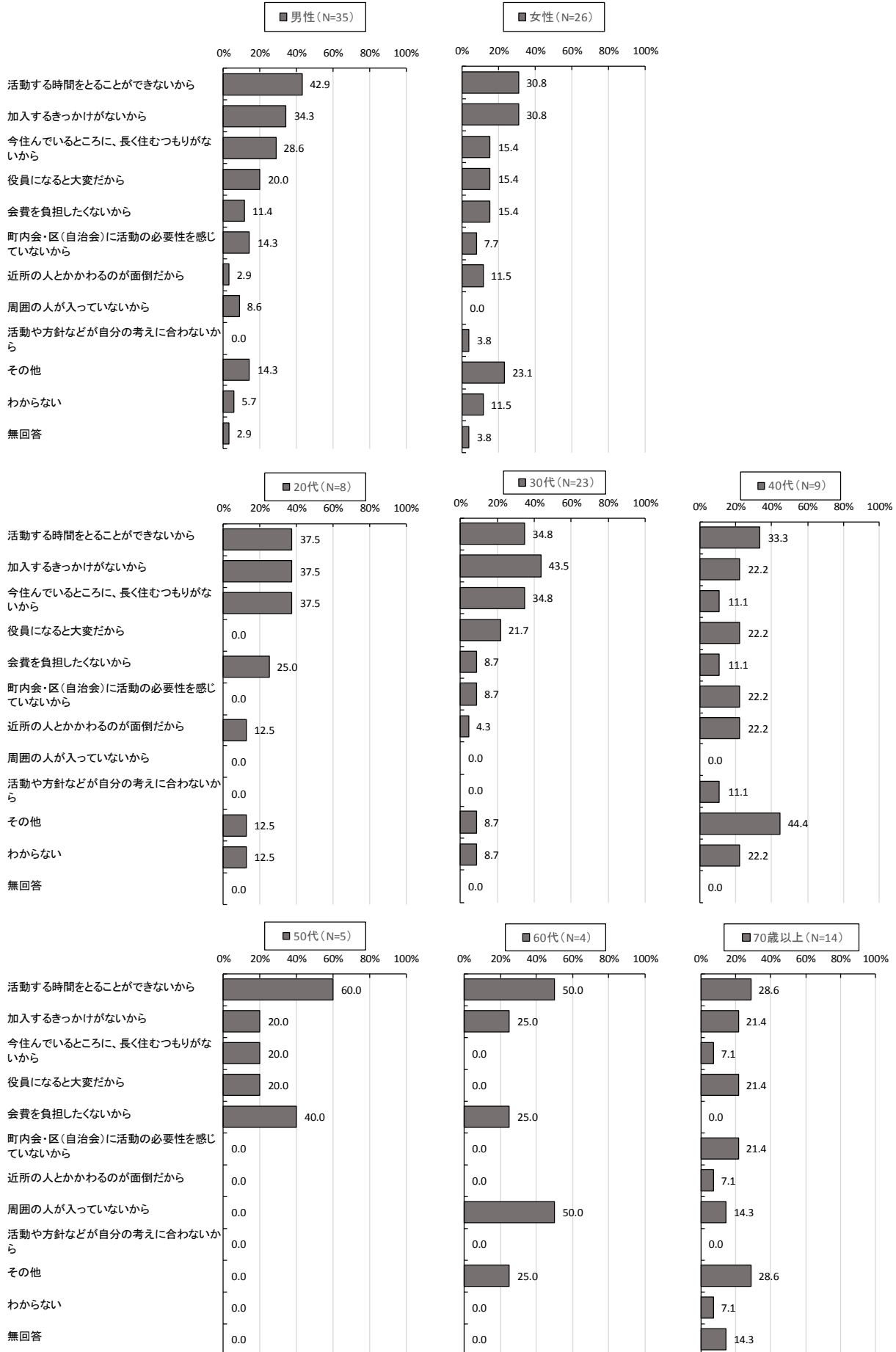
問17の質問で「加入していない」と答えた人に、町内会・区（自治会）に加入していない理由を尋ねたところ、「活動する時間をとることができないから」が最も高く35.9%、次いで「加入するきっかけがないから」が31.3%、「今住んでいるところに、長く住むつもりがないから」が21.9%、「役員になると大変だから」が17.2%と続いている。

男女別に見ると、男性では「活動する時間をとることができないから」が最も高く42.9%となっている。女性では、「活動する時間をとることができないから」と「加入するきっかけがないから」がともに30.8%となっており、2項目がトップとなっている。

年代別については、各年代の該当者数が少ないが参考値として掲載している。

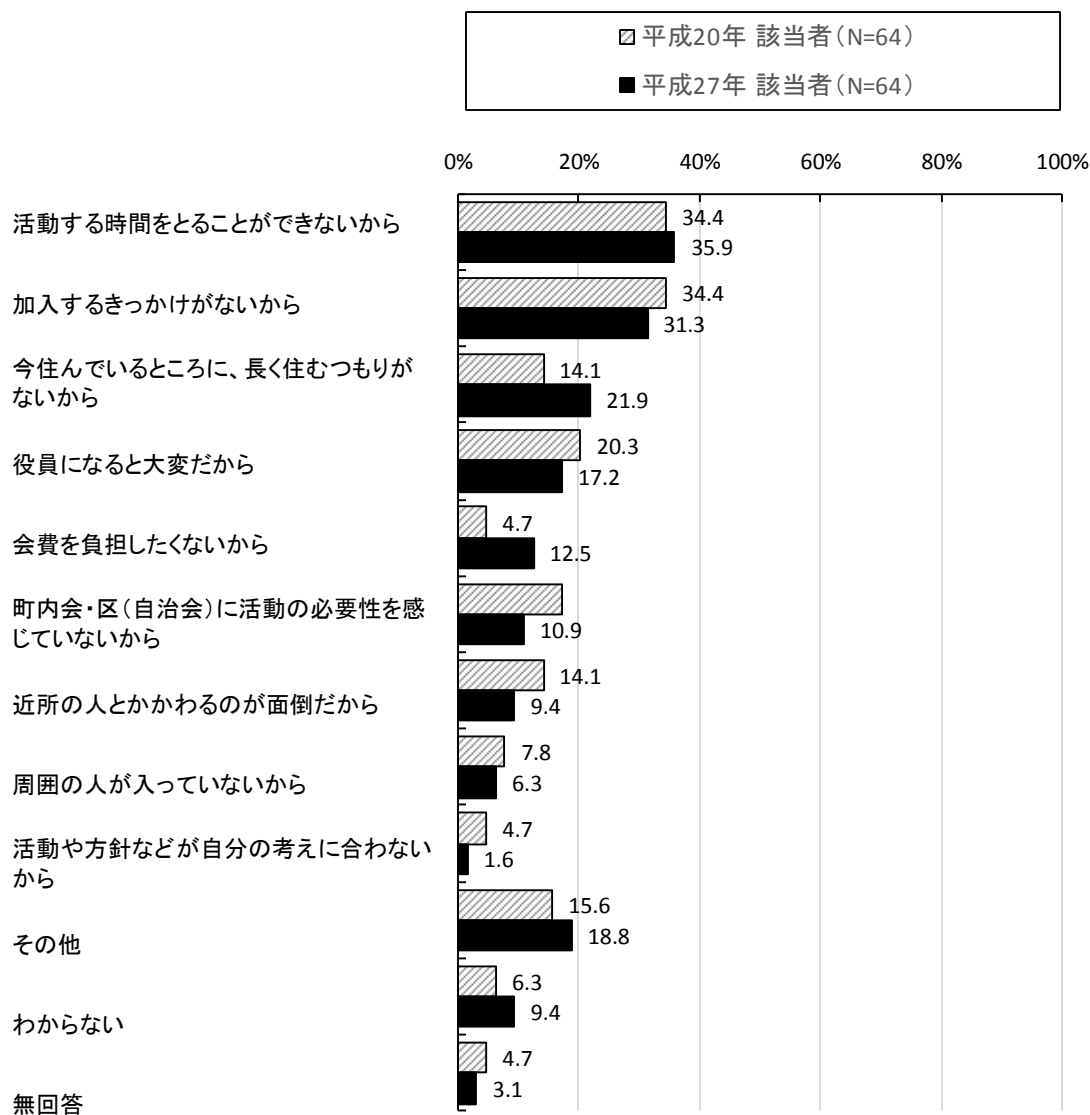
IV 調査結果

【性別・年代別】



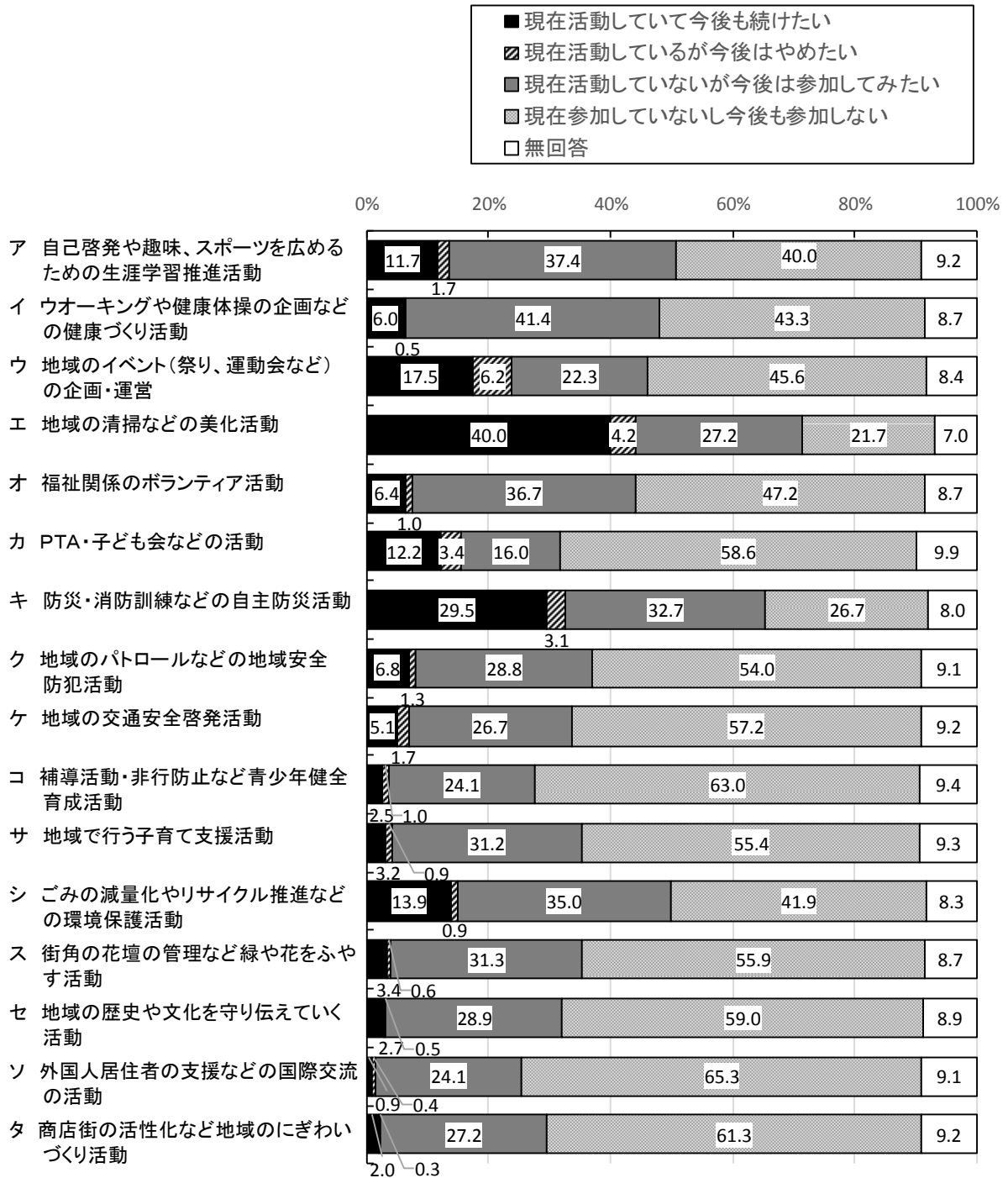
平成20年度の調査結果と比較すると、「活動する時間をとることができないから」がともに最も高くなっている。5ポイント以上変化があった項目は、「今住んでいるところに、長く住むつもりがないから」が14.1%から21.9%に増加し、「会費を負担したくないから」が4.7%から12.5%に増加している。

【経年変化】



(4) 地域コミュニティ活動

問 18 あなたは、次に挙げる地域コミュニティ活動に参加していますか。また、今後は参加したいと思いませんか。次のア～タの項目について、あなたのお気持ちに近いものを1つずつ選んでください。



コミュニティ活動について尋ねたところ、「現在参加していて今後も続けたい」活動で最も高いのは、「地域清掃などの美化活動」で 40.0%となっている。「現在参加しているが今後はやめたい」活動で最も高いのは、「地域イベント(祭り、運動会など)の企画・運営」で 6.2%となっている。「現在参加していないが今後はしてみたい」活動で最も高いのは、「ウォーキングや健康体操の企画などの健康づくり活動」で 41.4%となっている。「現在参加していないし今後も参加しない」活動で最も高いのは、「外国人居住者の支援などの国際交流の活動」で 65.3%となっている。

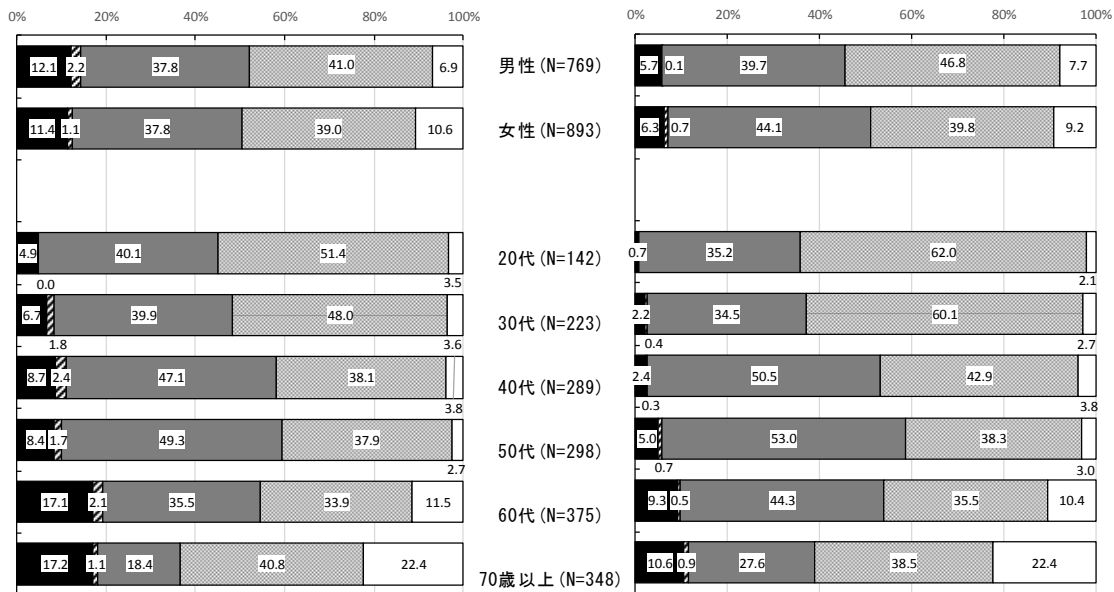
男女別に見ると、男女間で大きな差は見られない。

年代別に見ると、「現在参加していて今後も続けたい」活動の比率については、「地域清掃などの美化活動」や「防災・消防訓練などの自主防災活動」で年齢が上がるにつれ高くなる傾向がある。「PTA・子ども会などの活動」は子育て世代の30代で21.1%、40代で31.8%と高くなっている。「現在参加していないが今後はしてみたい」活動については、「ウォーキングや健康体操の企画などの健康づくり活動」は40代で50.5%、50代で53.0%と高くなっている。また、「防災・消防訓練などの自主防災活動」は20代で53.5%、30代で48.9%と高くなっている。

【性別・年代別】

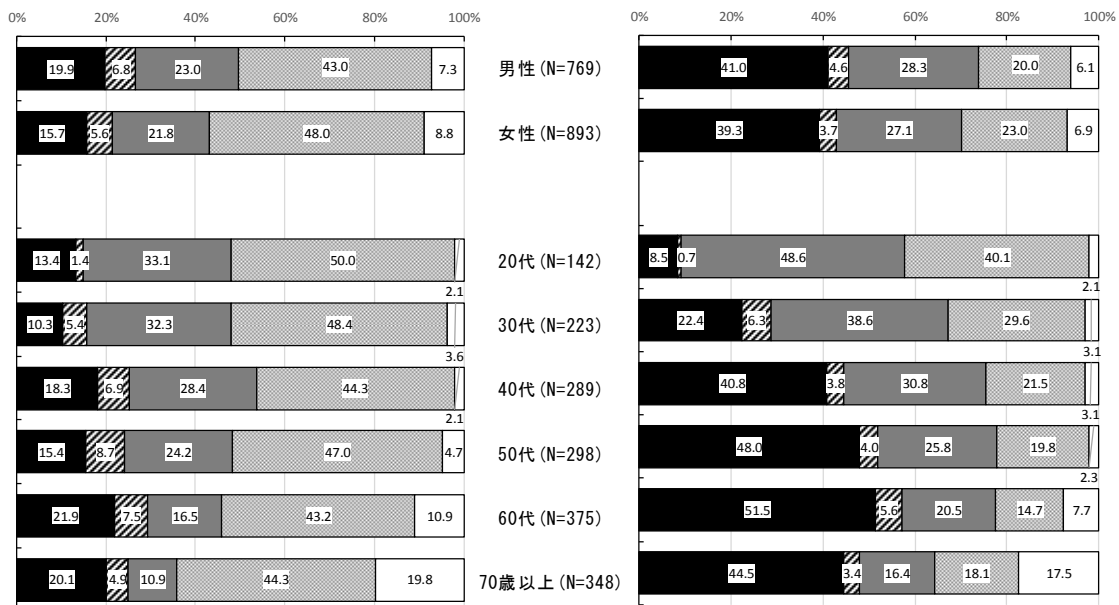
ア 自己啓発や趣味、スポーツを広めるための生涯学習推進活動

イ ウォーキングや健康体操の企画などの健康づくり活動



ウ 地域のイベント(祭り、運動会など)の企画・運営

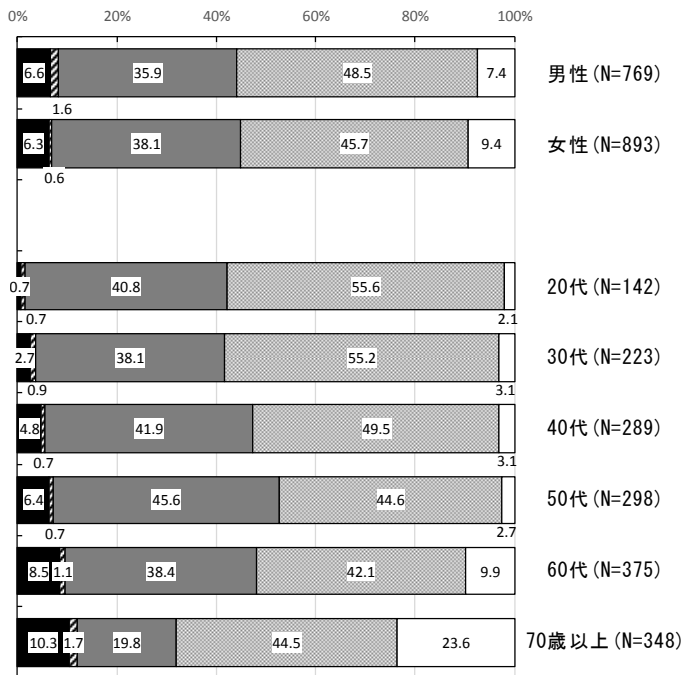
エ 地域の清掃などの美化活動



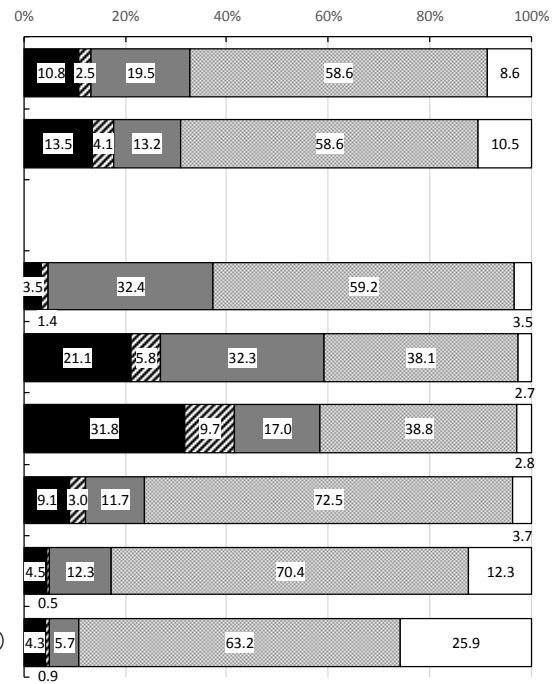
現在活動していて今後も続けたい
 現在活動しているが今後はやめたい
 現在参加していないが今後は参加してみたい
 現在参加していないし今後も参加しない
 無回答

IV 調査結果

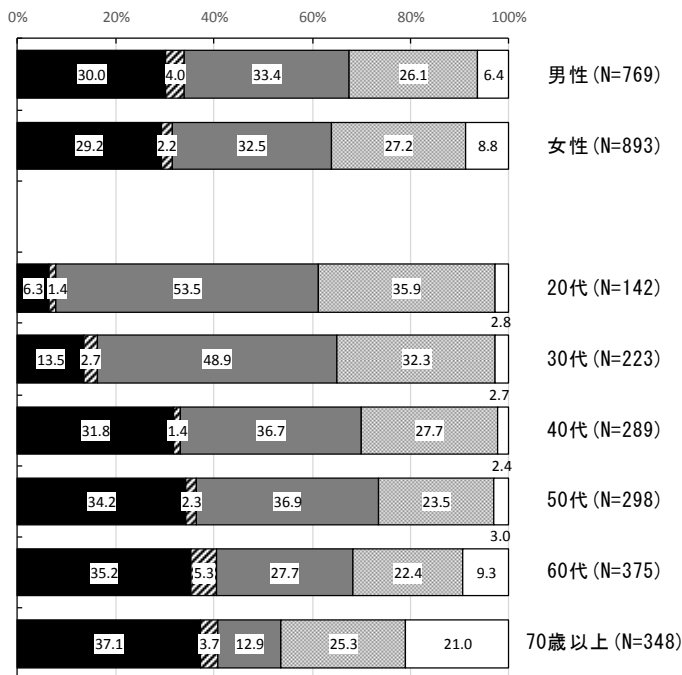
オ 福祉関係のボランティア活動



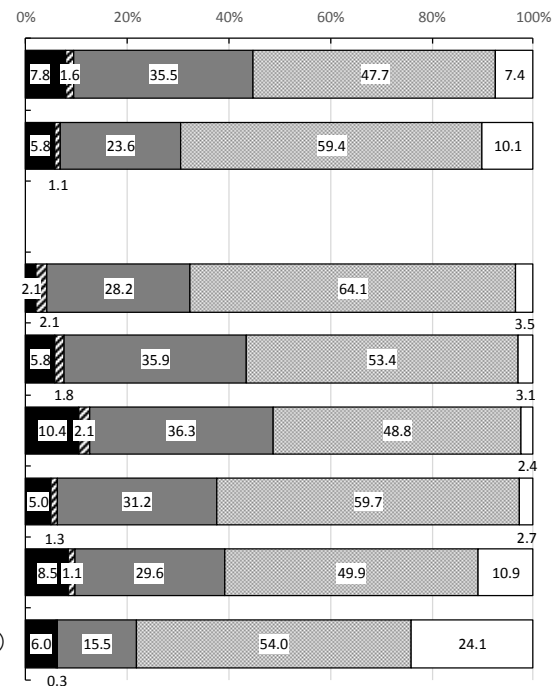
カ PTA・子ども会などの活動



キ 防災・消防訓練などの自主防災活動

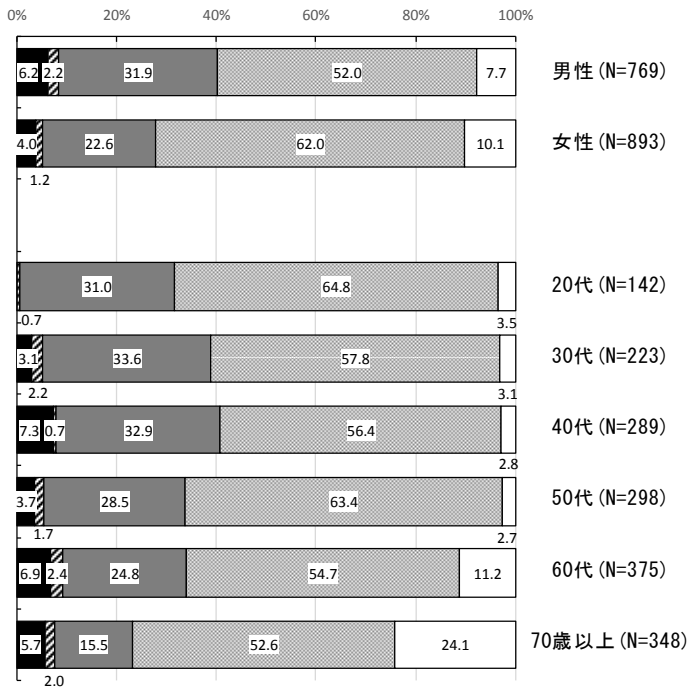


ク 地域のパトロールなどの地域安全防犯活動

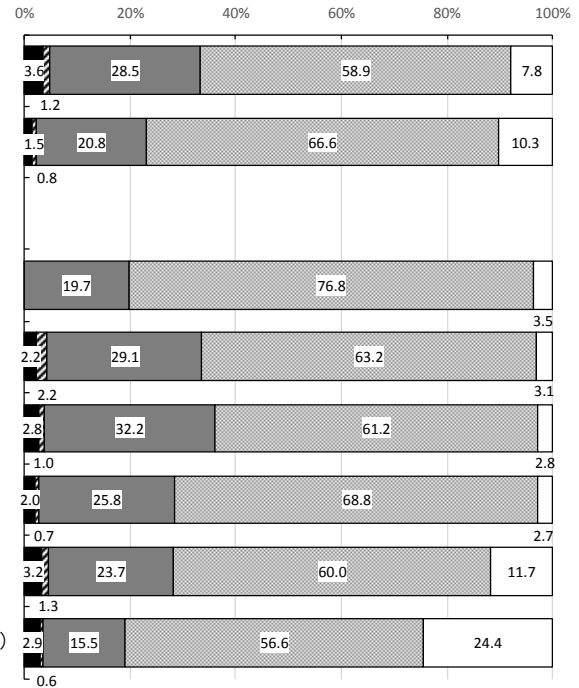


現在活動していて今後も続けたい
 現在活動しているが今後はやめたい
 現在活動していないが今後は参加してみたい
 現在参加していないが今後も参加しない
 無回答

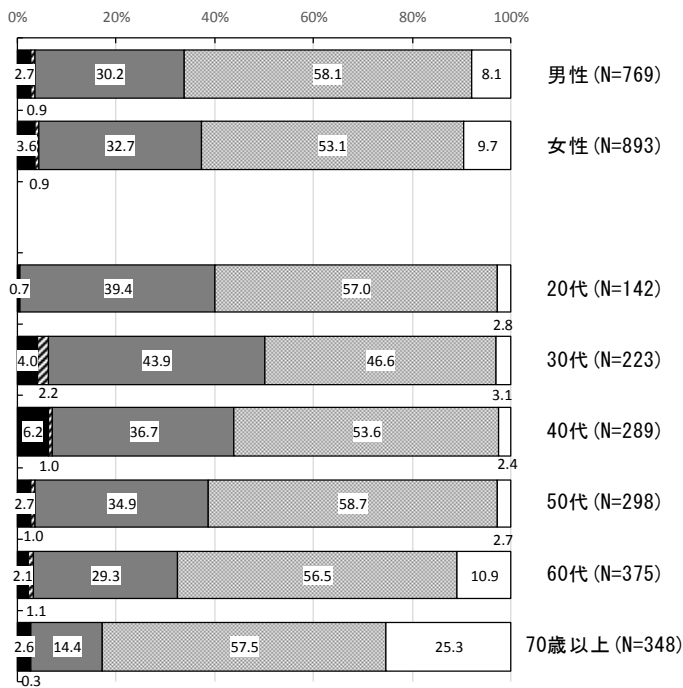
ケ 地域の交通安全啓発活動



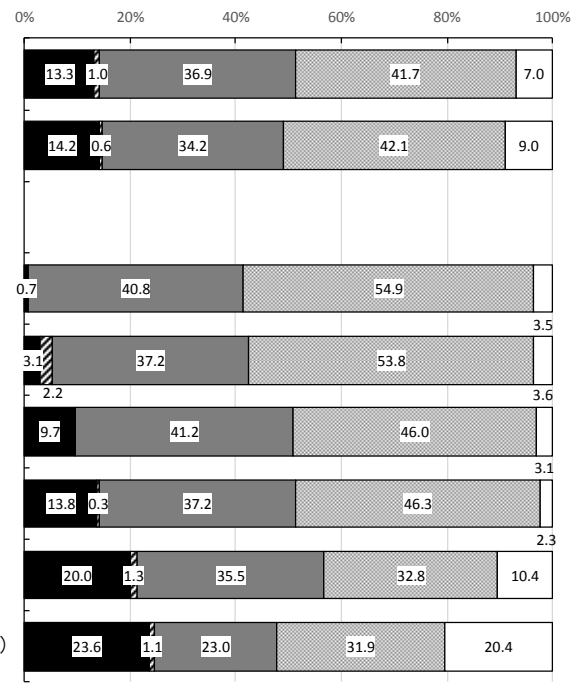
コ 補導活動・非行防止などの青少年健全育成活動



サ 地域で行う子育て支援活動



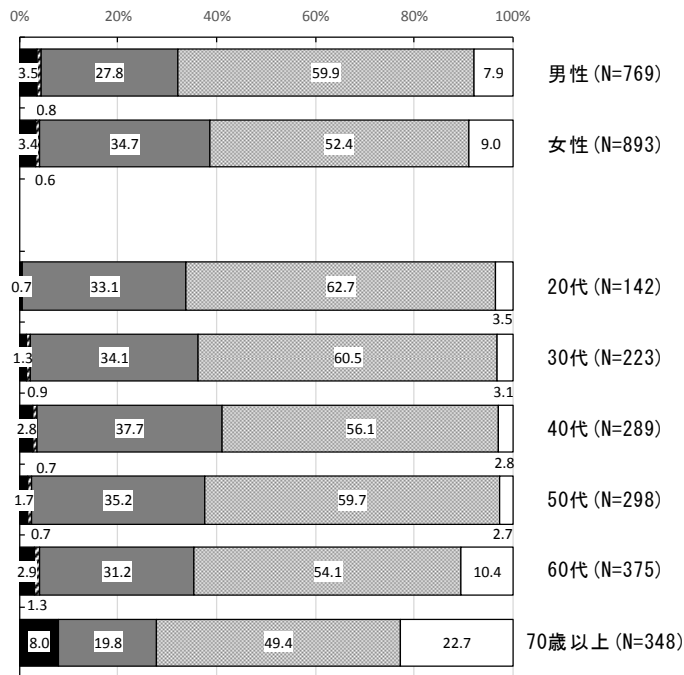
シ ごみの減量化やリサイクル推進などの環境保護活動



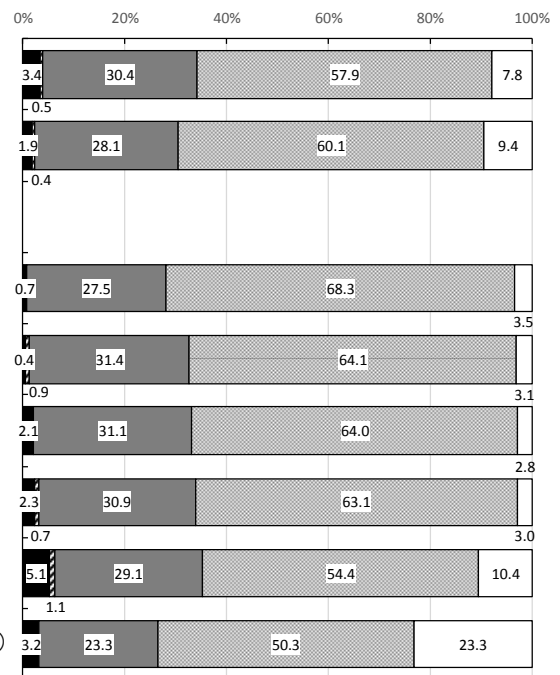
現在活動していて今後も続けたい
 現在活動しているが今後はやめたい
 現在活動していないが今後は参加してみたい
 現在参加していないし今後も参加しない
 無回答

IV 調査結果

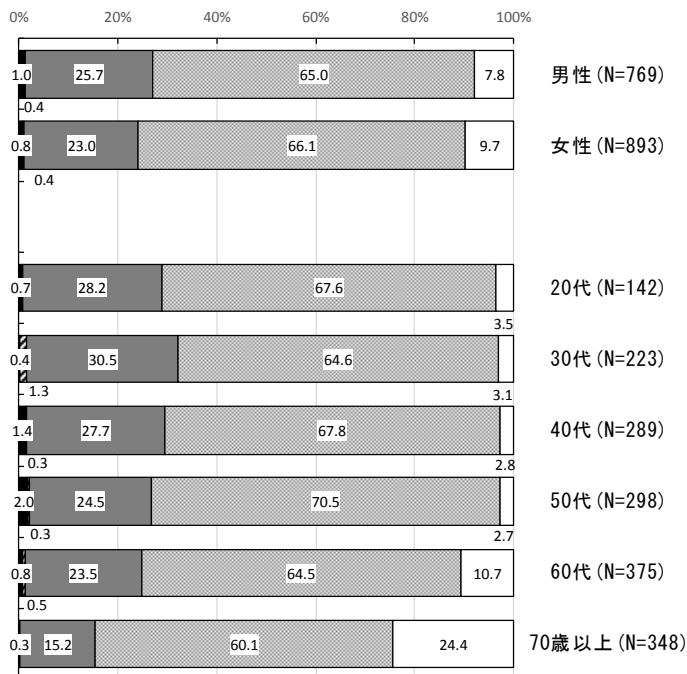
ス 街角の花壇の管理など緑や花をふやす活動



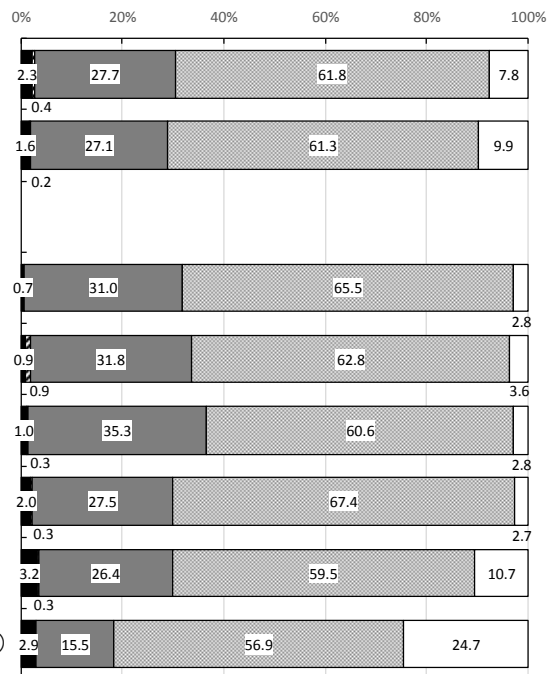
セ 地域の歴史や文化を守り伝えていく活動



ソ 外国人居住者の支援などの国際交流の活動



タ 商店街の活性化など地域のにぎわいづくり活動

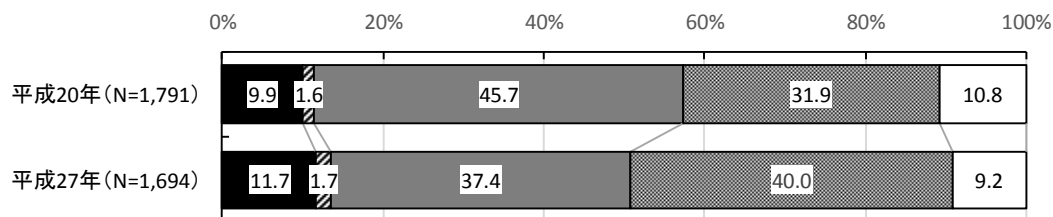


現在活動していて今後も続けたい
 現在活動しているが今後はやめたい
 現在活動していないが今後は参加してみたい
 現在参加していないし今後も参加しない
 無回答

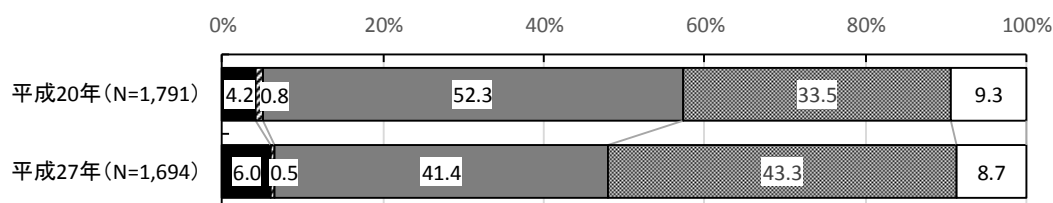
平成20年度の調査結果と比較すると、「現在参加していて今後も続けたい」活動の比率については、「地域の清掃などの美化活動」がともに最も高い。また、「防災・消防訓練などの自主防災活動」は21.7%から29.5%に増加している。「現在参加していないが今後はしてみたい」活動については「ウォーキングや健康体操の企画などの健康づくり活動」がともに最も高いが、52.3%から41.4%に減少している。

【経年変化】

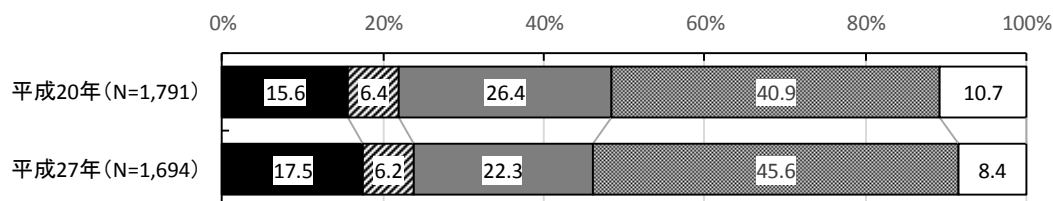
ア 自己啓発や趣味、スポーツを広めるための生涯学習推進活動



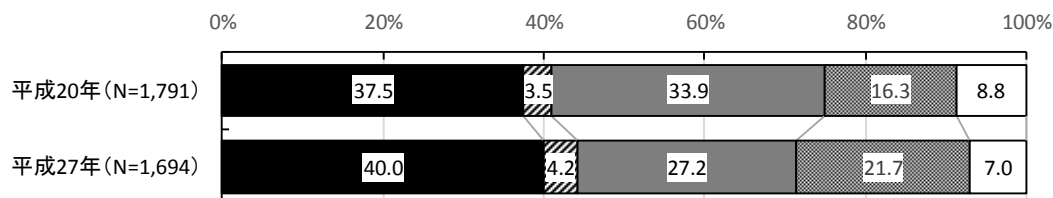
イ ウォーキングや健康体操の企画などの健康づくり活動



ウ 地域のイベント(祭り、運動会など)の企画・運営

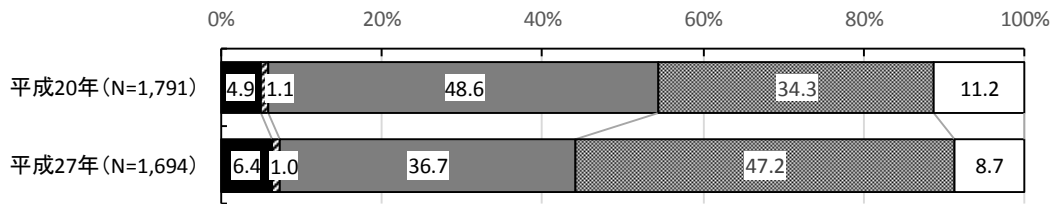


エ 地域の清掃などの美化活動

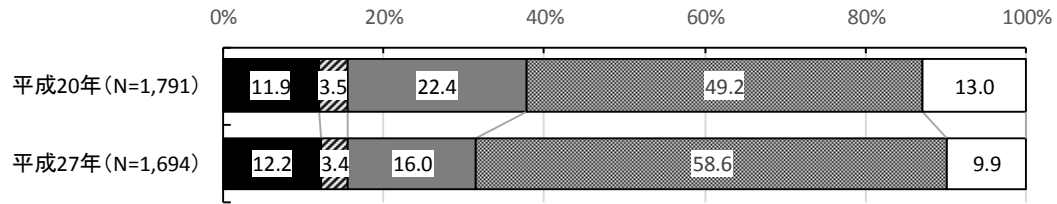


- 現在活動していて今後も続けたい
- ▨ 現在活動しているが今後はやめたい
- 現在活動していないが今後は参加してみたい
- 現在参加していないし今後も参加しない
- 無回答

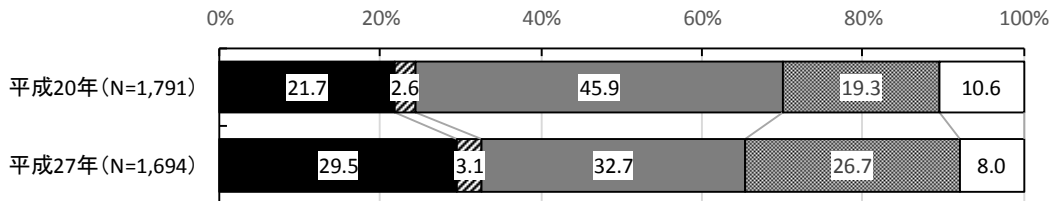
オ 福祉関係のボランティア活動



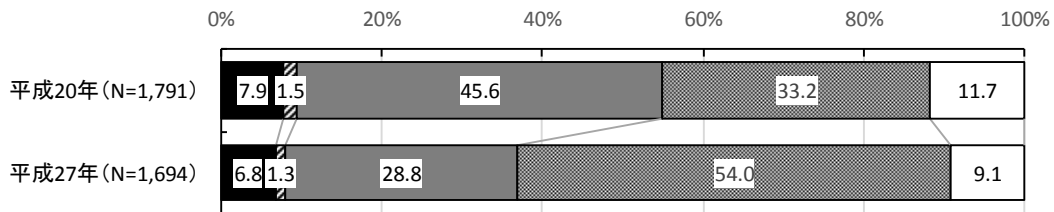
カ PTA・子ども会などの活動



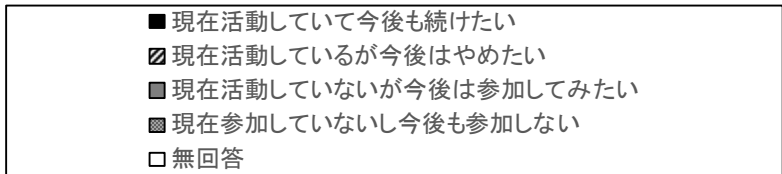
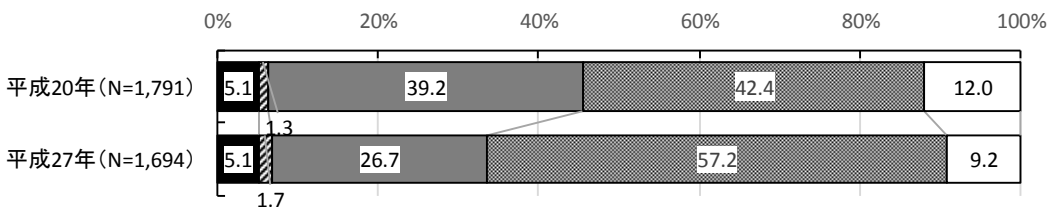
キ 防災・消防訓練などの自主防災活動



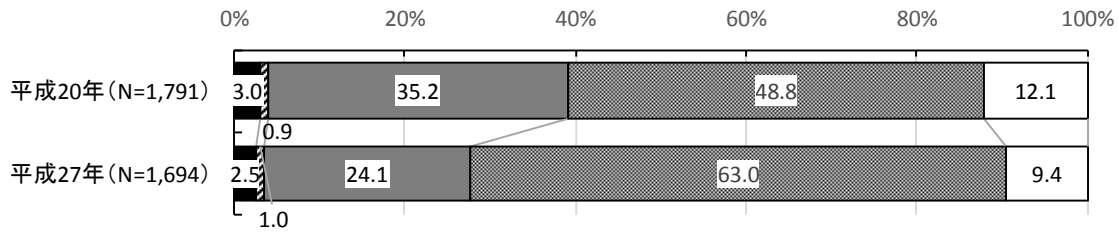
ク 地域のパトロールなどの地域安全防犯活動



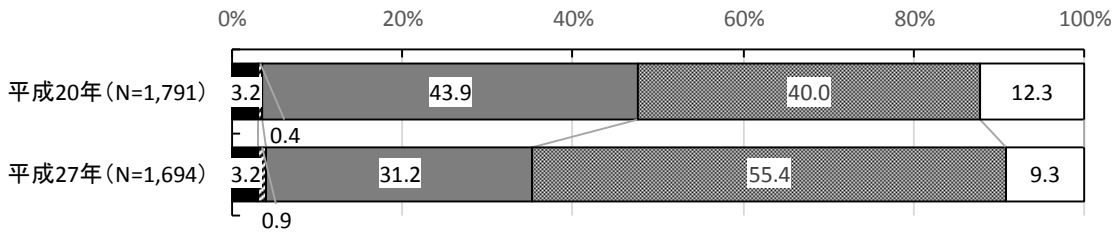
ケ 地域の交通安全啓発活動



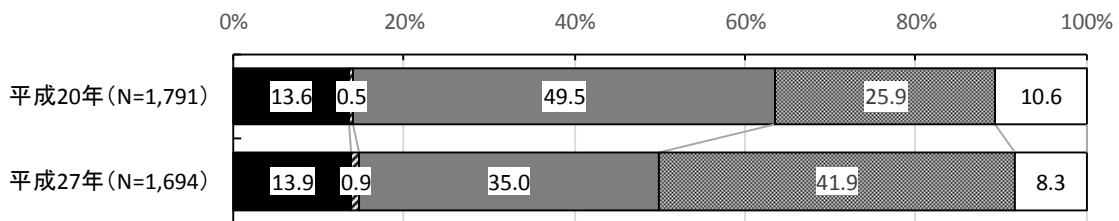
コ 補導活動・非行防止などの青少年健全育成活動



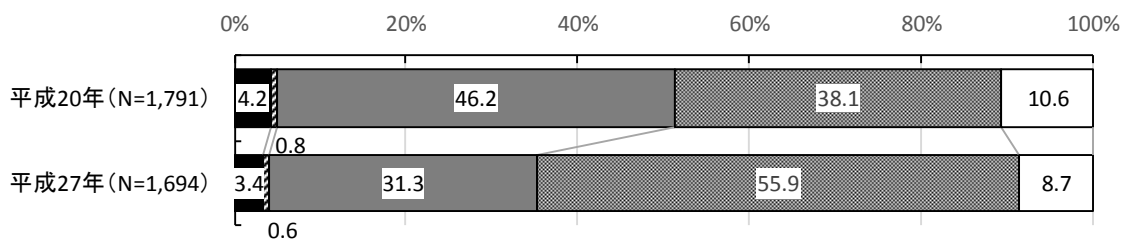
サ 地域で行う子育て支援活動



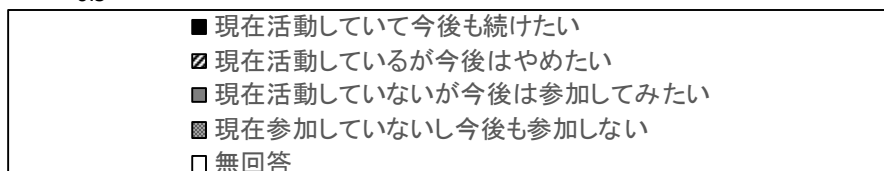
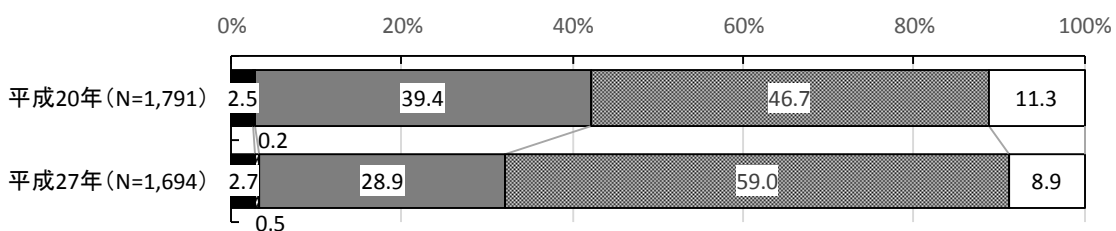
シ ごみの減量化やリサイクル推進などの環境保護活動



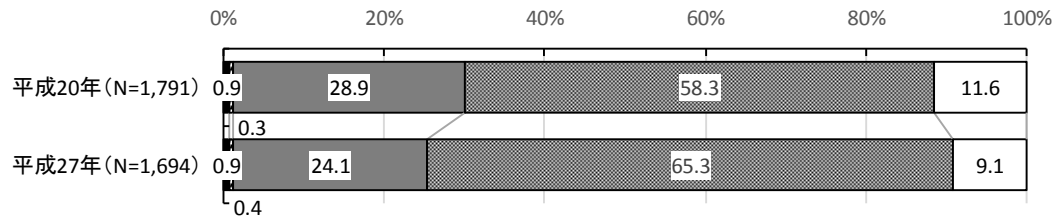
ス 街角の花壇の管理など緑や花をふやす活動



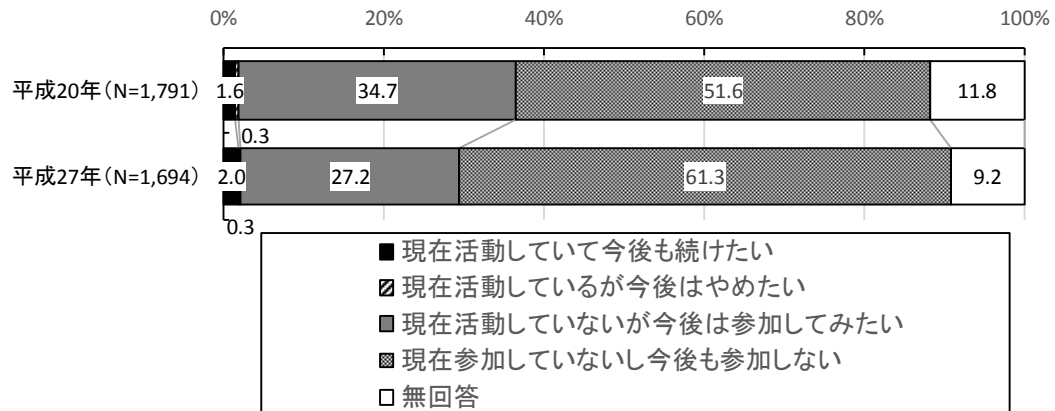
セ 地域の歴史や文化を守り伝えていく活動



ソ 外国人居住者の支援などの国際交流の活動

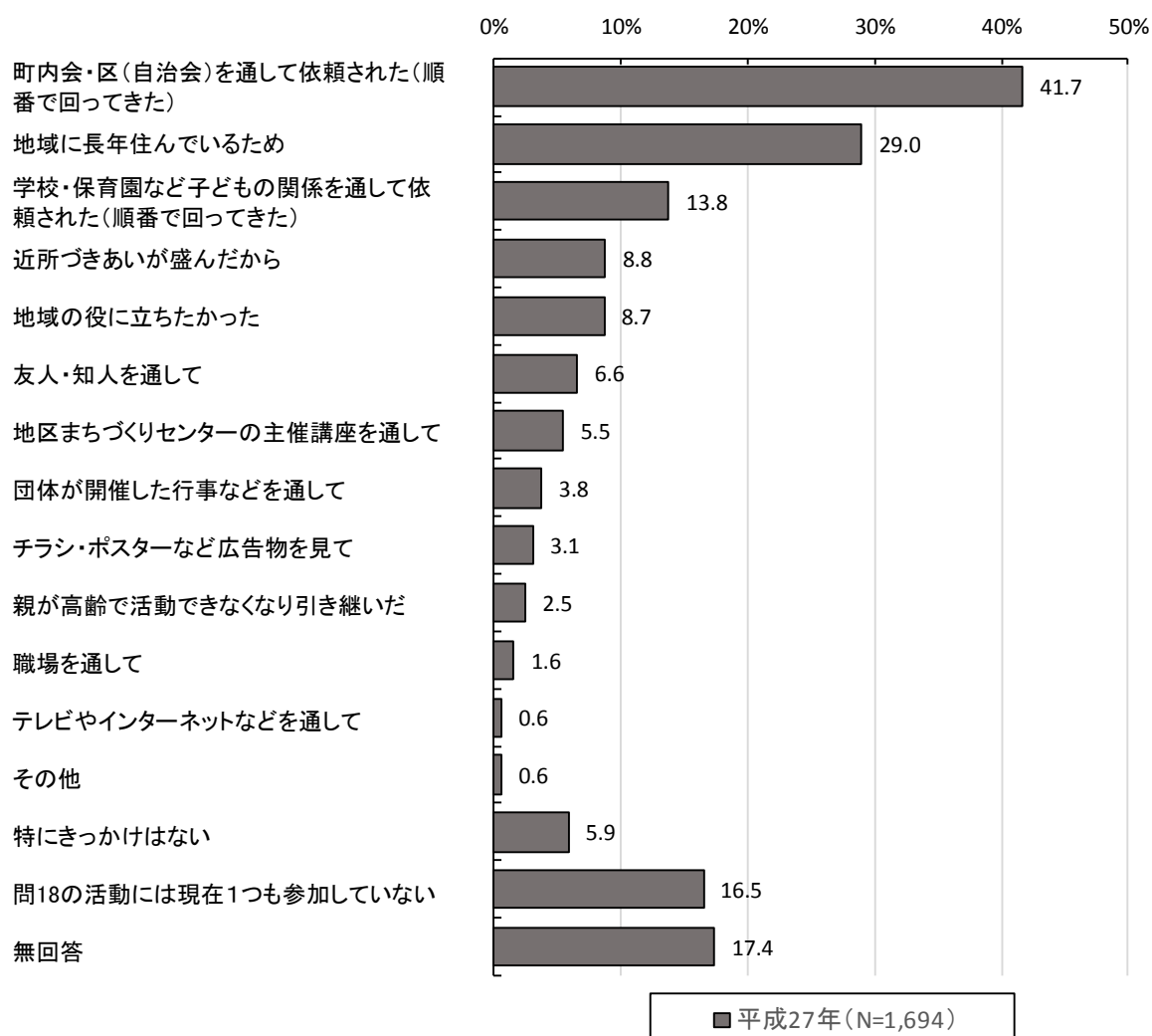


タ 商店街の活性化など地域のにぎわいづくり活動



(5) 地域コミュニティ活動に参加するようになったきっかけ

問19 あなたが、問18に挙げた地域コミュニティ活動に参加するようになったきっかけは何ですか。
次の中から3つ以内で選んでください。



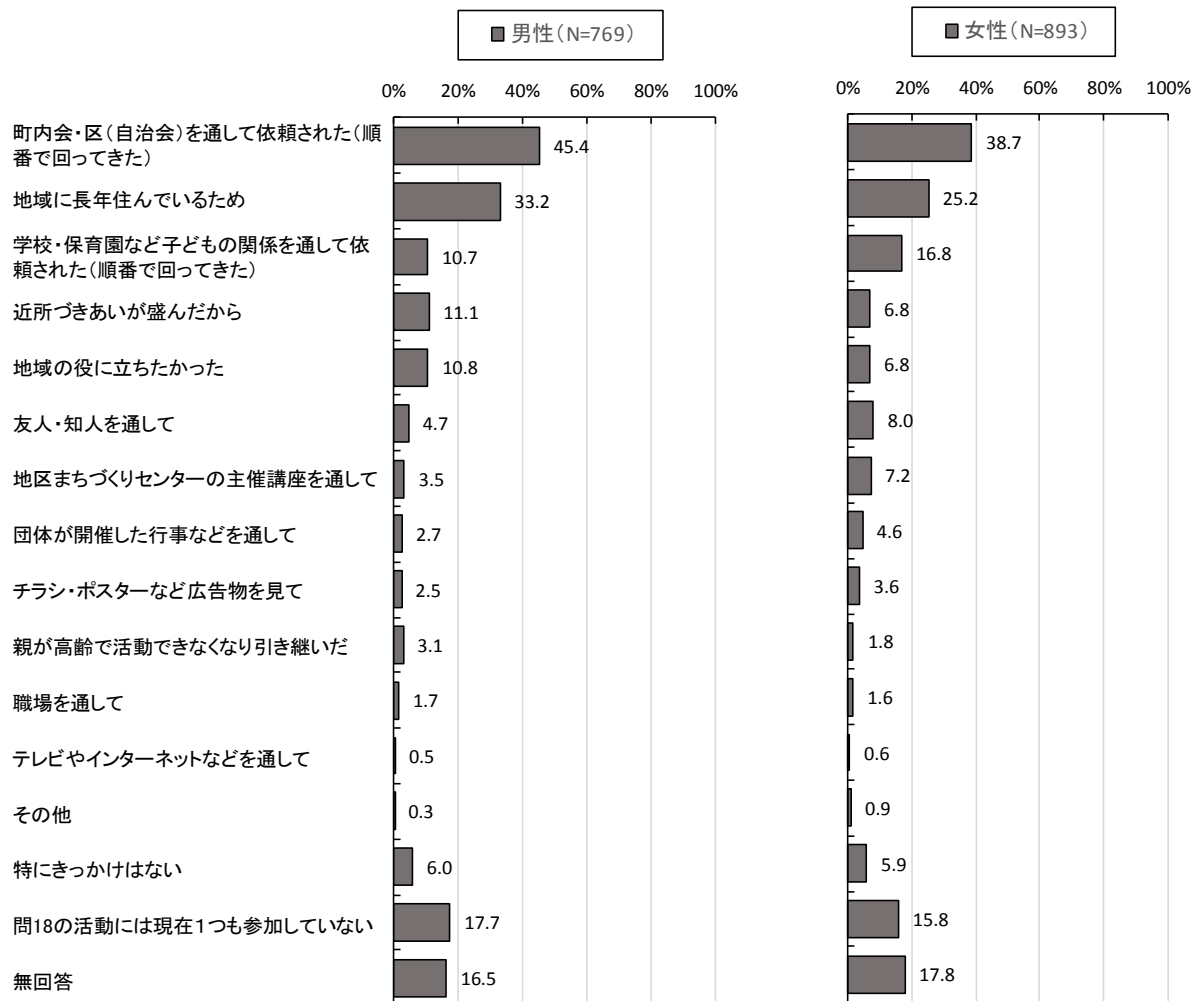
地域コミュニティ活動に参加するようになったきっかけについて尋ねたところ、「町内会・区(自治会)を通して依頼された(順番で回ってきた)」が最も高く41.7%となっている。一方、「問18の活動には現在1つも参加していない」と答えた人は16.5%となっている。

IV 調査結果

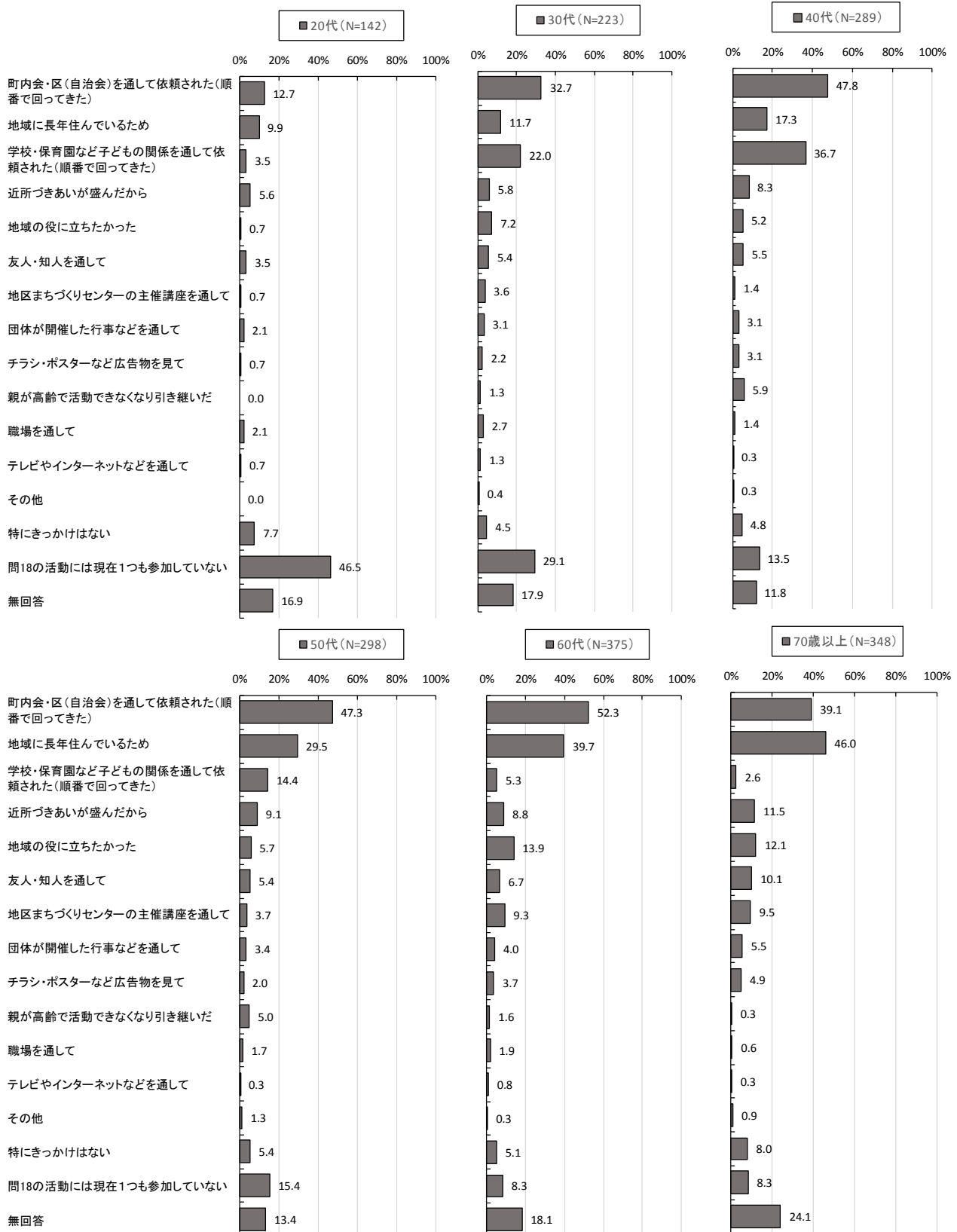
男女別に見ると、「町内会・区（自治会）を通して依頼された（順番で回ってきた）」は男女ともに最も高く、男性で45.4%、女性で38.7%と男性が高くなっている。「問18の活動には現在1つも参加していない」と答えた人は男性で17.7%、女性で15.8%と男性のほうがやや高くなっている。

年代別で見ると、「町内会・区（自治会）を通して依頼された（順番で回ってきた）」は30代・40代・50代・60代で最も高くなっている。20代では「問18の活動は現在1つも参加していない」が最も高く46.5%に達する。70歳以上については「地域に長年住んでいるため」が最も高く46.0%となっている。

【性別】



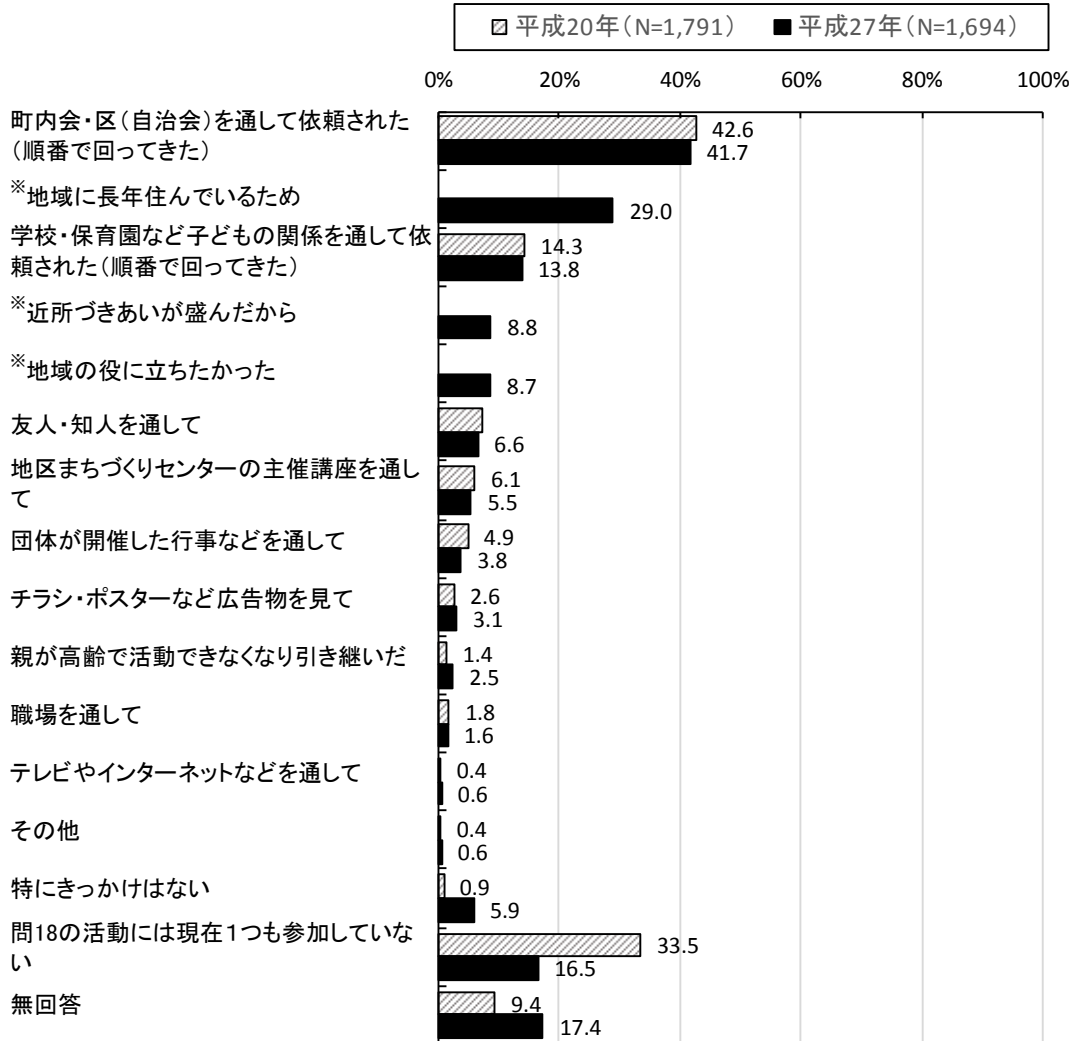
【年代別】



IV 調査結果

平成 20 年度の調査結果と比較すると、「町内会・区（自治会）を通して依頼された（順番で回ってきた）」がともに最も高くなっている。一方、「問 18 の活動は現在 1 つも参加していない」については 33.5%から 16.5%の約半数に減少している。

【経年変化】

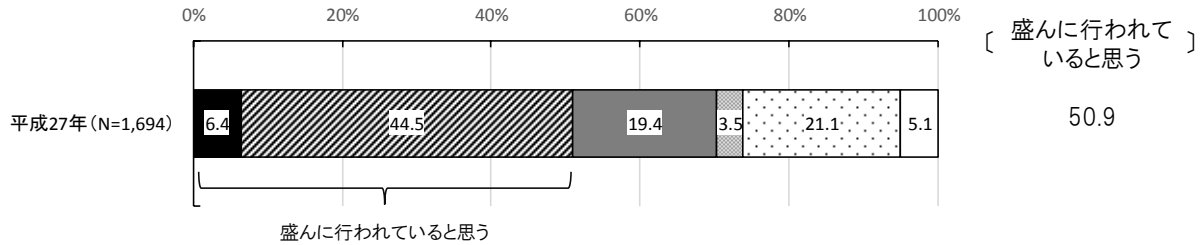


※ 「地域に長年住んでいるため」、「近所づきあいが盛んだから」、「地域の役に立ちたかった」は平成 27 年度の新設項目。

(6) 居住地域での地域コミュニティ活動

問 20 あなたが住んでいる地域で、問 18 で示したような地域コミュニティ活動は盛んであると思いますか。次の中から 1つだけ 選んでください。

- 非常に盛んに行われていると思う
- あまり盛んに行われていないと思う
- わからない
- ある程度盛んに行われていると思う
- ほとんど行われていないと思う
- 無回答

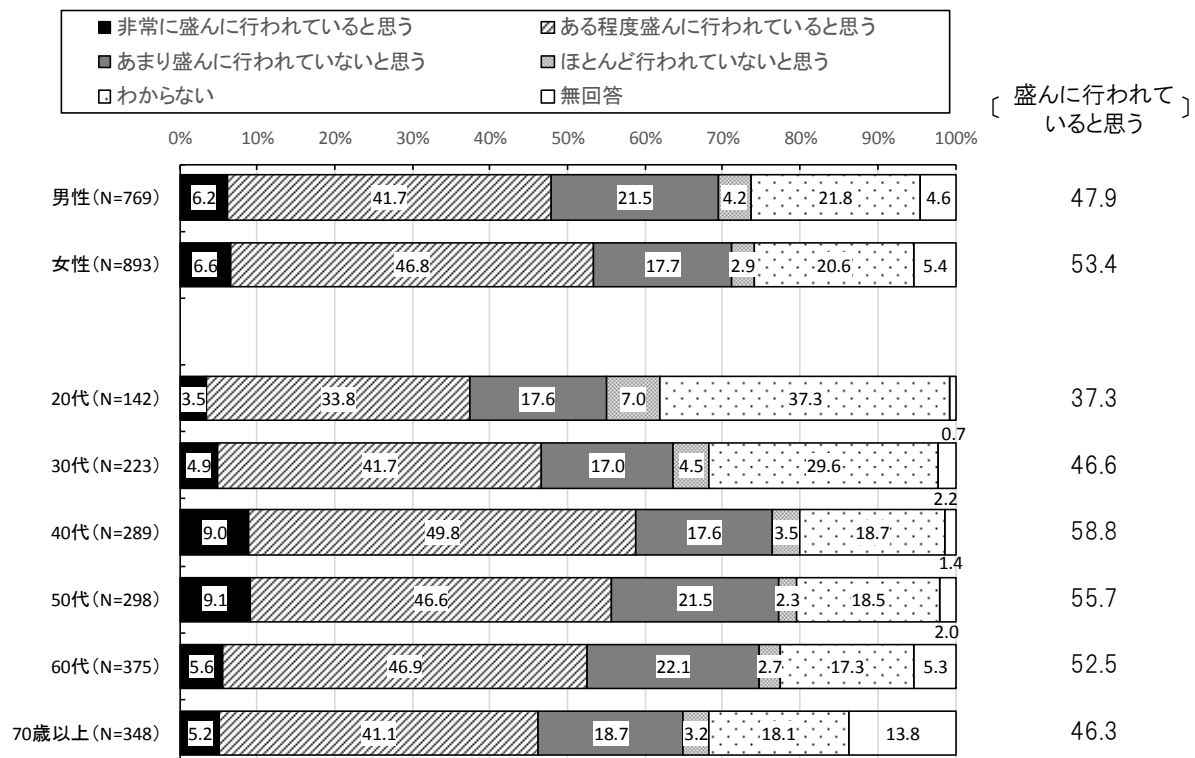


居住地域での地域コミュニティ活動は盛んであると思うかと尋ねたところ、「非常に盛んに行われていると思う」は6.4%、「ある程度盛んに行われていると思う」は44.5%となり、これらを合わせた“盛んに行われていると思う”は50.9%と半数を占めている。

男女別に見ると、男女間で大きな差は見られない。

年代別で見ると、20代では「わからない」が最も高く 37.3%、30代以上では「ある程度盛んに行われていると思う」が最も高く、4割を超えている。

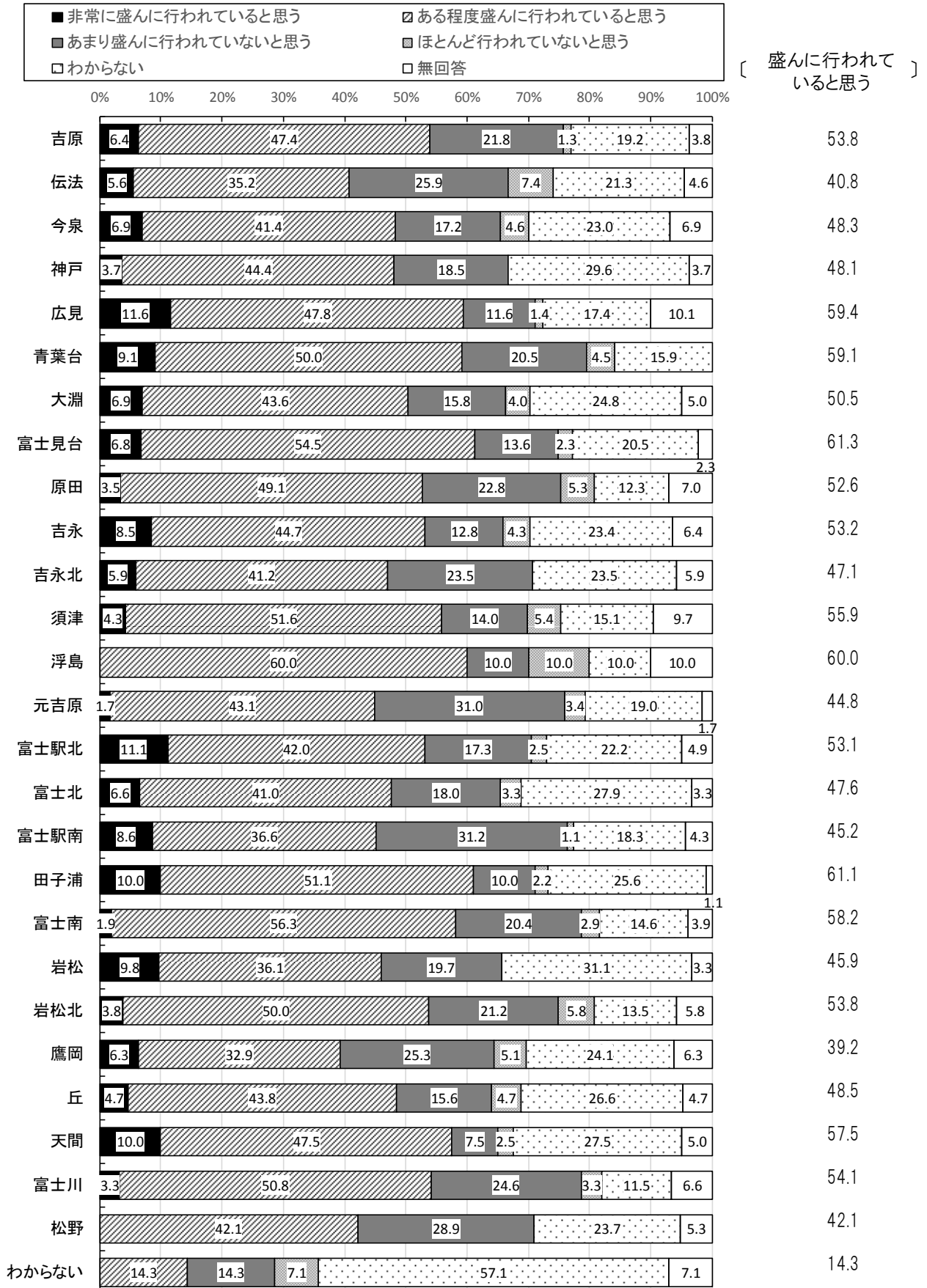
【性別・年代別】



IV 調査結果

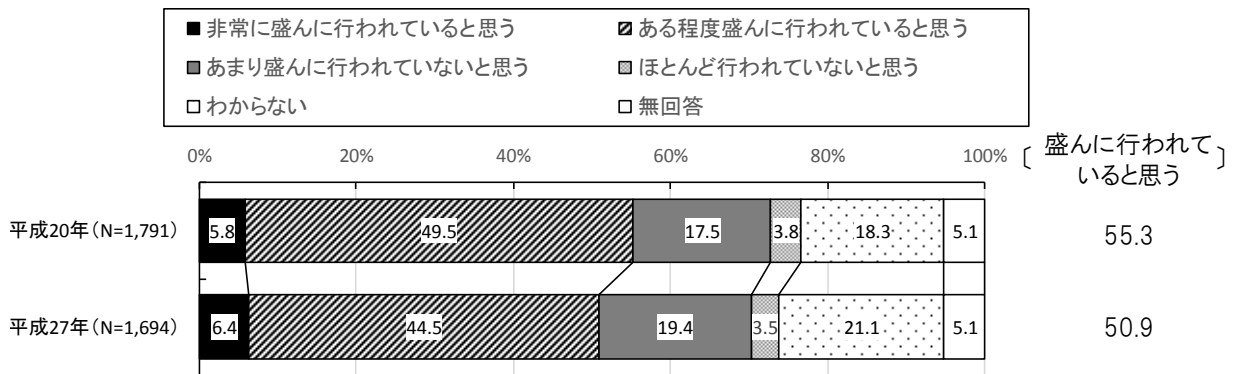
居住地区別にみると、“盛んに行われていると思う”と答えた人が最も多いのは、富士見台で61.3%となっており、次いで田子浦が61.1%、浮島が60.0%、広見が59.4%となっている。

【居住地別】



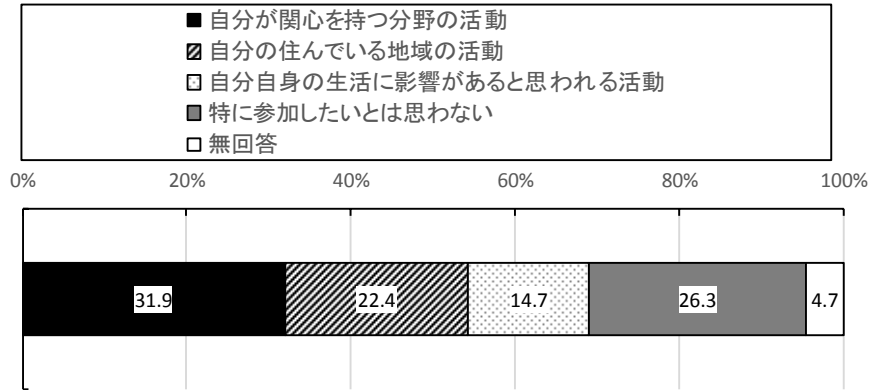
平成20年度の調査結果と比較すると、「非常に盛んに行われていると思う」は5.8%から6.4%へやや増加しているものの、「ある程度盛んに行われていると思う」は49.5%から44.5%へ減少したため、これらを合わせた“盛んに行われていると思う”は55.3%から50.9%へと減少している。

【経年変化】



(7) どのような地域コミュニティ活動に参加したいか

問 21 あなたは、どのような地域コミュニティ活動に参加したいと思いますか。
 次の中から 1つだけ 選んでください。

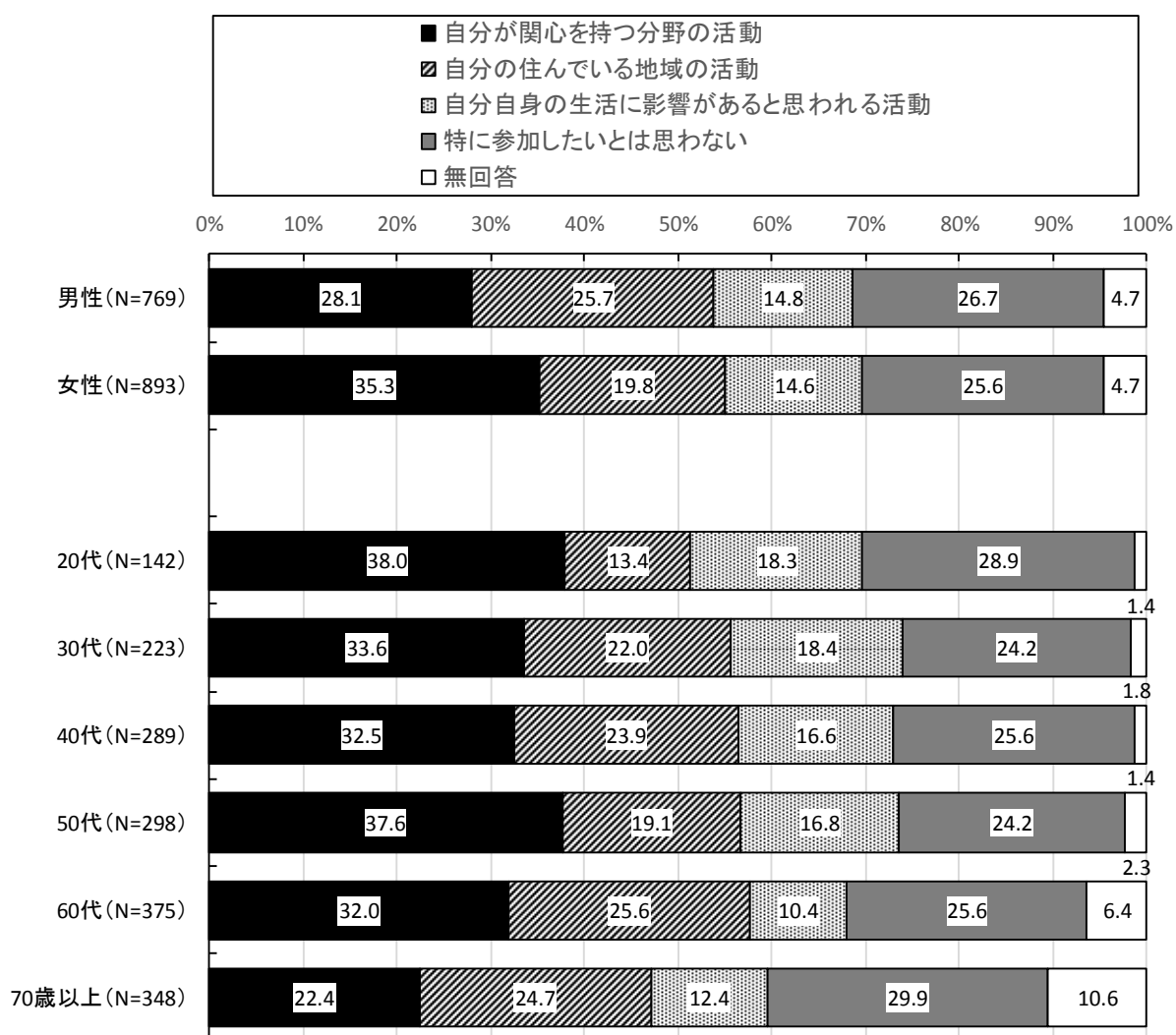


どのような地域コミュニティ活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「自分が興味を持つ分野の活動」が最も高く 31.9%、「自分の住んでいる地域の活動」が 22.4%、「自分自身の生活に影響があると思われる活動」が 14.7%となっている。「特に参加したいとは思わない」については 26.3%となっている。

男女別に見ると、「自分が関心を持つ分野の活動」は男性が28.1%、女性が35.3%と女性が高くなっている。「自分の住んでいる地域の活動」は男性が25.7%、女性が19.8%と男性が高くなっている。

年代別に見ると、20代から60代では「自分が関心を持つ分野の活動」が最も高くなっている。70歳以上では「特に参加したいとは思わない」が29.9%と最も高くなっている。

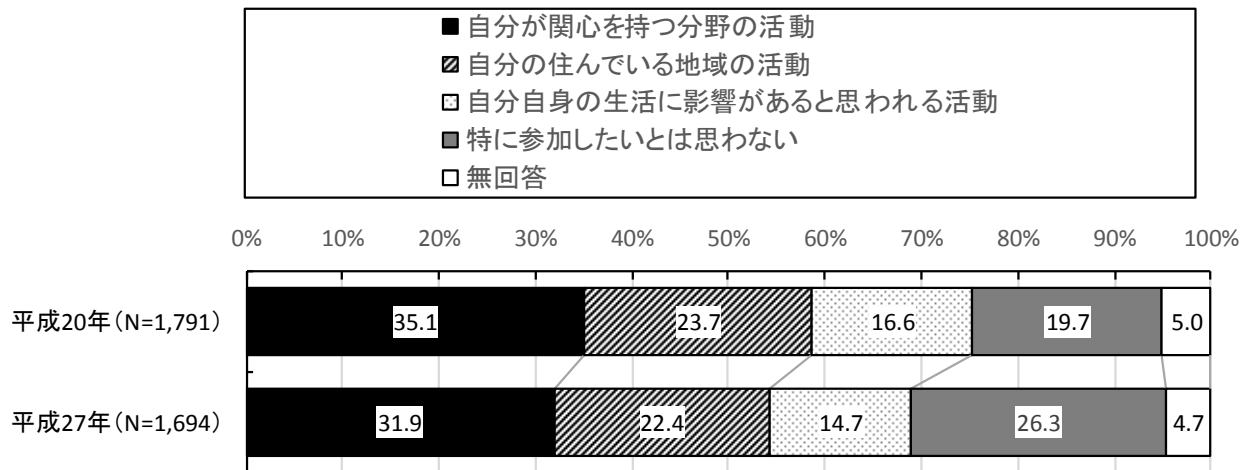
【性別・年代別】



IV 調査結果

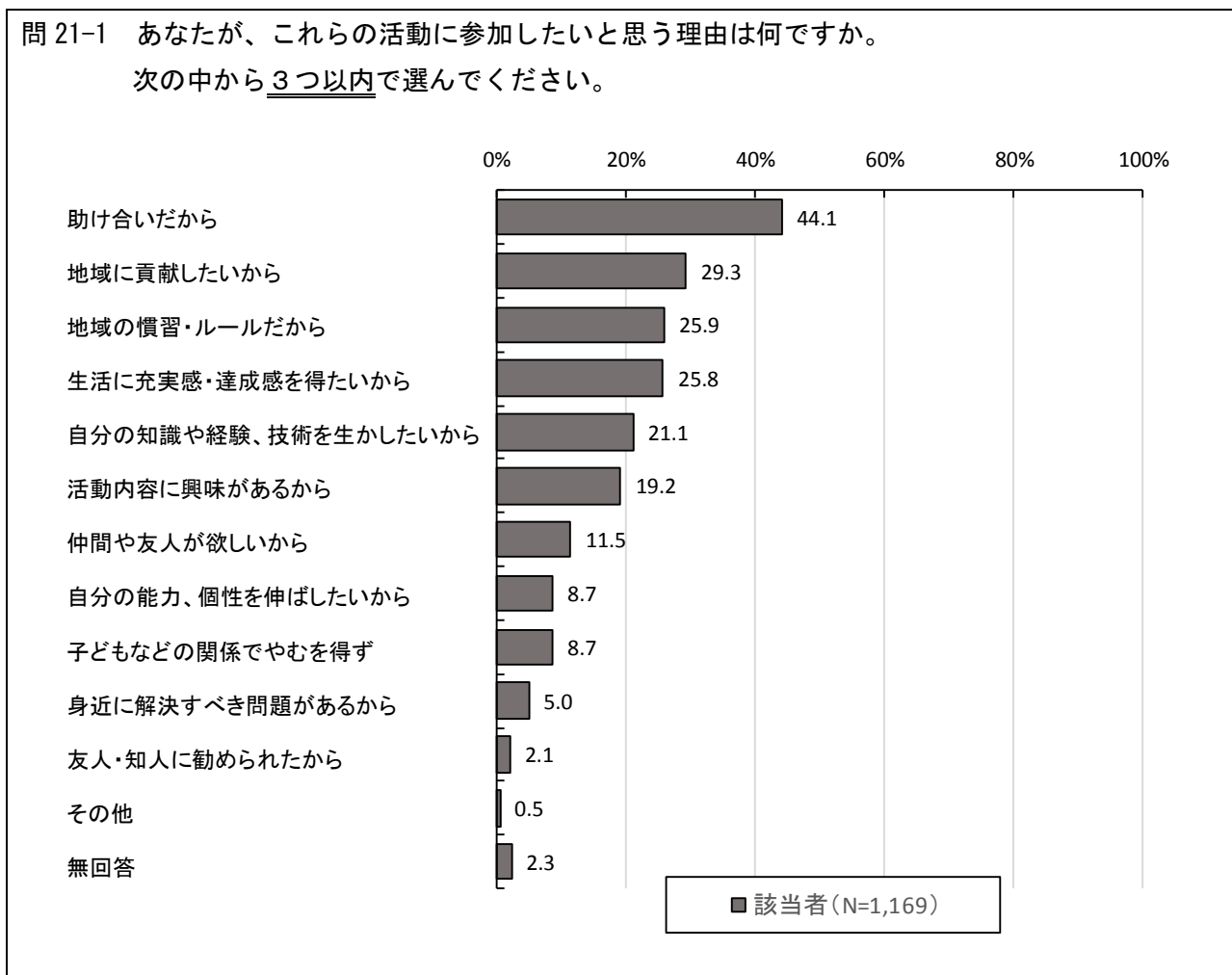
平成20年度の調査結果と比較すると、「自分が興味を持つ分野の活動」は35.1%から31.9%へやや減少したが、最も高い項目となっている。「特に参加したいとは思わない」は19.7%から26.3%に増加している。

【経年変化】



<問 21 で 1~3 と答えた人に伺います>

(8) 地域コミュニティ活動に参加したいと思う理由



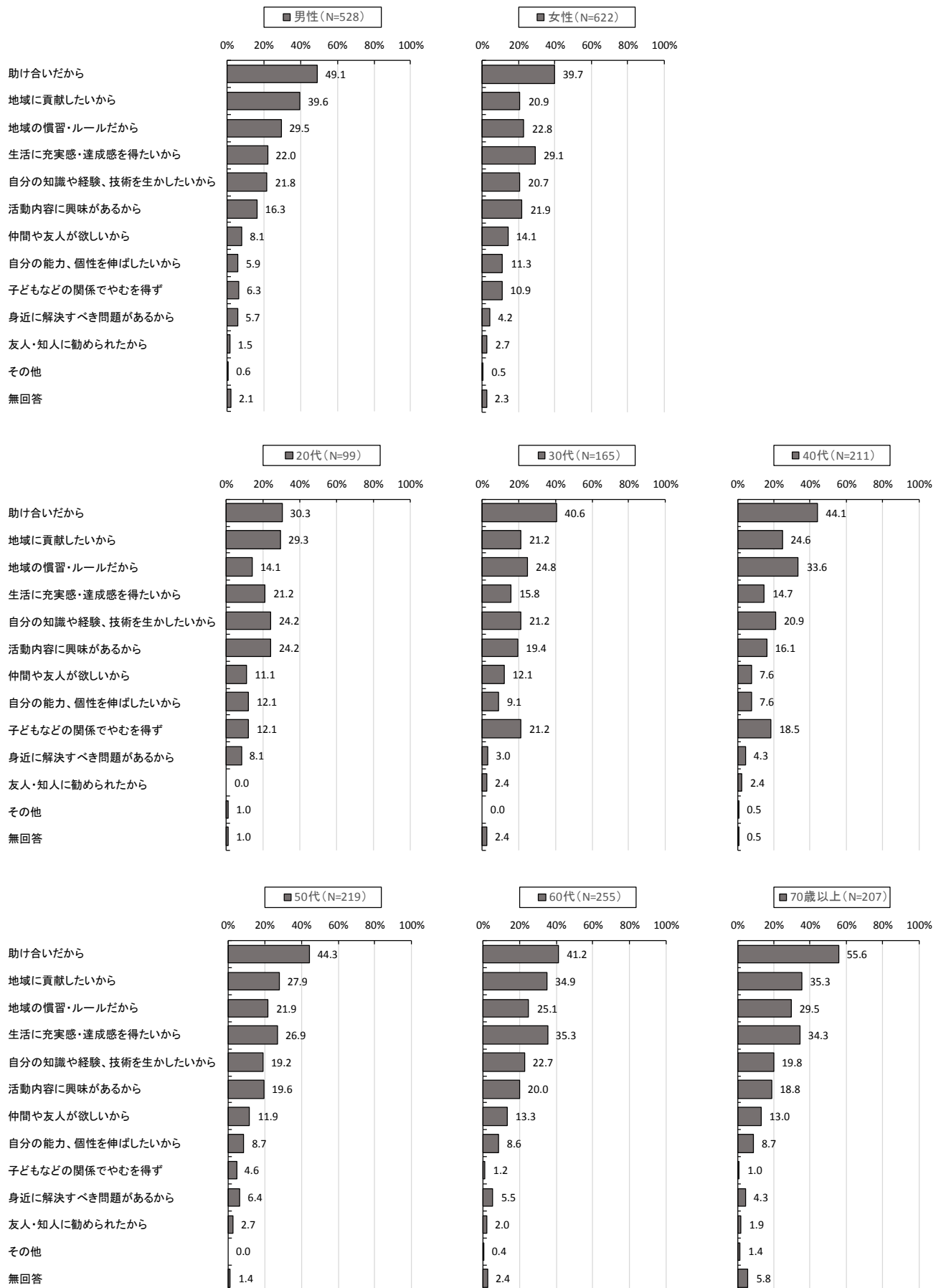
問 21 の質問で「参加したいと思う地域コミュニティ活動がある」と答えた人に、参加したいと思う理由は何かと尋ねたところ、「助け合いだから」が最も高く 44.1%となっている。次いで、「地域に貢献したいから」が 29.3%、「地域の慣習・ルールだから」が 25.9、「生活に充実感・達成感を得たいから」が 25.8%と続いている。

男女別に見ると、「助け合いだから」は男性が 49.1%、女性が 39.7%と男性が高くなっている。男性では次いで「地域に貢献したいから」が 39.6%、女性では次いで「生活に充実感・達成感を得たいから」が 29.1%と続いている。

年代別に見ると、全ての年代で「助け合いだから」が最も高くなっている。「地域に貢献したいから」は 60代で 34.9%、70歳以上で 35.3%と他世代よりも高くなっている。

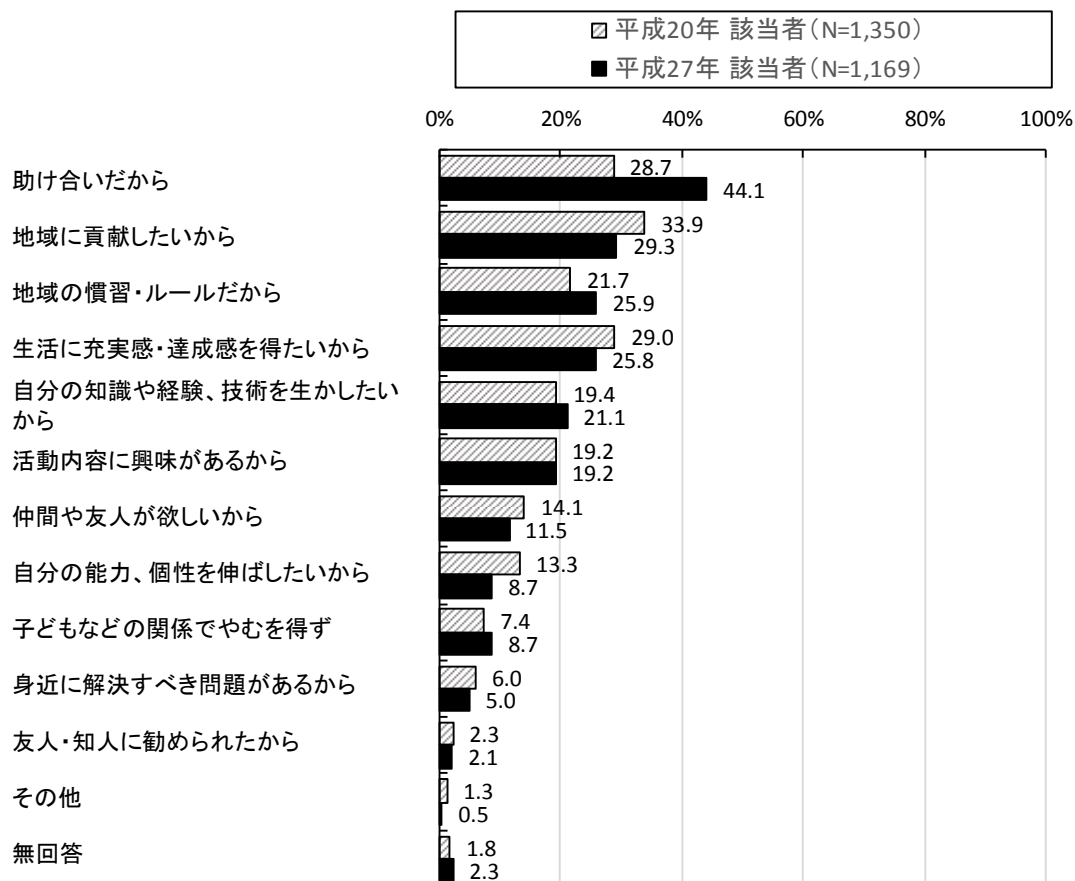
IV 調査結果

【性別・年代別】



平成20年度の調査結果と比較すると、「助け合いだから」は28.7%から44.1%に増加している。その他の項目には大きな変化は見られない。

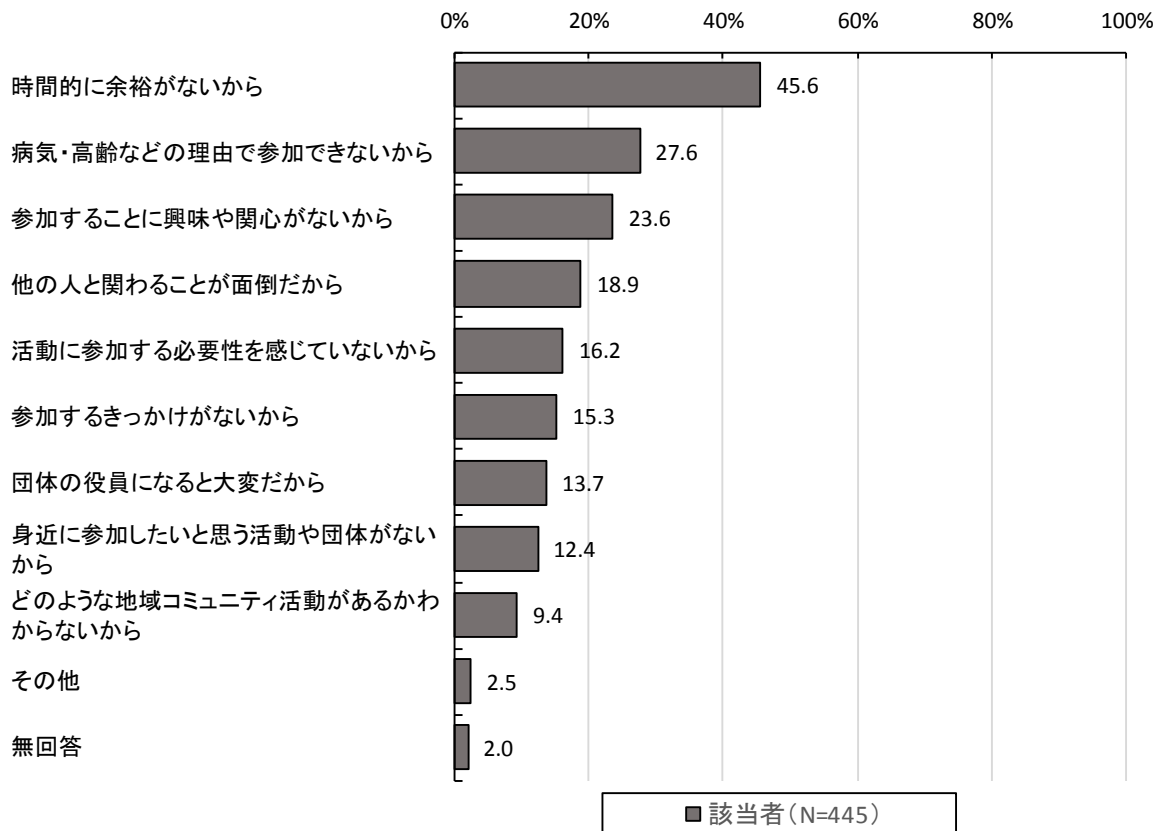
【経年変化】



<問 21 で 4 と答えた人に伺います>

(9) 地域コミュニティ活動に参加したいと思わない理由

問 21-2 参加したいと思わない理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

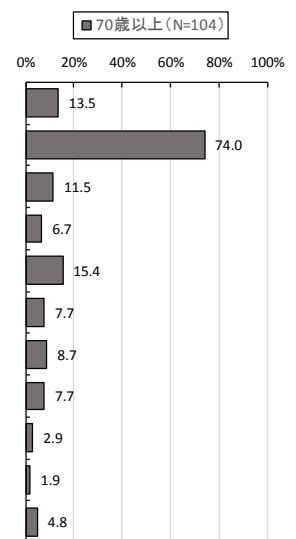
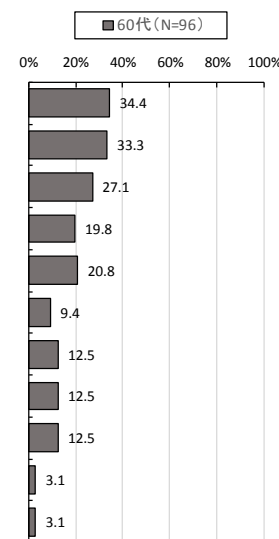
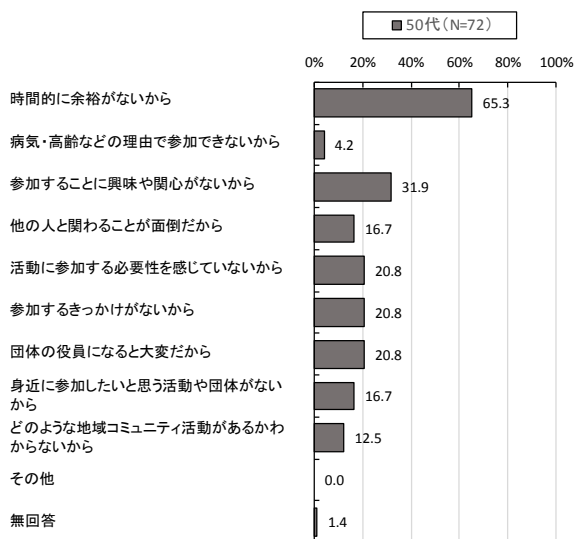
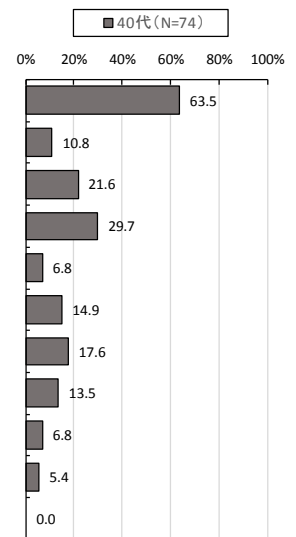
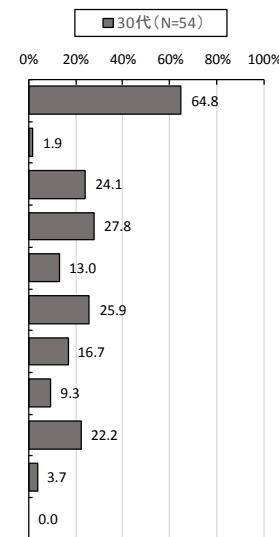
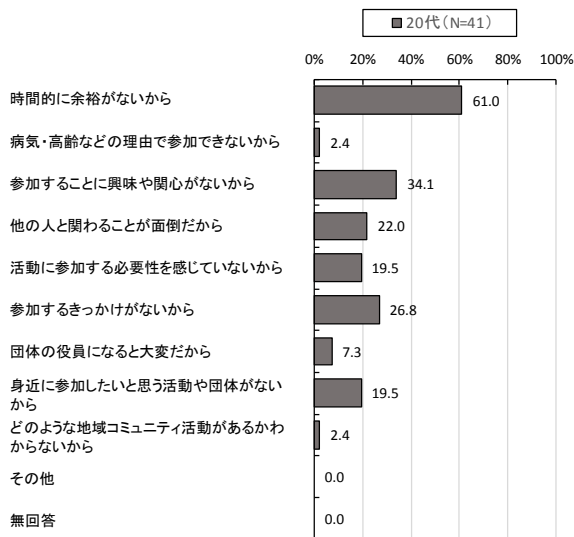
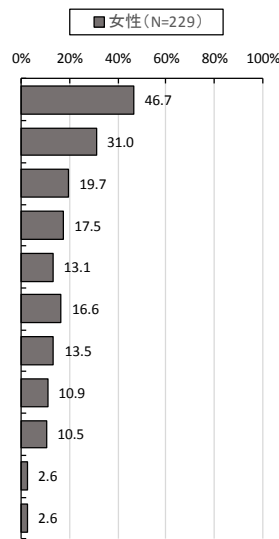
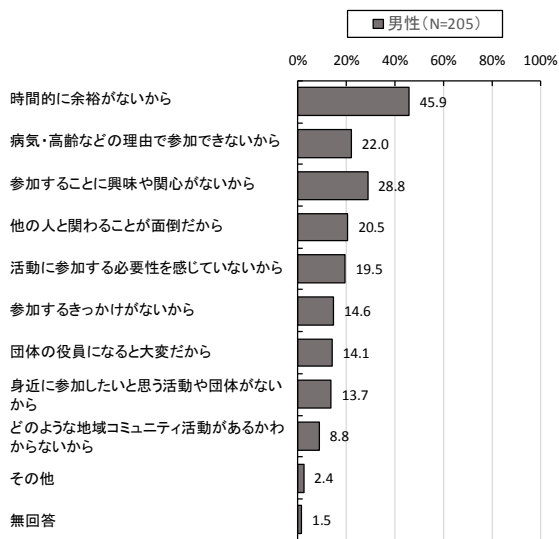


問 21 の質問で「特に参加したいとは思わない」と答えた人に、地域コミュニティ活動に参加したいと思わない理由は何かと尋ねたところ、「時間的に余裕がないから」が最も高く 45.6%と約半数を占めている。次いで「病気・高齢などの理由で参加できないから」が 27.6%、「参加することに興味や関心がないから」が 23.6%、「他の人と関わることが面倒だから」が 18.9%と続いている。

男女別に見ると、「時間的に余裕がないから」が男女ともに最も高く、男性で 45.9%、女性で 46.7%となっている。「病気・高齢などの理由で参加できないから」は男性で 22.0%、女性で 31.0%と女性が高くなっている。

年代別に見ると、「時間的に余裕がないから」は 20代から 60代の世代で最も高くなっており、特に 20代から 50代までの年代においては 6割を超えている。70歳以上の世代では、「病気・高齢などの理由で参加できないから」が 74.0%と非常に高くなっている。

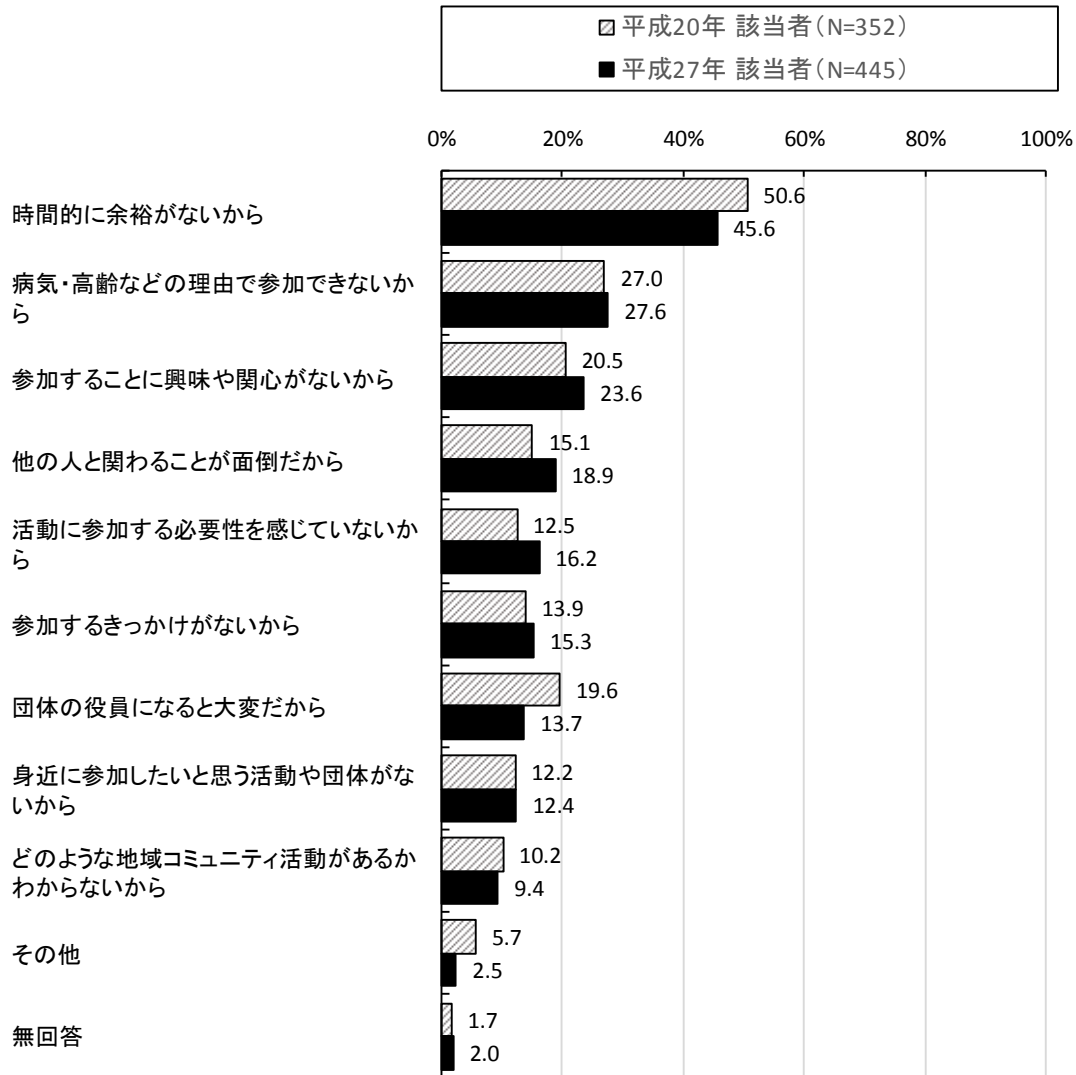
【性別・年代別】



IV 調査結果

平成20年度の調査結果と比較すると、「時間に余裕がないから」は50.6%から45.6%に減少している。一方、「参加することに興味や関心がないから」、「他の人と関わることが面倒だから」、「活動に参加する必要性を感じていないから」については、平成20年の結果よりもそれぞれ3ポイント程度増加している。

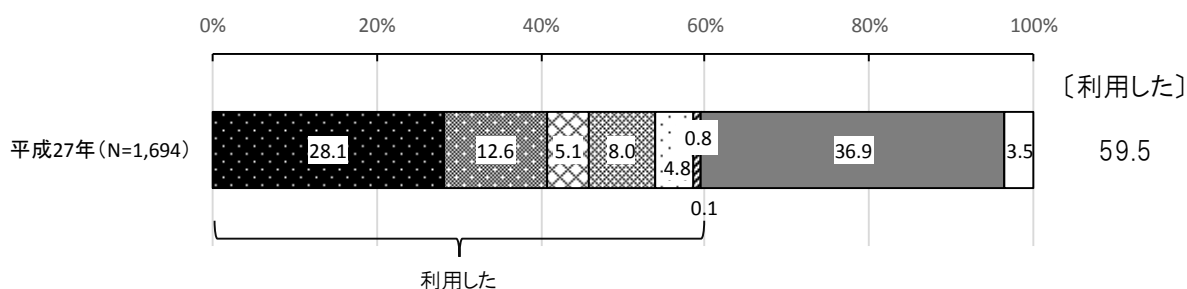
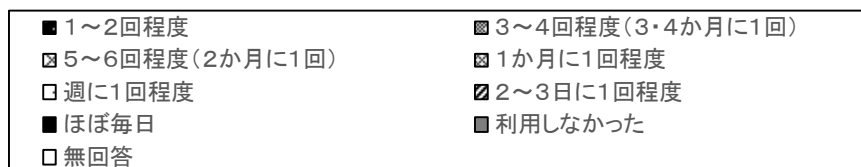
【経年変化】



《全ての人に伺います》

(10) 1年間の地区まちづくりセンターの利用頻度

問22 あなたは、過去1年間で、地区まちづくりセンターをどのくらいの頻度で利用しましたか。
次の中から1つだけ選んでください。



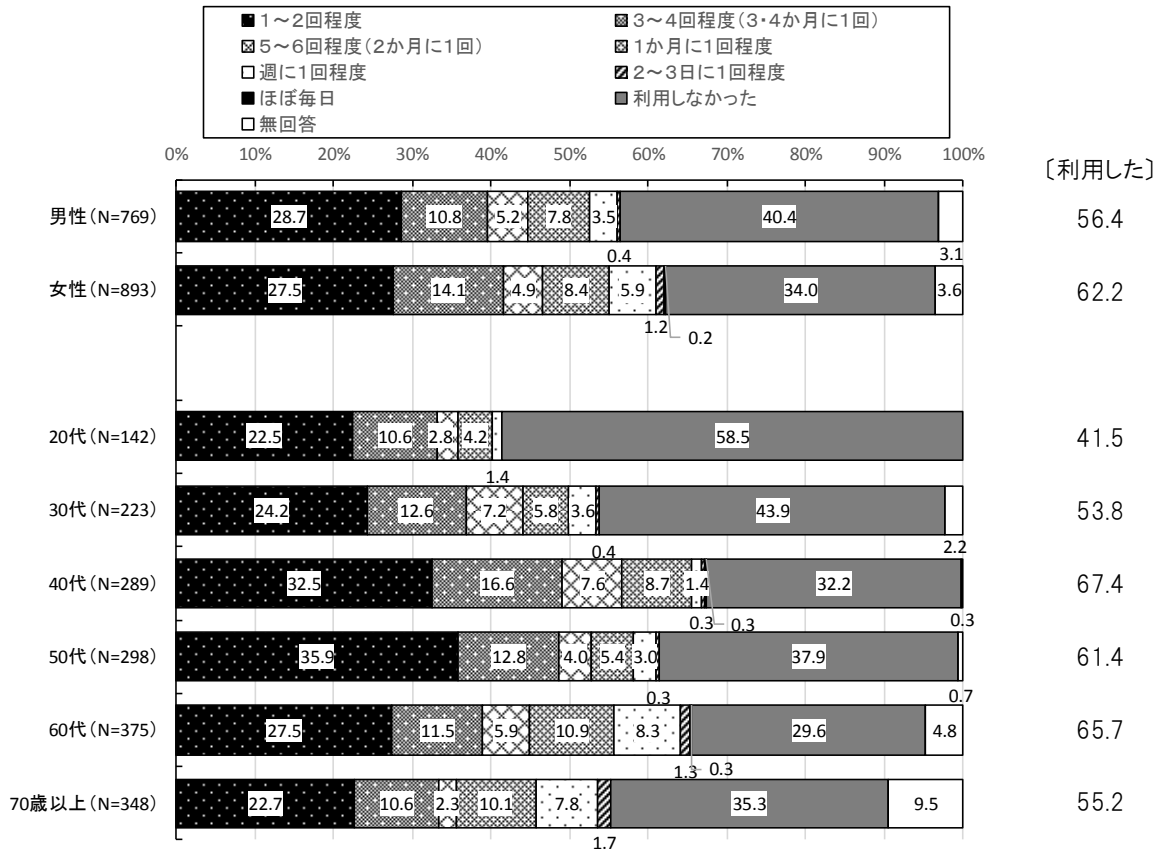
地区まちづくりセンターの利用頻度について尋ねたところ、「利用しなかった」が最も高く 36.9%、全体の約4割が非利用者となっている。一方、「利用した」人は全体の59.5%で、「1～2回程度」が28.1%、「3～4回程度(3・4か月に1回)」が12.6%、「1か月に1回程度」が8.0%と続いている。

IV 調査結果

男女別に見ると、”利用した”人は男性で56.4%、女性で62.2%と女性が高くなっている。

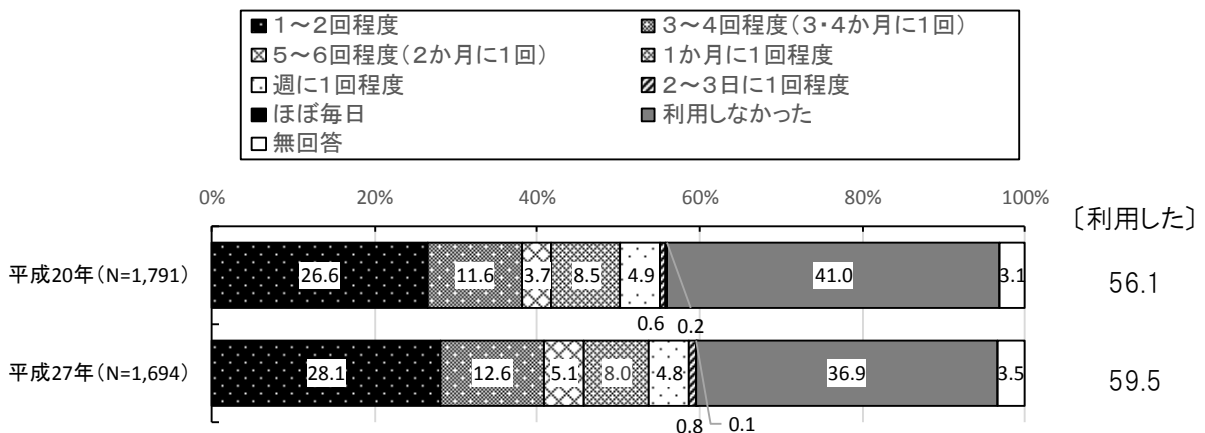
年代別に見ると、”利用した”人は40代・50代・60代で6割を超え、70歳以上では5割、20代では4割となった。いずれの年代においても「1～2回程度」の利用が高く、特に50代では35.9%と、利用者に占める「1～2回程度」の利用者割合が高い。

【性別・年代別】



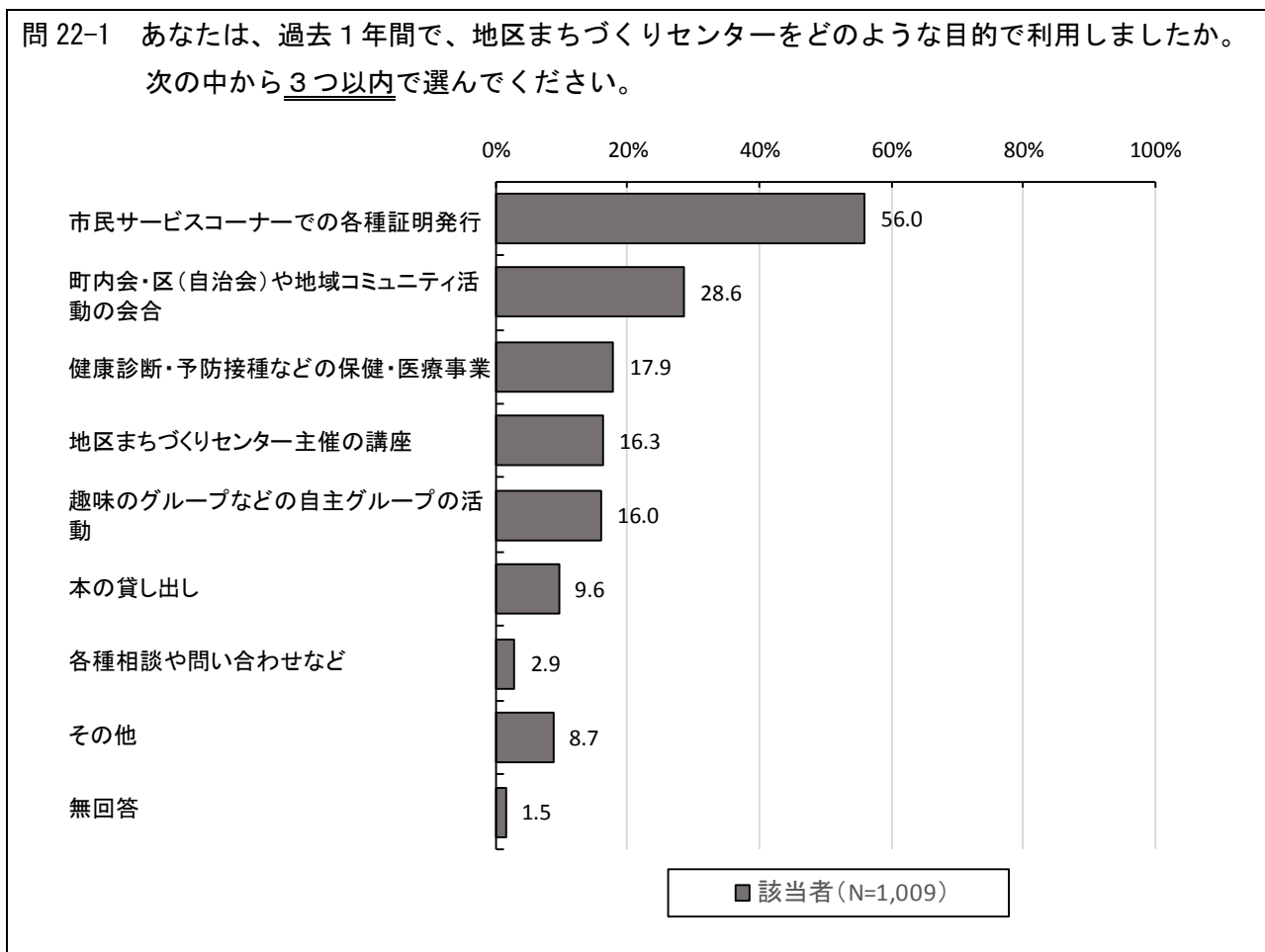
平成20年度の調査結果と比較すると、”利用した”人は56.1%から59.5%に増加している。「1～2回程度」、「3～4回程度」、「5～6回程度」の低頻度利用者が増加したことが影響している。

【経年比較】



<問 22 で 1~7 と答えた人に伺います>

(11) 地区まちづくりセンターの利用目的



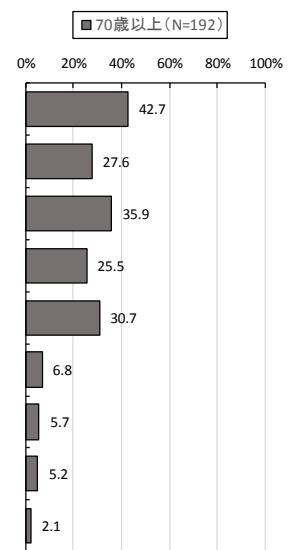
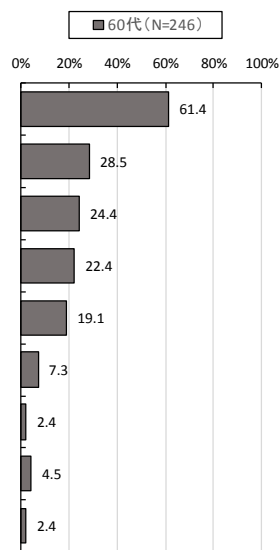
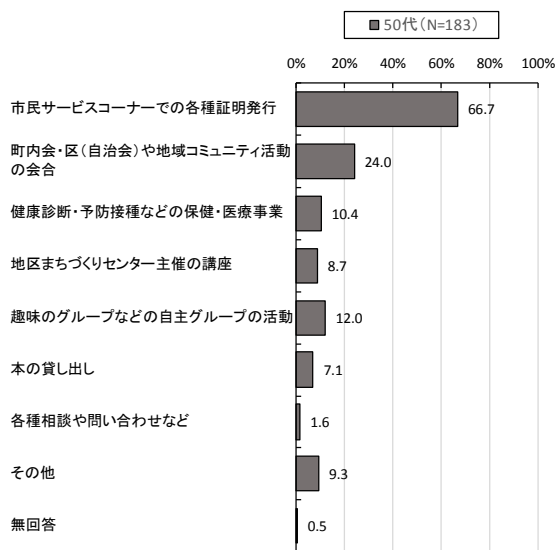
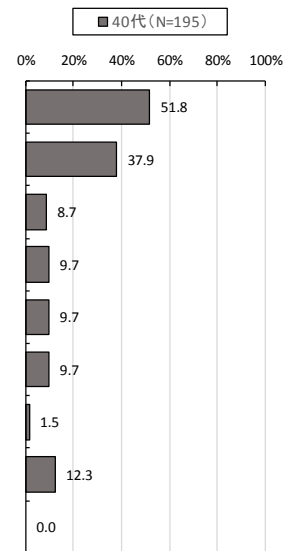
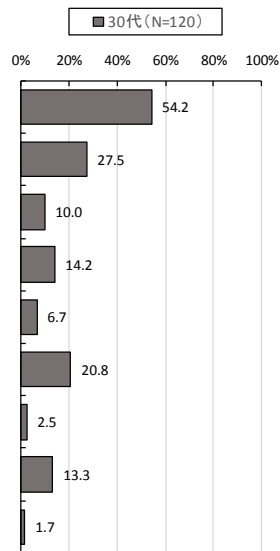
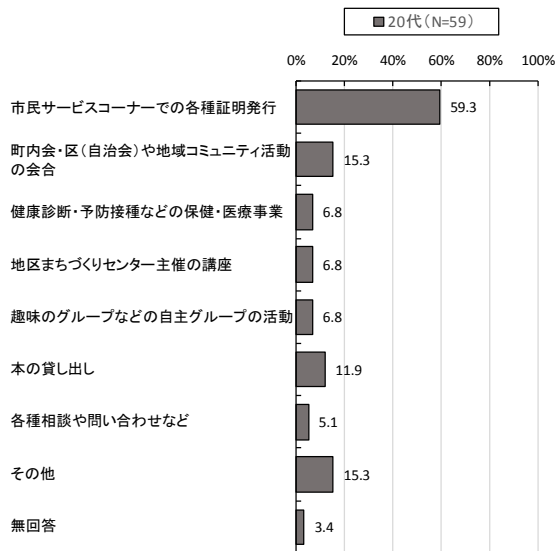
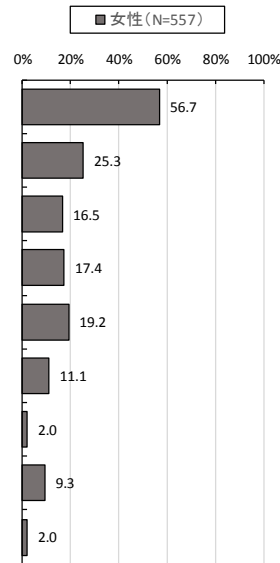
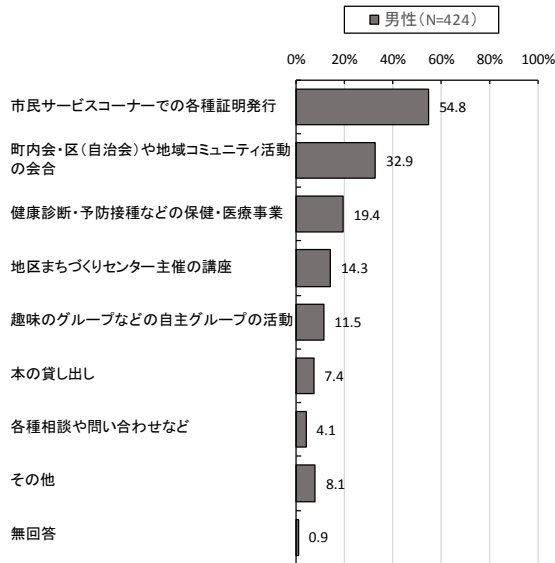
地区まちづくりセンター利用者における、センターの利用目的について尋ねたところ、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」が最も高く 56.0%となっている。次いで、「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」が 28.6%、「健康診断・予防接種などの保健・医療事業」が 17.9%、「地区まちづくりセンター主催の講座」が 16.3%と続いている。

男女別に見ると、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」は男女ともに最も高く、男性が 54.8%、女性が 56.7%となっている。また、男性では「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」が 32.9%と女性の 25.3%よりも高い。また、女性では、「趣味のグループなどの自主グループの活動」が 19.2%と男性の 11.5%よりも高い。

年代別に見ると、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」は全ての年代で最も高くなっている。「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」での利用は 40代で 37.9%と他世代よりも高い。また 70歳以上では、「健康診断・予防接種などの保健・医療事業」や「地区まちづくりセンター主催の講座」、「趣味のグループなどの自主グループの活動」での利用が高い。

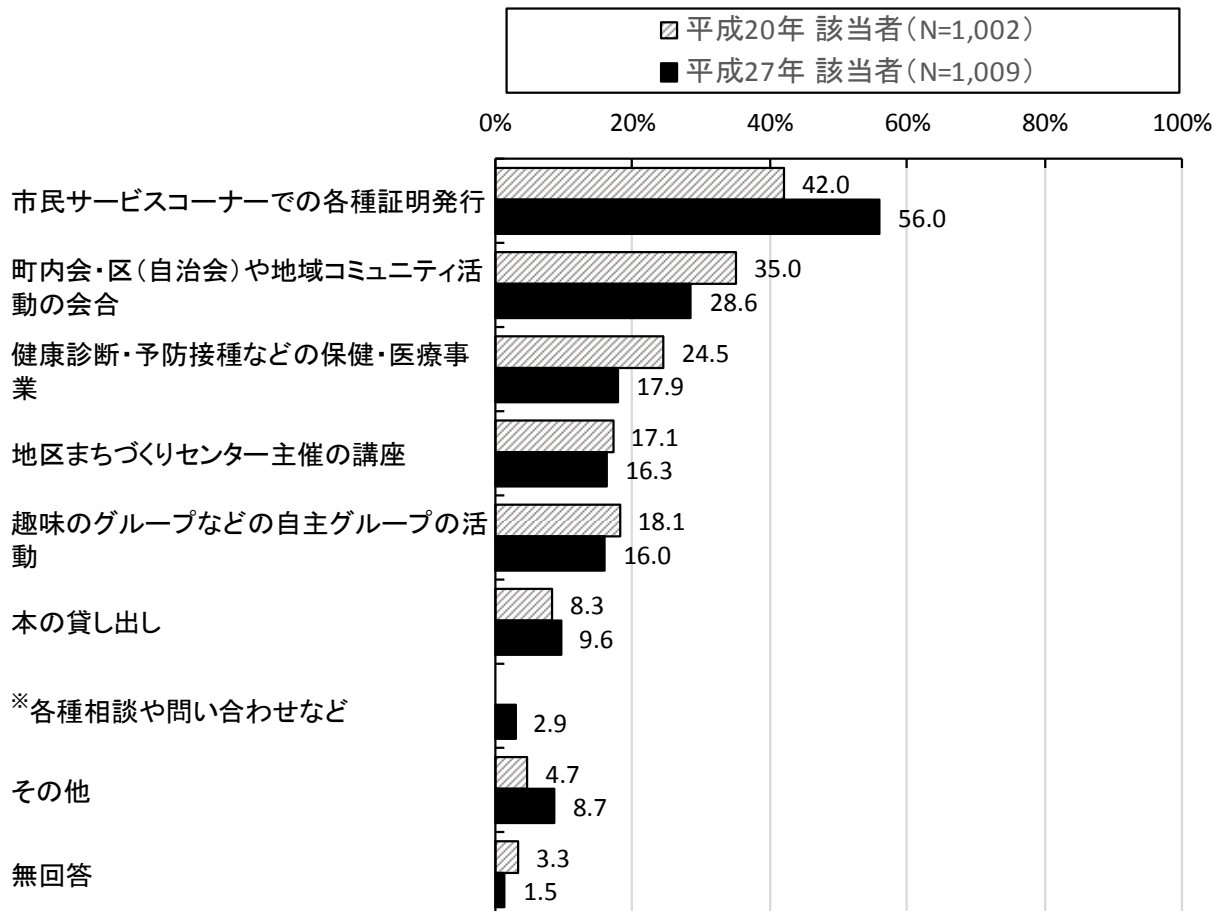
IV 調査結果

【性別・年代別】



平成 20 年度の調査結果と比較すると、「市民サービスコーナーでの各種証明発行」は 42.0%から 56.0%に増加している。「町内会・区（自治会）や地域コミュニティ活動の会合」での利用は 35.0%から 28.6%へ、「健康診断・予防接種などの保健・医療事業」は 24.5%から 17.9%へそれぞれ減少している。

【経年変化】

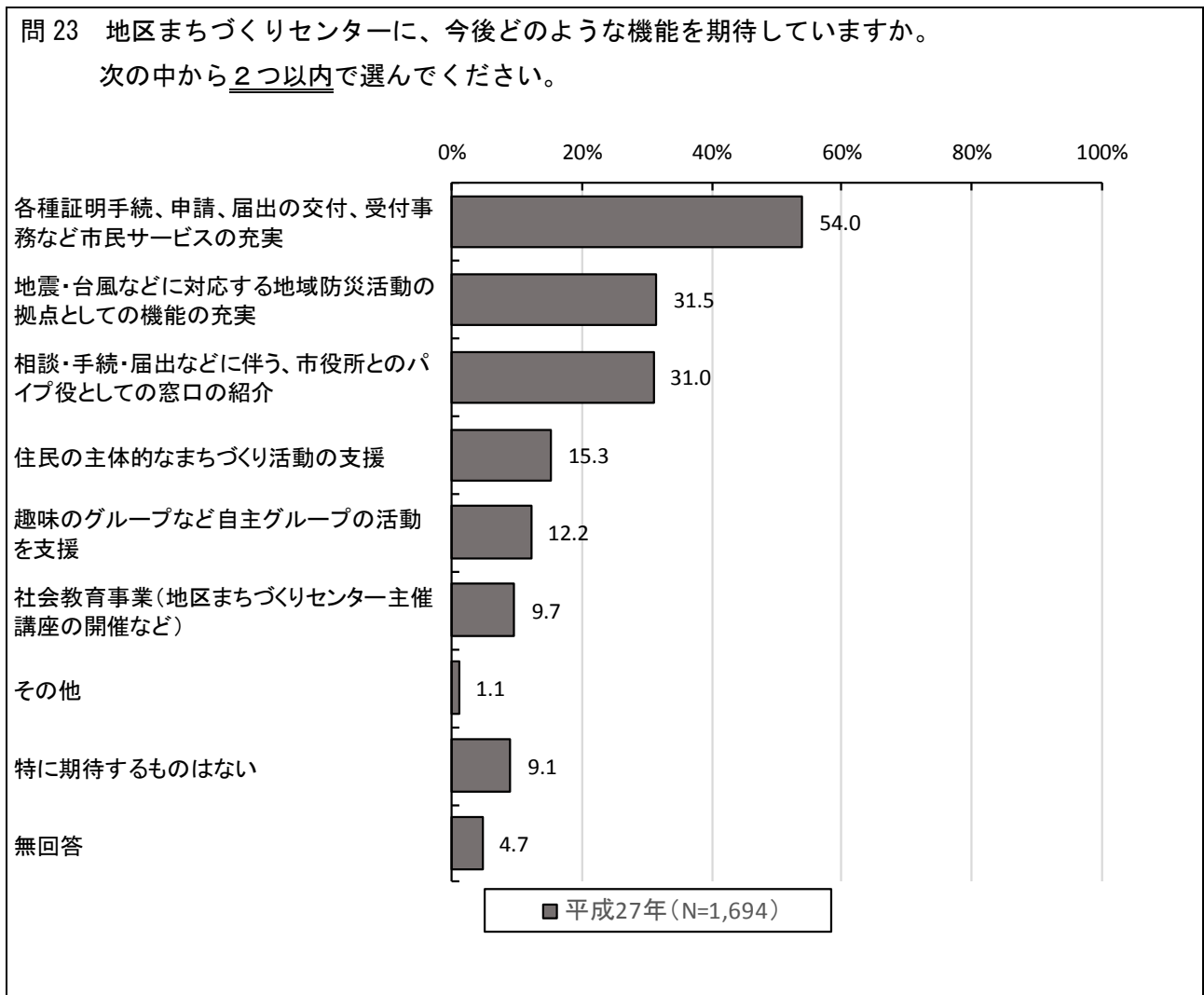


※「各種相談や問い合わせなど」は平成 27 年度の新設項目。

《全ての人に伺います》

(12) 地区まちづくりセンターに今後期待する機能

問 23 地区まちづくりセンターに、今後どのような機能を期待していますか。
次の中から2つ以内で選んでください。

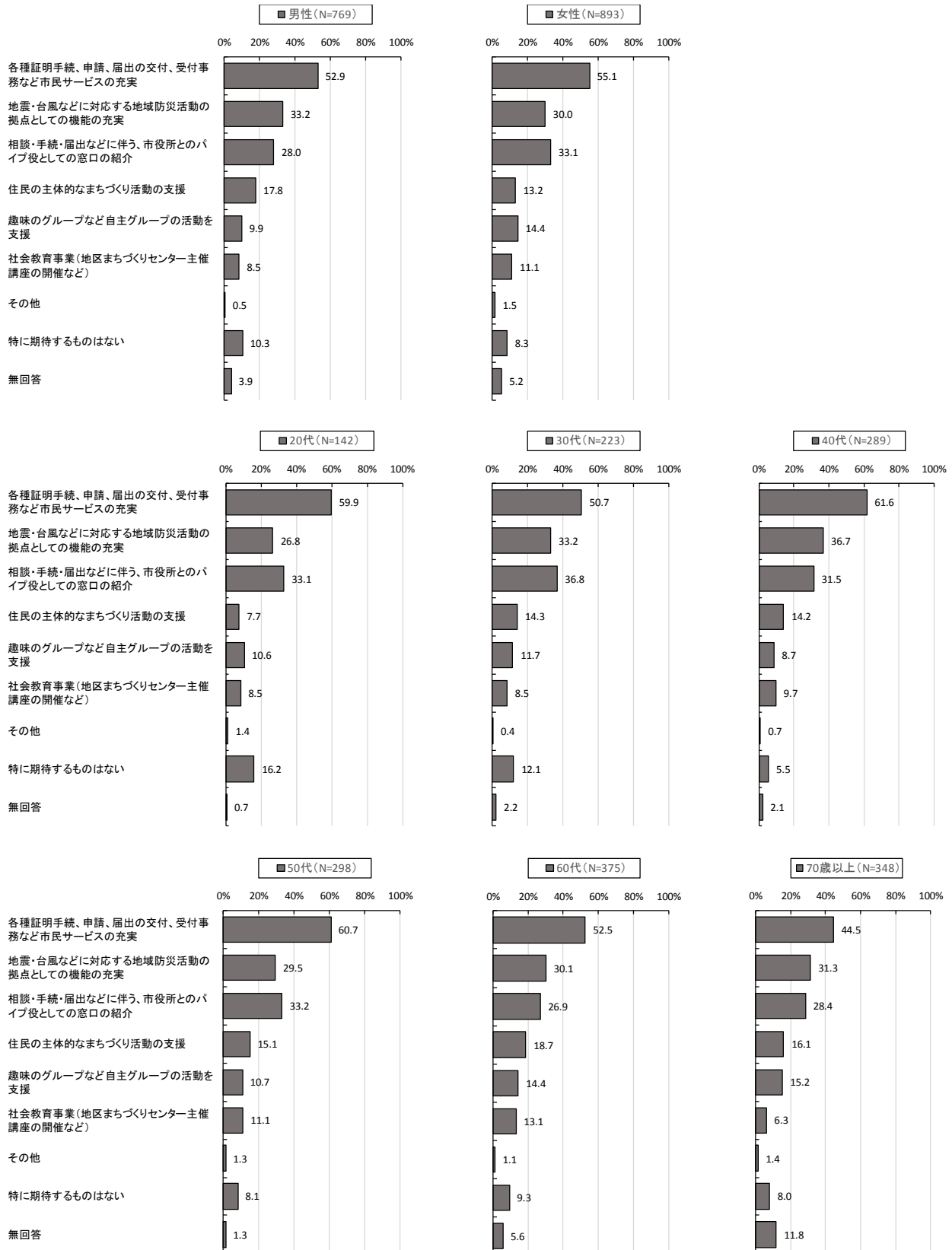


地区まちづくりセンターに期待している機能について尋ねたところ、「各種証明手続、申請、届出の交付、受付事務など市民サービスの充実」が最も高く 54.0%となった。次いで、「地震・台風などに対応する地域防災活動の拠点としての機能の充実」が 31.5%、「相談・手続・届出などに伴う、市役所とのパイプ役としての窓口の紹介」が 31.0%、「住民の主体的なまちづくり活動の支援」が 15.3%と続いている。「特に期待するものはない」は 9.1%となっている。

男女別に見ると、「各種証明手続、申請、届出の交付、受付事務など市民サービスの充実」は男女ともに最も高く、男性が 52.9%、女性が 55.1%となっている。

年代別に見ると、全ての年代で「各種証明手続、申請、届出の交付、受付事務など市民サービスの充実」が最も高くなっている。「地震・台風などに対応する地域防災活動の拠点としての機能の充実」は 30 代以上の年代で約 3 割、「相談・手続・届出などに伴う、市役所とのパイプ役としての窓口の紹介」は 20 代から 50 代の世代で約 3 割となっている。

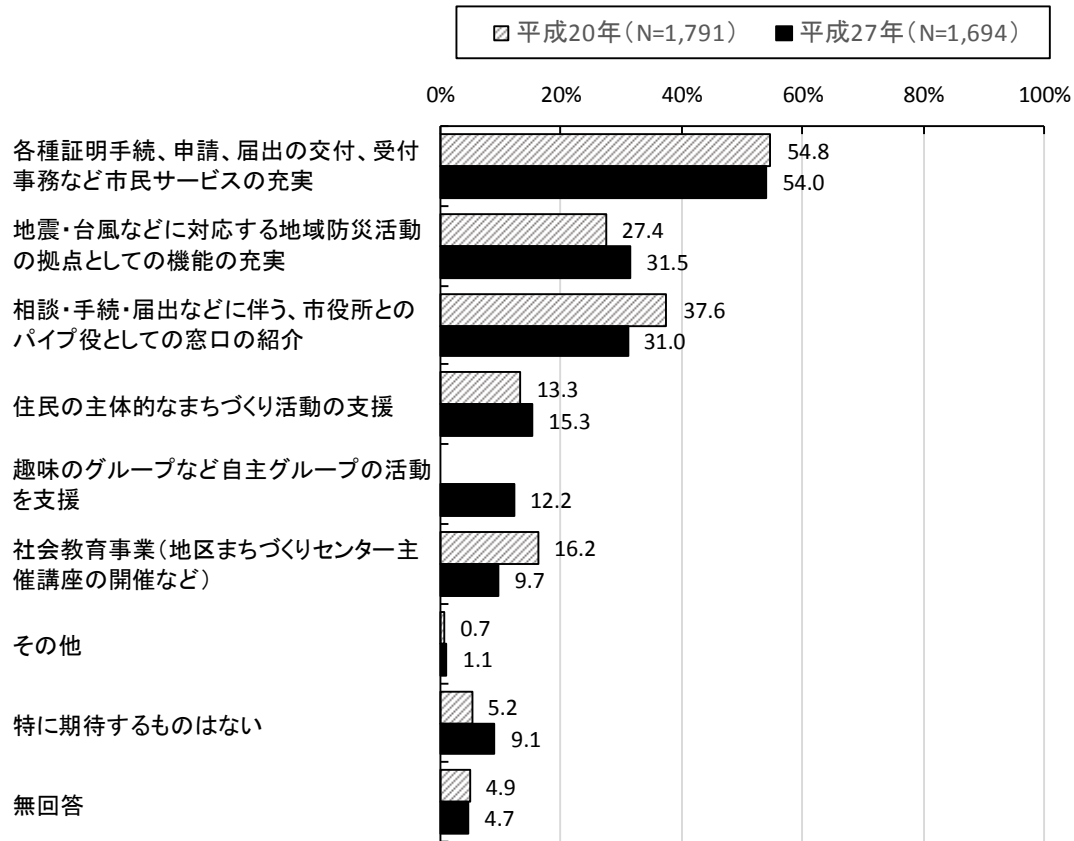
【性別・年代別】



IV 調査結果

平成 20 年度の調査結果と比較すると、「各種証明手続、申請、届出の交付、受付事務など市民サービスの充実」は変わらずに最も高い値となっている。「相談・手続・届出などに伴う、市役所とのパイプ役としての窓口の紹介」は 37.6%から 31.0%に減少している。

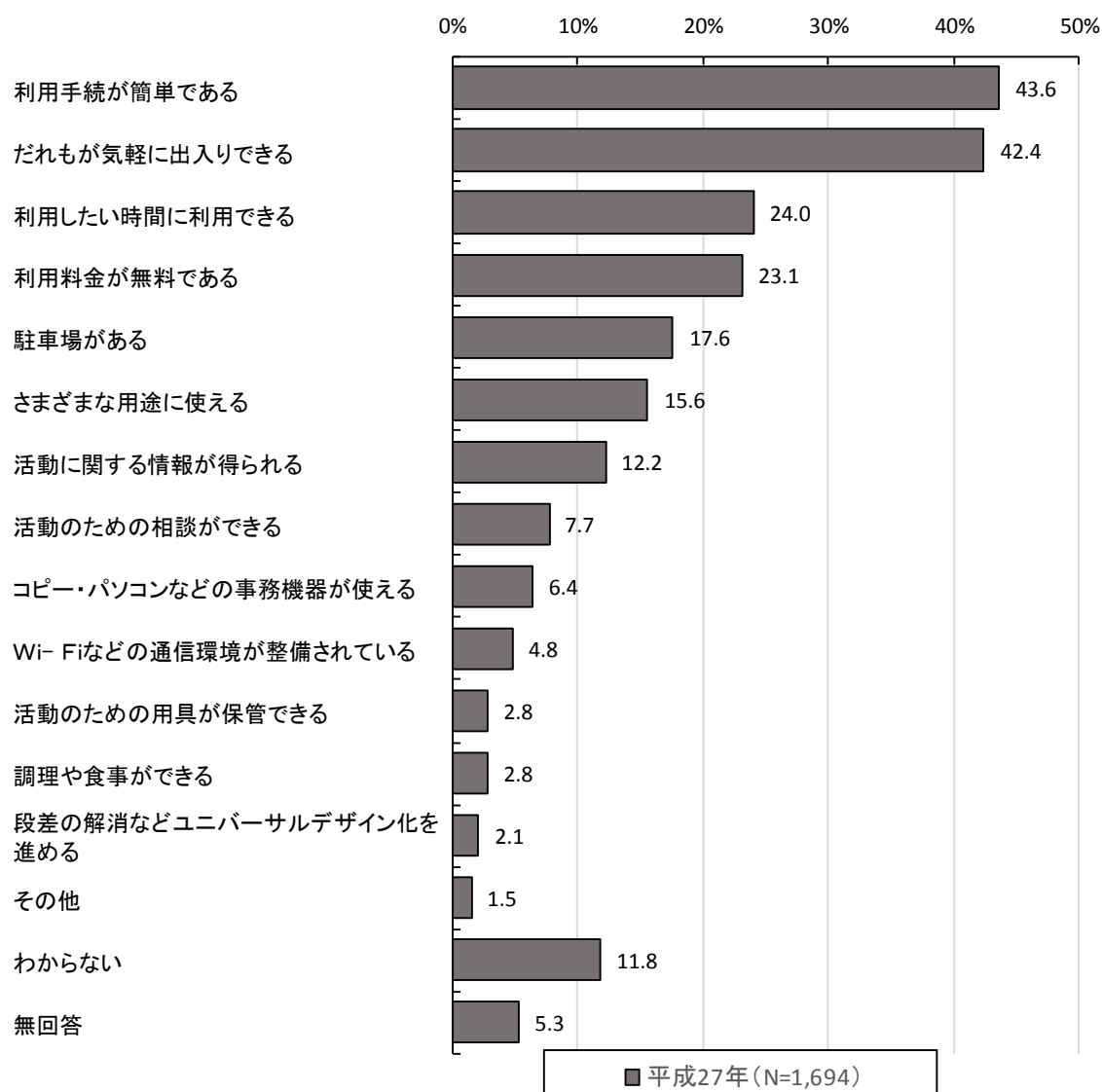
【経年変化】



※「趣味のグループなど自主グループの活動を支援」は平成 27 年度の新設項目。

(13) 地区まちづくりセンターを利用しやすくするために必要なこと

問 24 地区まちづくり活動の拠点として、地区まちづくりセンターを利用しやすくするためには、何が重要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。



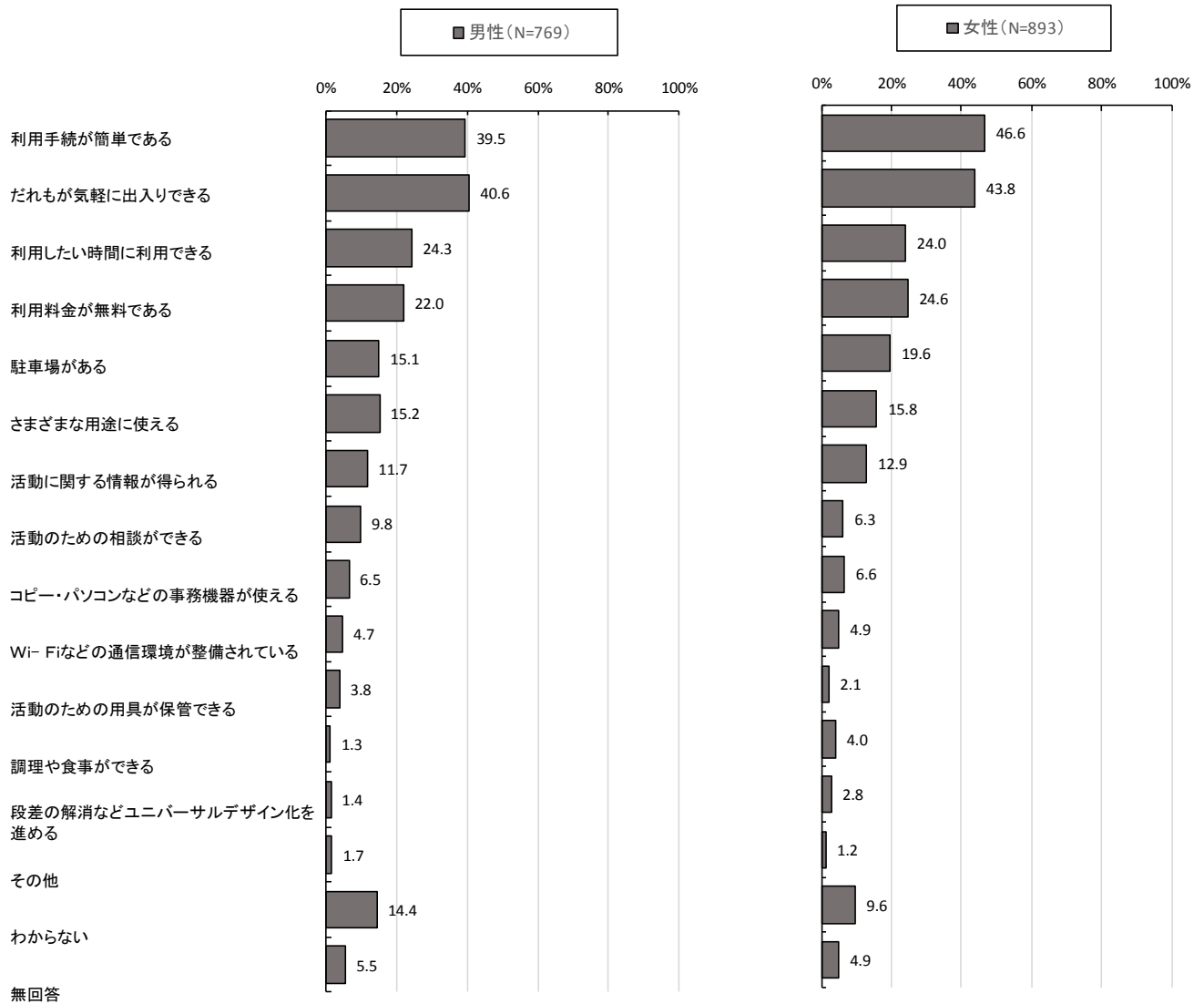
地区まちづくりセンターを利用しやすくするために必要なことを尋ねたところ、「利用手続が簡単である」が最も高く 43.6%、次いで、「だれもが気軽に出入りできる」が 42.4%となっている。「利用したい時間に利用できる」が 24.0%、「利用料金が無料である」が 23.1%、「駐車場がある」が 17.6%と続いている。

IV 調査結果

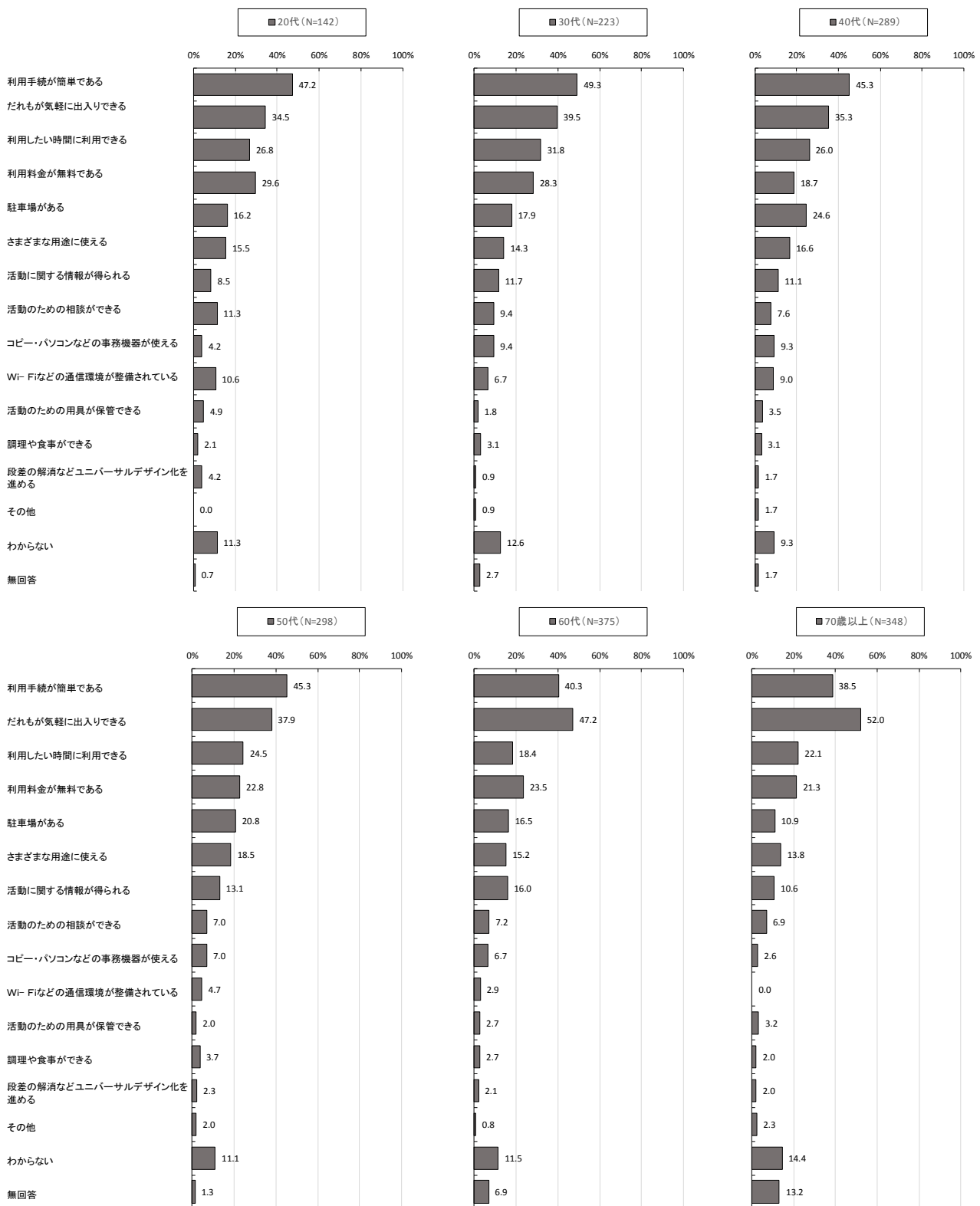
男女別で見ると、「利用手順が簡単である」は男女ともに最も高く、男性が39.5%、女性が46.6%と女性のほうが高くなっている。その他の項目では、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「利用手順が簡単である」は20代から50代で最も高くなっている。60代と70歳以上では「だれもが気軽に出入りできる」が最も高く、60代で47.2%、70歳以上で52.0%となっている。

【性別】



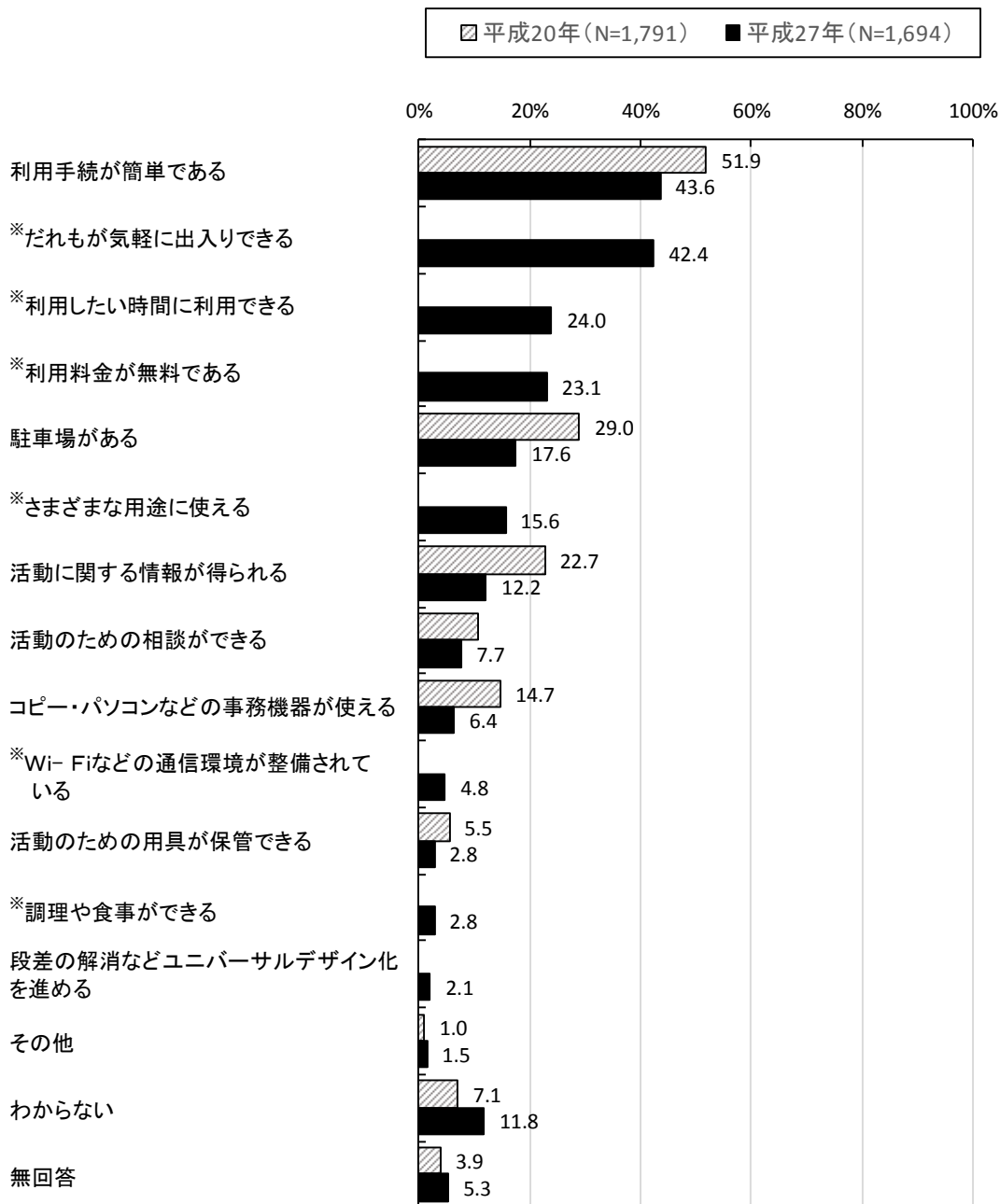
【年代別】



IV 調査結果

平成20年度の調査結果と比較すると、選択項目が増え、各選択肢の値は小さくなっているが、依然として「利用手順が簡単である」は最も高い値となっている。

【経年変化】

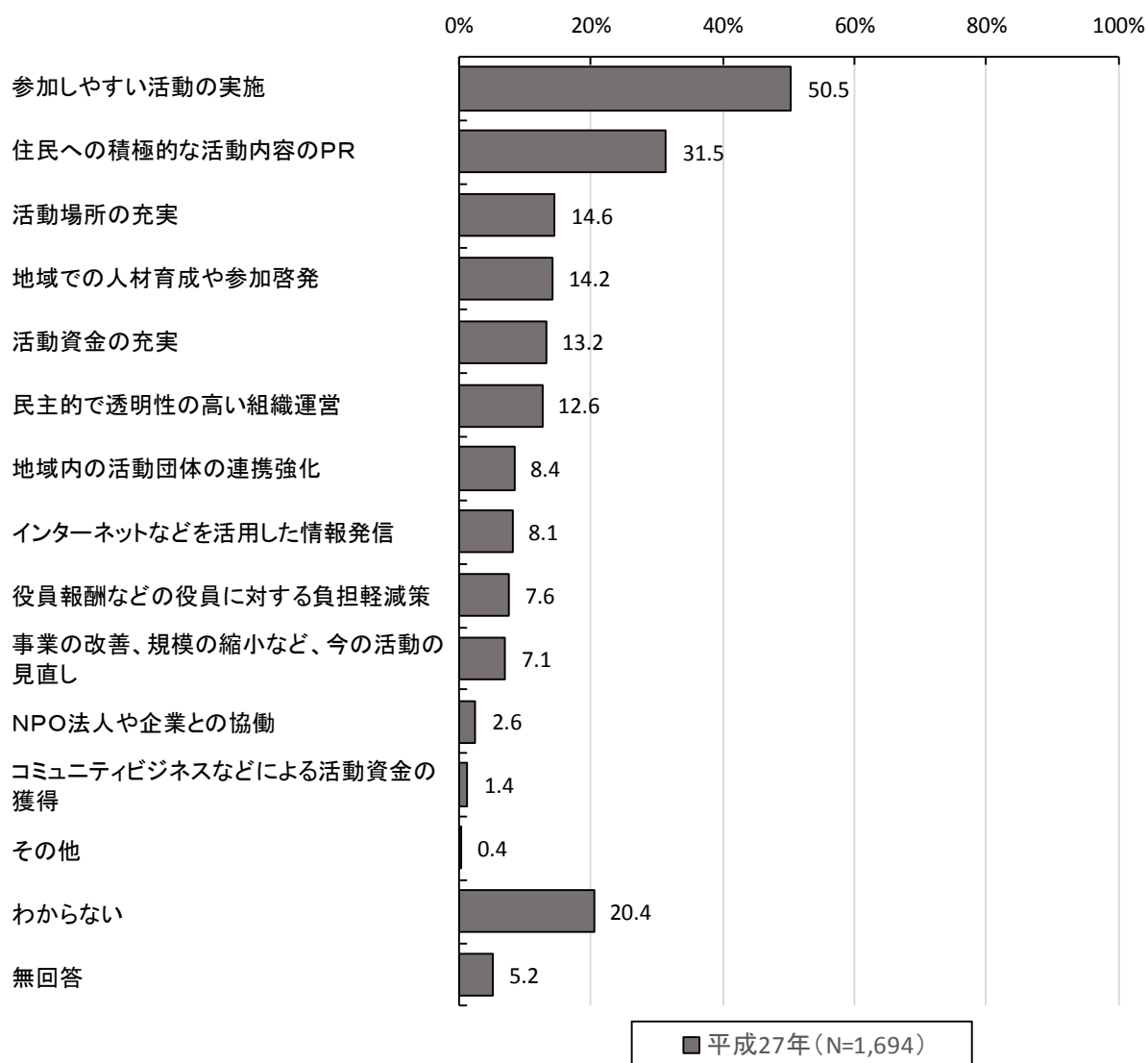


※「だれもが気軽に出入りできる」、「利用したい時間に利用できる」、「利用料金が無料である」、「さまざまな用途に使える」、「Wi-Fiなどの通信環境が整備されている」、「調理や食事ができる」は平成27年度の新設項目。

今後の地区まちづくり活動の方向性について

(14) まちづくり活動が活発であるために地区に必要なこと

問 25 あなたの地区で行われているまちづくり活動が、今後も活発に行われるためには、地区の取り組みにおいてどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。



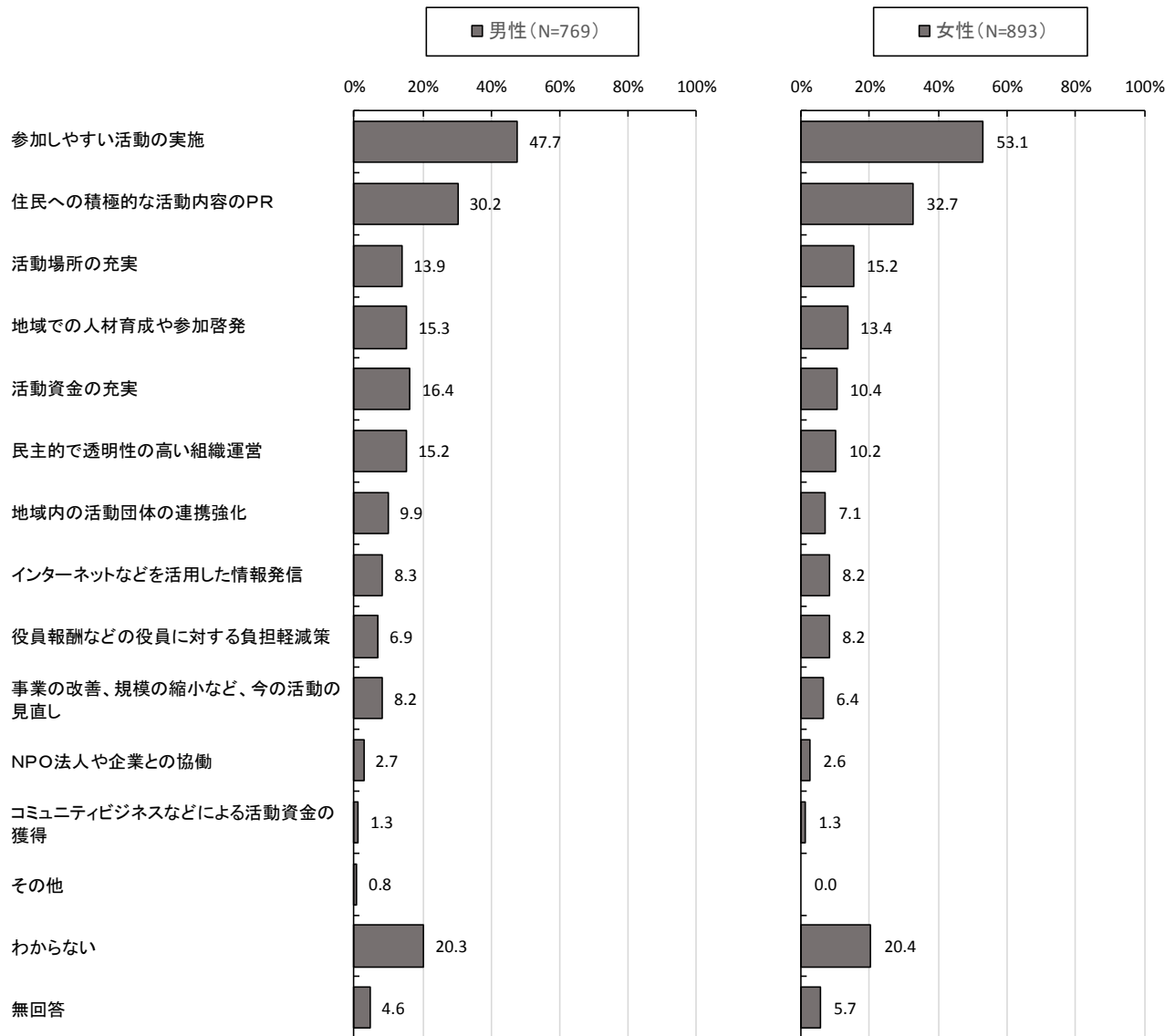
まちづくり活動が活発であるために地区に必要なことについて尋ねたところ、「参加しやすい活動の実施」が最も高く 50.5%となった。次いで、「住民への積極的な活動内容のPR」が 31.5%、「活動場所の充実」が 14.6%、「地域での人材育成や参加啓発」が 14.2%、「活動資金の充実」が 13.2%と続いている。「わからない」は 20.4%となっている。

IV 調査結果

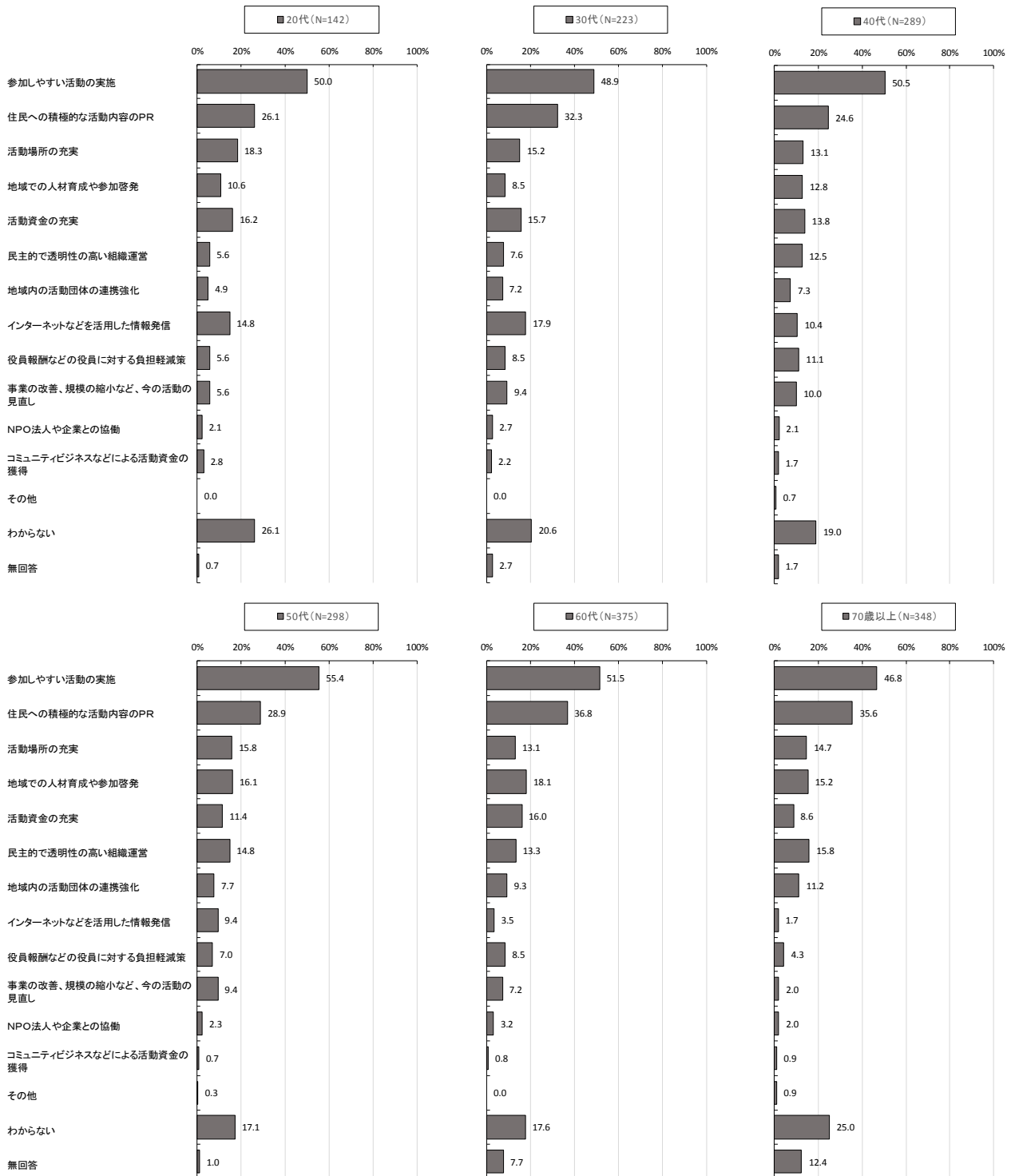
男女別に見ると、「参加しやすい活動の実施」が男女ともに最も高く、男性が47.7%、女性が53.1%と女性が高くなっている。その他の項目では、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「参加しやすい活動の実施」は全ての年代で最も高く、約5割となっている。「インターネットなどを活用した情報発信」は20代、30代での要望が他世代よりも高い。

【性別】

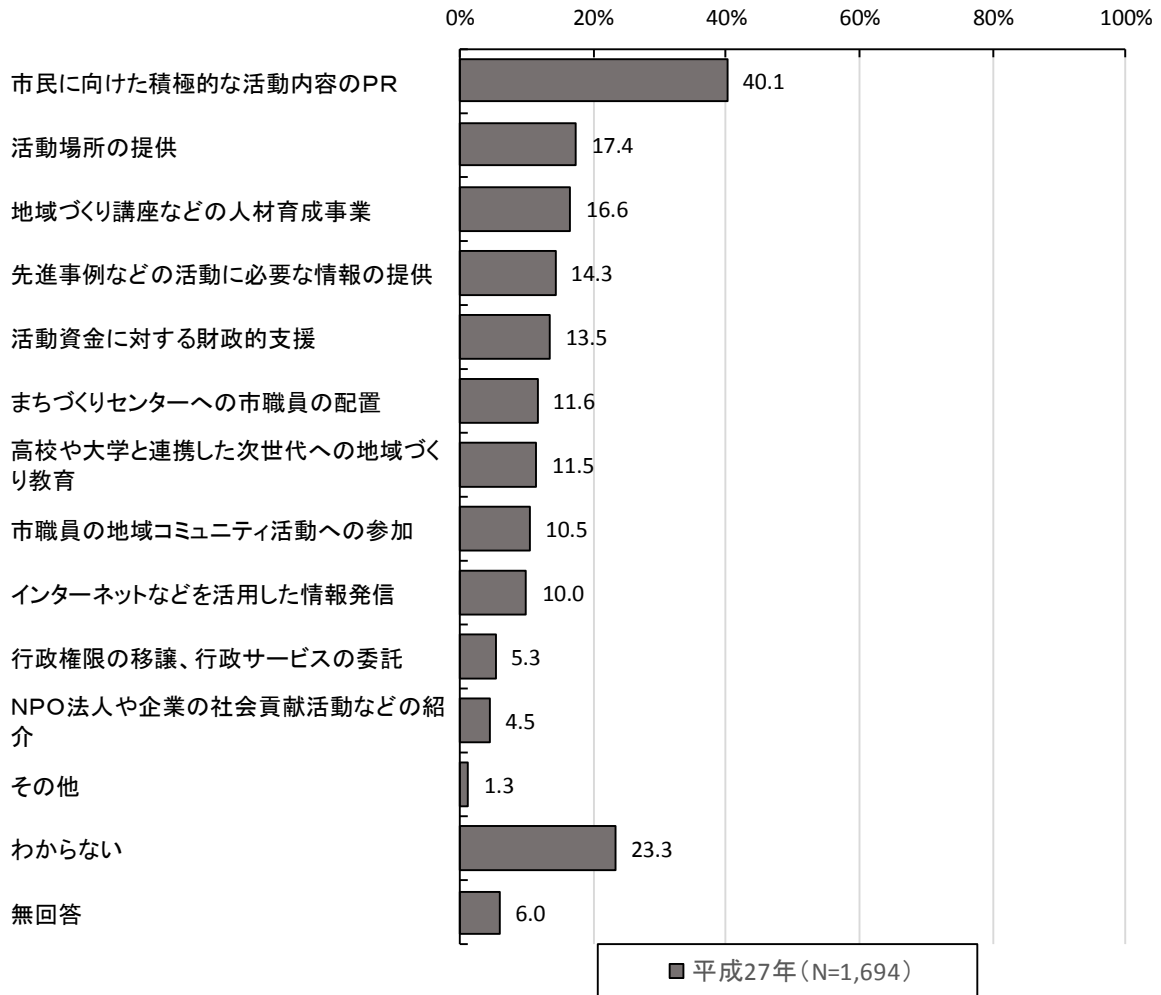


【年代別】



(15) まちづくり活動が活発であるために行政に求めること

問 26 あなたの地区で行われているまちづくり活動が、今後も活発に行われるためには、行政の取り組みにおいてどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つ以内を選んでください。

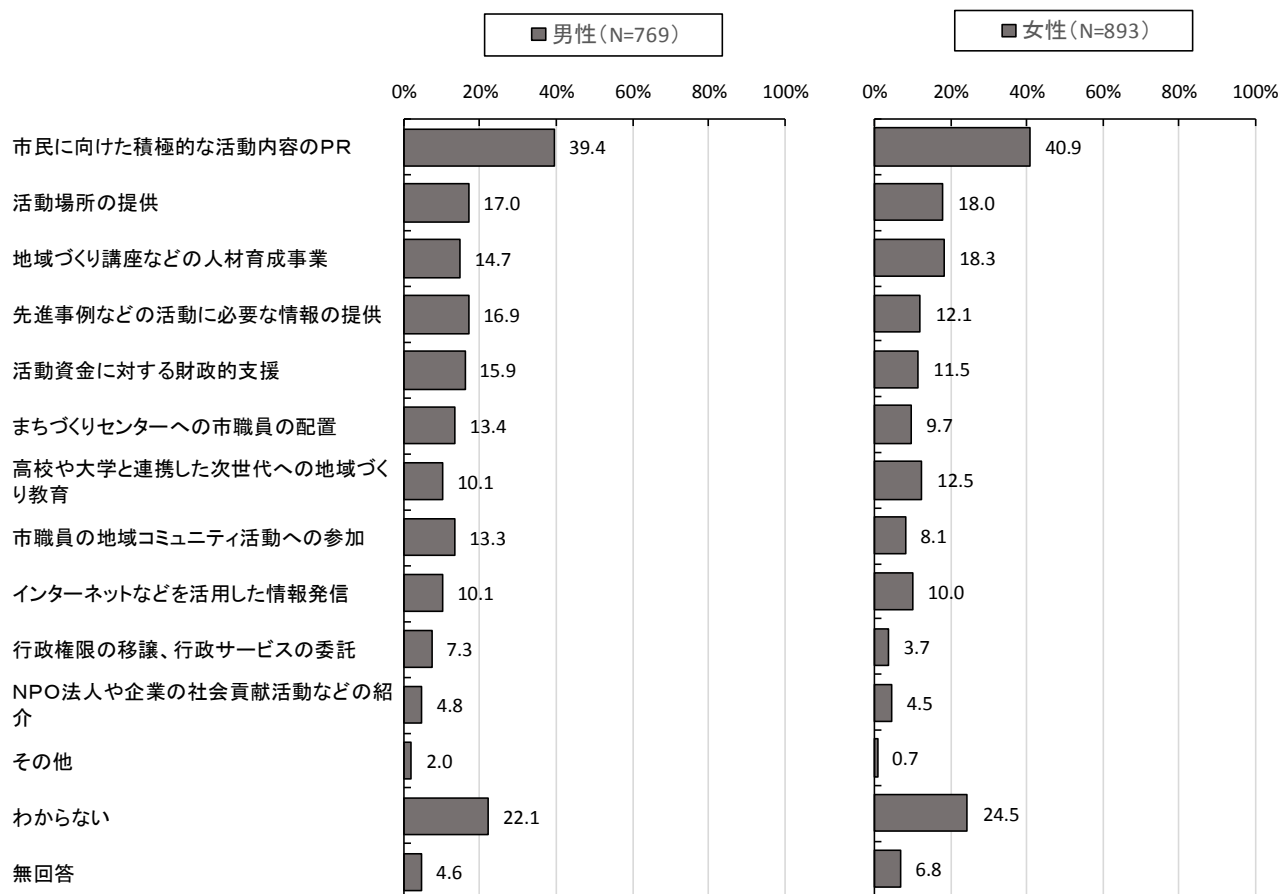


まちづくり活動が活発であるために行政で必要なことについて尋ねたところ、「市民に向けた積極的な活動内容のPR」が最も高く40.1%となっている。次いで、「活動場所の提供」が17.4%、「地域づくり講座などの人材育成事業」が16.6%、「先進事例などの活動に必要な情報の提供」が14.3%と続いている。「わからない」は23.3%となっている。

男女別に見ると、大きな違いは見られない。

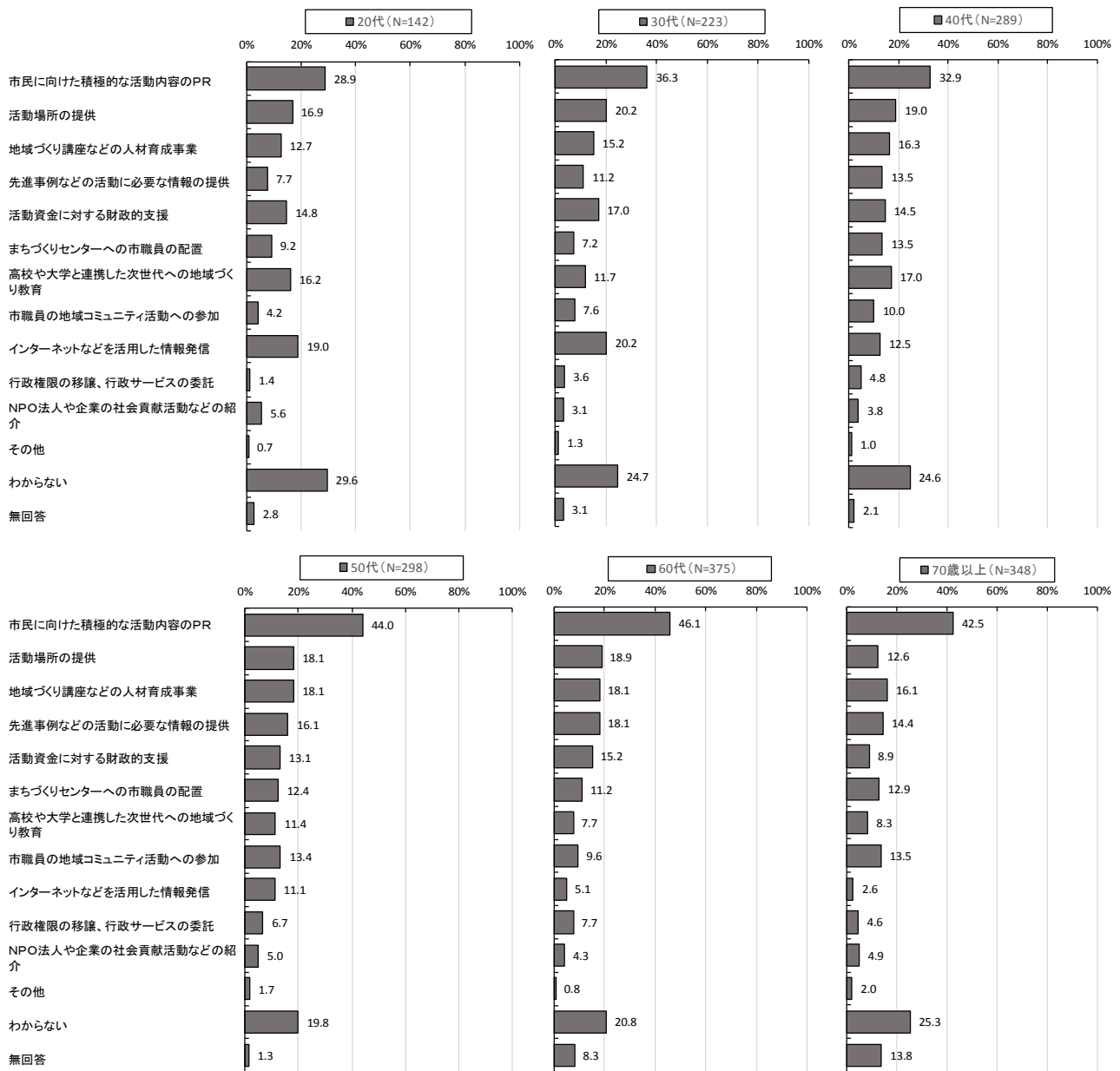
年代別で見ると、「市民に向けた積極的な活動内容のPR」は全ての年代で最も高く、特に50代以上では4割以上となっている。また、問25と同様に、「インターネットなどを活用した情報発信」は20代、30代での要望が他世代よりも高い。

【性別】



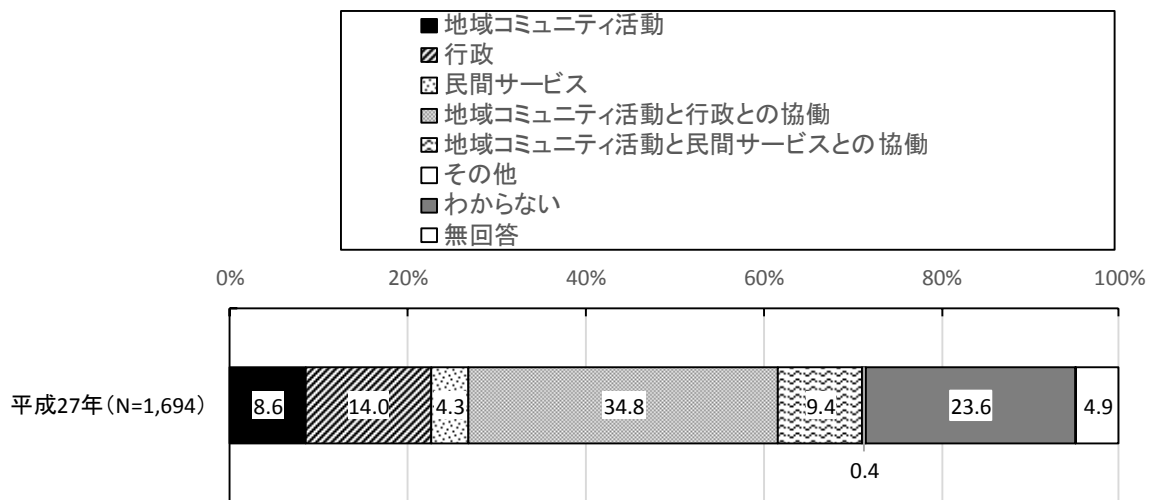
IV 調査結果

【年代別】



(16) 地域課題を解決に導くために誰が中心となるべきか

問27 あなたは、これからの地域課題を解決に導くために、誰が中心的な役割を担うべきだと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



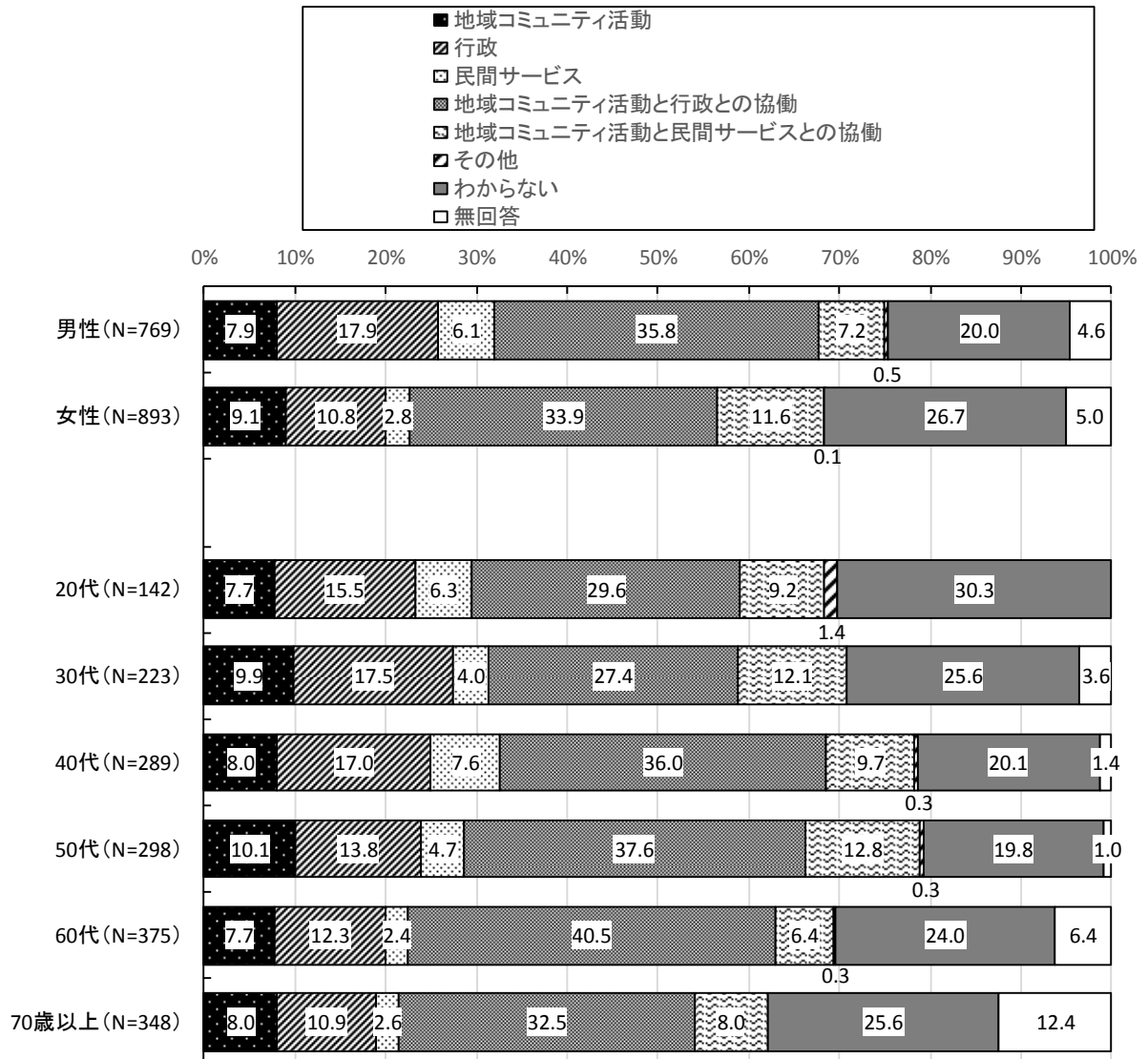
地域課題を解決に導くために誰が中心となるべきかについて尋ねたところ、「地域コミュニティ活動と行政との協働」が最も高く34.8%となっている。「行政」は14.0%、「地域コミュニティ活動と民間サービスとの協働」が9.4%、「地域コミュニティ活動」が8.6%、「民間サービス」が4.3%となっている。また、「わからない」は23.6%となっている。

IV 調査結果

男女別に見ると、「地域コミュニティ活動と行政との協働」は男女ともに最も高くなっている。「わからない」は男性で20.0%、女性で26.7%と女性は全体の4分の1にあたる。

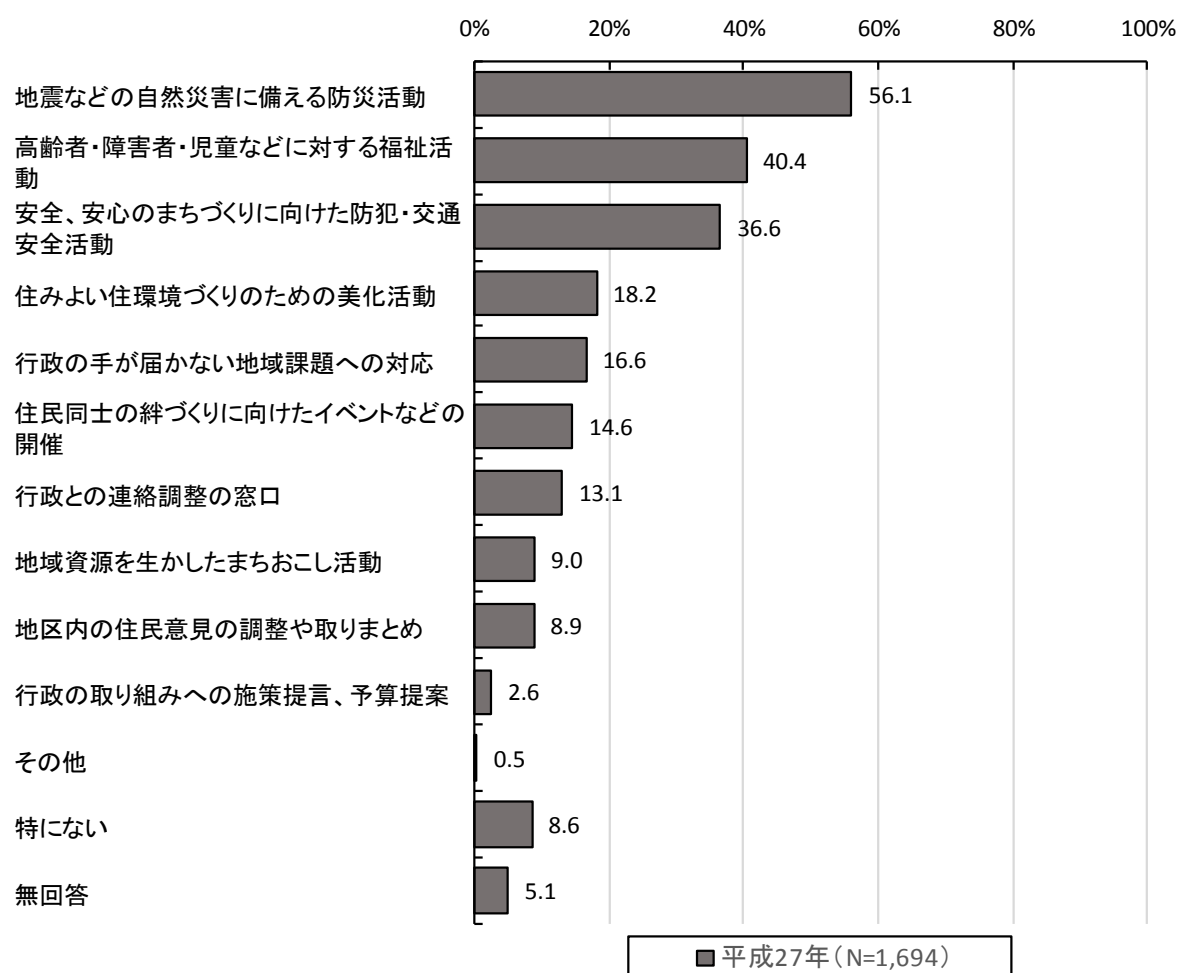
年代別で見ると、全ての年代で「地域コミュニティ活動と行政との協働」が最も高く、特に60代では40.5%となっている。「わからない」は20代で特に高く、30.3%となっている。

【性別・年代別】



(17) 地区まちづくり活動に期待する内容

問 28 あなたが地区まちづくり活動に期待する内容はどのようなことですか。当てはまるものを3つ以内で選んでください。



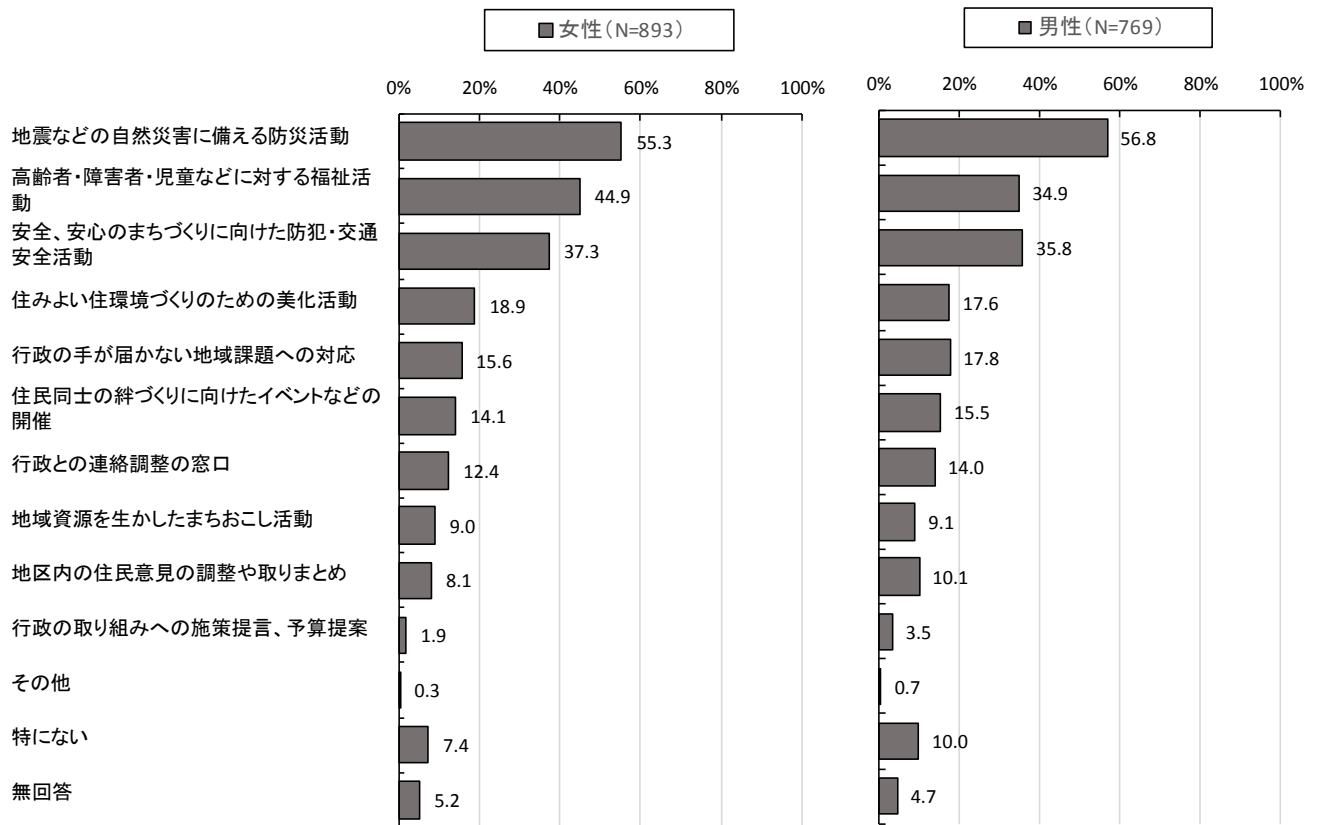
地区まちづくり活動に期待する内容について尋ねたところ、「地震などの自然災害に備える防災活動」が最も高く 56.1%となっている。次いで「高齢者・障害者・児童などに対する福祉活動」が 40.4%、「安全、安心のまちづくりに向けた防犯・交通安全活動」が 36.6%と続いている。

IV 調査結果

男女別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「地震などの自然災害に備える防災活動」は20代から60代まで最も高く、5～6割となっている。70歳以上では「安全、安心のまちづくりに向けた防犯・交通安全活動」が最も高く49.7%となっている。また、「安全、安心のまちづくりに向けた防犯・交通安全活動」は30代と40代で4割以上となっている。

【性別】



【年代別】

